

北 陸 自 動 車 道

R 6 長 岡 管 内 橋 梁 補 修 工 事

設 計 図

令 和 6 年 1 2 月

東日本高速道路株式会社

新潟支社 長岡管理事務所

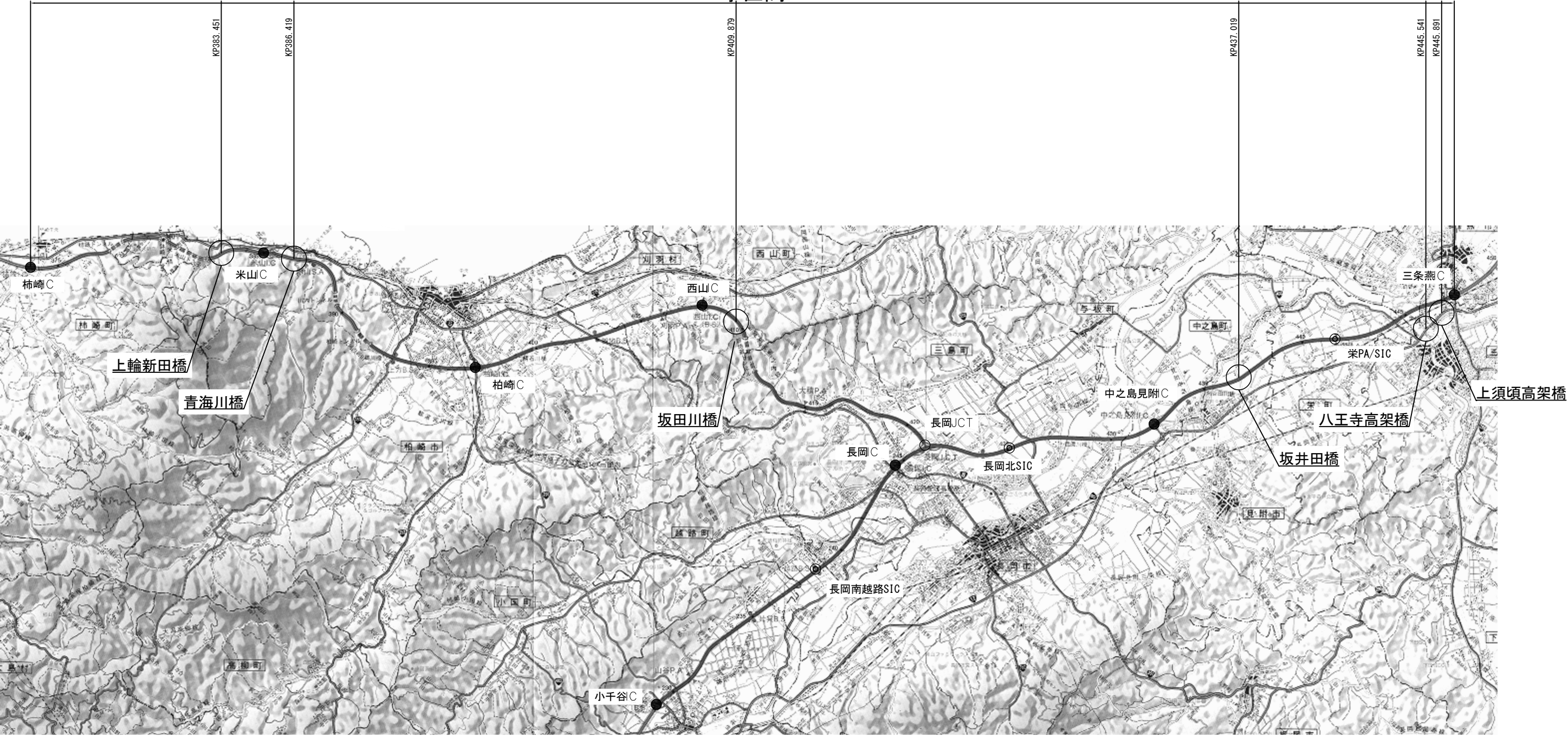
目 次

図 面 名		図面番号
	目次	
	位置図	1
	数量総括表	2
上輪新田橋 下り線	橋梁一般図	3
〃	コンクリートはつり工・断面修復工	4
〃	表面保護工	5
青海川橋 下り線	橋梁一般図	6
〃	コンクリートはつり工・断面修復工	7 8
〃	表面保護工	9
〃	はく落防止対策工	10 11
〃	はく落防止対策層撤去工	12 13
〃	検査路撤去設置工	14
坂田川橋 下り線	橋梁一般図	15
〃	コンクリートはつり工・断面修復工	16 17
〃	表面保護工	18 19
〃	検査路撤去設置工	20
〃	交通誘導警備員	21
坂井田橋 上下線	橋梁一般図	22
坂井田橋 上り線	補修一般図	23
〃	補修数量総括表	24
〃	断面整形工	25 29
〃	当て板補修工	30 32
〃	高力ボルト取替工	33
〃	塗り区分図	34
〃	支承補修工	35

図 面 名		図面番号
坂井田橋 下り線	補修一般図	36
〃	補修数量総括表	37
〃	断面整形工	38 40
〃	当て板補修工	41 42
〃	高力ボルト取替工	43
〃	塗り区分図	44
〃	支承補修工	45
坂井田橋 上下線	検査路撤去設置工	46 47
〃	交通誘導警備員	48
八王寺高架橋 下り線	橋梁一般図	49
〃	コンクリートはつり工・断面修復工	50
〃	表面保護工	51
〃	水切り工	52 53
〃	立入防止柵撤去設置工	54
〃	排水装置取替	55
〃	交通誘導警備員	56
上須頃高架橋 下り線	橋梁一般図	57
〃	コンクリートはつり工・断面修復工	58 59
〃	表面保護工	60 61
〃	水切り工	62 65
〃	立入防止柵撤去設置工	66
〃	排水装置取替	67
〃	交通誘導警備員	68
	交通規制 交通監視員	69

位置図

工事区間



北陸自動車道 R 6 長岡管内橋梁補修工事		
図面の種類	位置図	
縮尺	図面番号	
設計会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所	

数量総括表

No.	<div><div>項目番号</div><div>項目名称</div><div>橋梁名</div><div>区分</div></div>		10-(2)	10-(3)	10-(4)	11-(4)				15-(11)	17-(14)				17-(29)										
			鋼構造物の製作	鋼構造物の防錆	鋼構造物の輸送	検査路				立入防止柵撤去設置工	排水装置取替				断面修復工										
			製作材料費 (鋼板) A1	鋼構造物 の塗装J	鋼橋の輸送	検査路 撤去設置工 A1	検査路 撤去設置工 B1	検査路 撤去設置工 C1	検査路 撤去設置工 C2	一般型 積雪地用 S1(3)A	排水管A	排水管取付 金具取替 A1	排水管取付 金具取替 B1	排水管取付 金具取替 B2	断面修復工 A1 (t=2cm)	断面修復工 A1 (t=3cm)	断面修復工 A1 (t=4cm)	断面修復工 A1 (t=5cm)	断面修復工 A1 (t=7cm)	断面修復工 A1 (t=8cm)	断面修復工 A2 (t=5cm)	断面修復工 A2 (t=8cm)	断面修復工 B1 (t=5cm)	断面修復工 B1 (t=6cm)	断面修復工 C1 (t=5cm)
			t	m2	t	箇所	箇所	箇所	箇所	m	m	箇所	箇所	箇所	m2	箇所	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2
1	上輪新田橋	下																						55.6	
2	青海川橋	下				1.0															62.7	11.1			
3	坂田川橋	下					1.0							3.0		21.2									
4	坂井田橋	上	0.058	1.1	0.055			1.0	1.0																
5	坂井田橋	下	0.098	1.9	0.093			1.0	1.0																
6	八王寺高架橋	下								18.9	0.9	1.0				6.8	1.8		8.5						
7	上須頃高架橋	下								4.0	2.9		2.0	1.0	0.7	1.0	5.6	3.9		11.1	5.1	3.1			
	合 計		0.156	3.0	0.148	1.0	1.0	2.0	2.0	22.9	3.8	1.0	2.0	1.0	3.7	1.0	5.6	31.9	1.8	11.1	13.6	3.1	62.7	11.1	55.6

No.	橋 梁 名	区 分	項 目 番 号	17-(31)	17-(32)	19-(1)	19-(2)	特-(1)										特-(2)	特-(3)		特-(4)		特-(5)		
			項 目 名 称	はく落防止対策工	表面保護工	交通規制工	交通保安要員		コンクリートはつり工										はく落防止対策層撤去工	水切り工		鋼構造物補修工		ボルト取替工	
				はく落防止 対策工 B1	コンクリート 表面被覆工	車線規制 I×1	交通監視員A	交通誘導 警備員 B	コンクリート はつり工 A1 (t=2cm)	コンクリート はつり工 A1 (t=3cm)	コンクリート はつり工 A1 (t=4cm)	コンクリート はつり工 A1 (t=5cm)	コンクリート はつり工 A1 (t=7cm)	コンクリート はつり工 A1 (t=8cm)	コンクリート はつり工 A2 (t=5cm)	コンクリート はつり工 A2 (t=8cm)	コンクリート はつり工 B1 (t=5cm)	コンクリート はつり工 B1 (t=6cm)	コンクリート はつり工 C1 (t=5cm)	はく落防止 対策層撤去工 B	水切り工 A	水切り 撤去工 A	断面整形工 A	当て板補修工 A	高力ボルト 取替工 A
				m2	m2	回	人・日	人・日	m2	箇所	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m2	m	m	L	t
1	上輪新田橋	下			62.6	33.0	33.0											55.6							
2	青海川橋	下	53.3		44.1	107.0	107.0									62.7	11.1		41.8						
3	坂田川橋	下			27.9			24.0	3.0		21.2														
4	坂井田橋	上						24.0														4.1	0.077	524.0	
5	坂井田橋	下						24.0														1.4	0.123	524.0	
6	八王寺高架橋	下			25.8			2.0			6.8	1.8		8.5						15.1	15.1				
7	上須頃高架橋	下			51.6			14.0	0.7	1.0	5.6	4.0		11.1	5.1	3.1				33.8	33.2				
	合 計			53.3	212.0	140.0	140.0	88.0	3.7	1.0	5.6	32.0	1.8	11.1	13.6	3.1	62.7	11.1	55.6	41.8	48.9	48.3	5.5	0.200	1,048.0

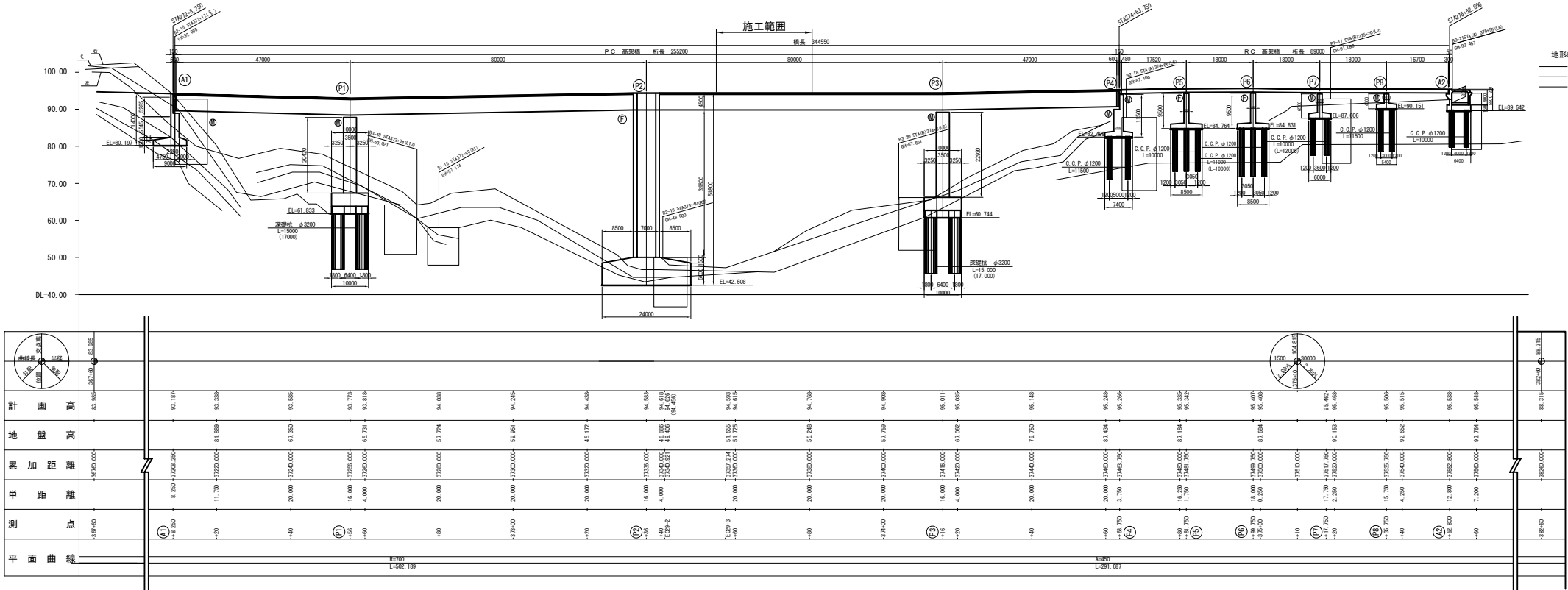
No.	項目番号 項目名称 橋梁名 区分		特-(6)		特-(7)		特-(8)	特-(9)
			支承補修工		塗膜除去工		研掃材処理工	路上作業安全講習
			支承補修工 A1	支承補修工 A2	塗膜除去工 A	廃塗膜処理工 A	研掃材処理工 A	
			箇所	箇所	m	kg	kg	回
1	上輪新田橋	下						1.0
2	青海川橋	下						
3	坂田川橋	下						
4	坂井田橋	上	1.0	3.0	19.3	38.6	772.0	
5	坂井田橋	下	2.0	2.0	19.4	38.8	776.0	
6	八王寺高架橋	下						
7	上須頃高架橋	下						
	合 計		3.0	5.0	38.7	77.4	1,548.0	1.0

北陸自動車道 R 6 長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	数量総括表		
縮 尺	—	図面番号	—
設計会社	—		
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

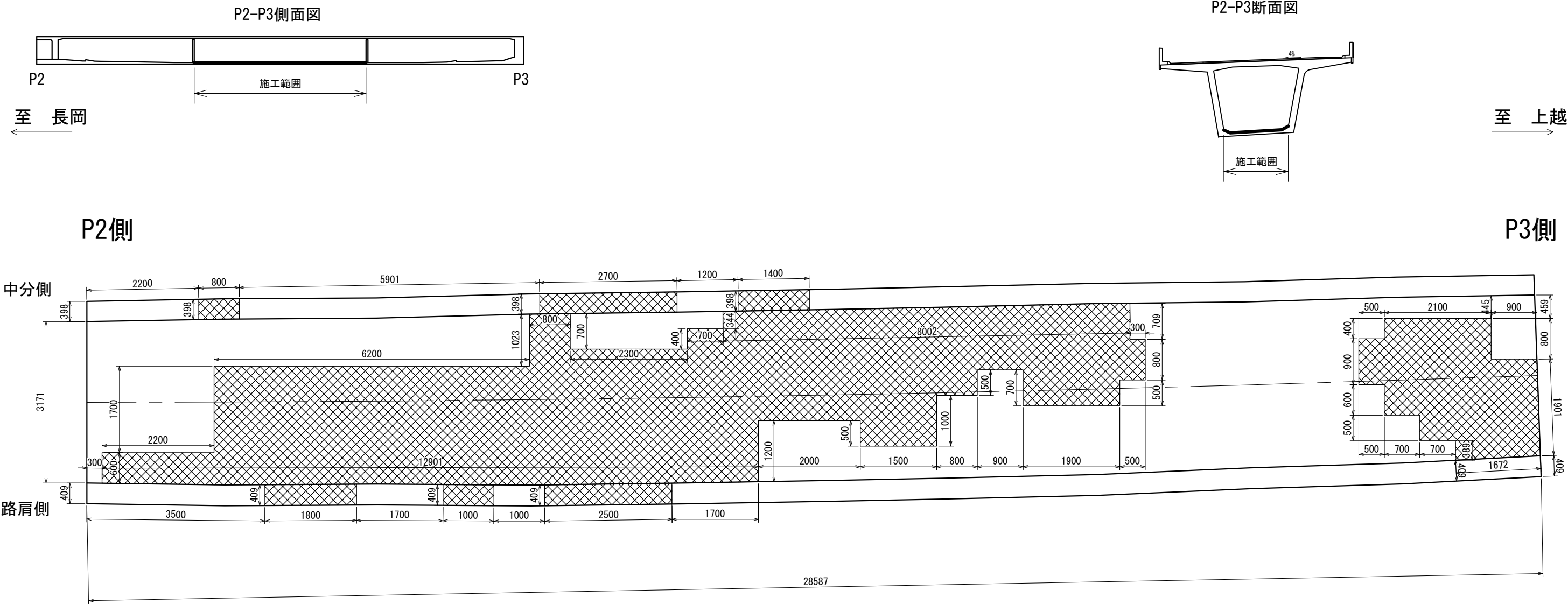
上輪新田橋 下り線

橋梁一般図

側面図 縮尺 1:400



上輪新田橋 下り線 P2-P3
コンクリートはつリエ・断面修復工



数 量 表

単位:(m²)

図示表示	コンクリートはつリエ	断面修復工
	C1 (t=5cm)	C1 (t=5cm)

項 目	箱桁内部下面	合 計
コンクリートはつリエ C1(t=5cm)	55.57	55.57
項 目	箱桁内部下面	合 計
断面修復工 C1(t=5cm) ※1	55.57	55.57

型式：PC連続5-マ箱桁

※1 各吹付の1層目は、亜硝酸リチウムを配合した断面修復材を1cm以上の厚みで吹き付けるものとする。

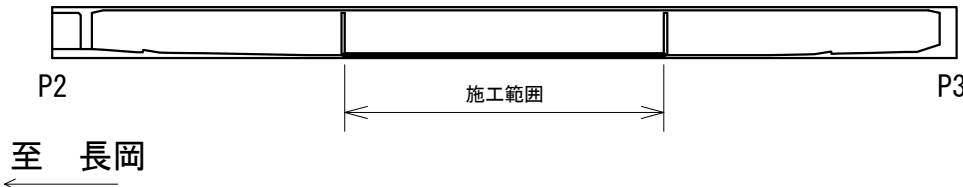
※2 実際の施工寸法は、本図面をもとに現場実測結果と照合した上で決定すること。

北陸自動車道 R 6 長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	上輪新田橋 下り線 P2-P3 コンクリートはつリエ・断面修復工		
縮尺	1/80	図面番号	
設計会社名	(株)ネクスコ・エンジニアリング新潟		
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

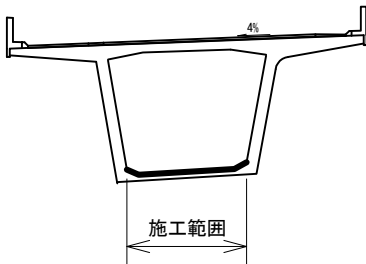
上輪新田橋 下り線 P2-P3

表面保護工

P2-P3側面図



P2-P3断面図

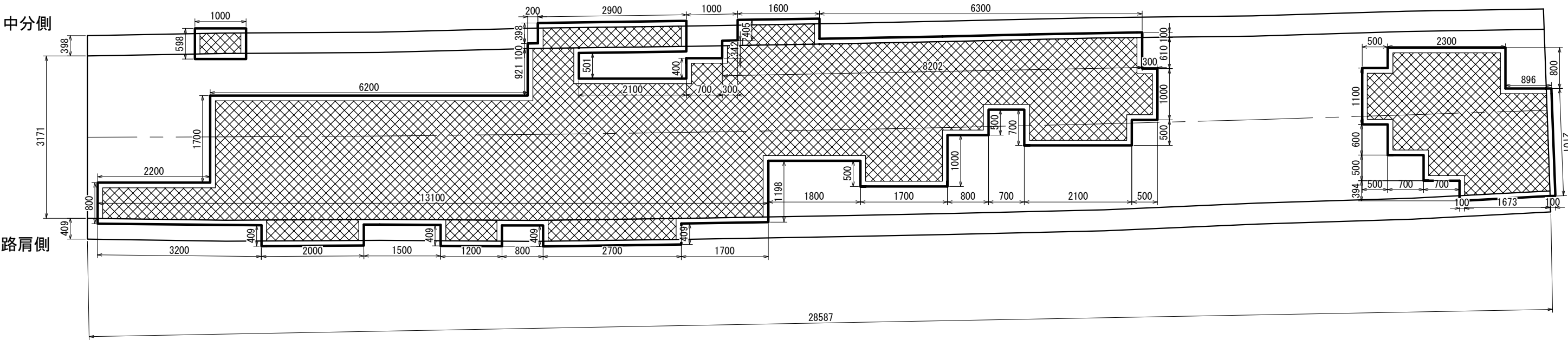


P2側

P3側

中分側

路肩側



数 量 表

単位:(㎡)

図示表示	コンクリートはつり工	断面修復工
	C1 (t=5cm)	C1 (t=5cm)

図示表示	工種
	表面保護工

項 目	箱桁内部下面	合 計
コンクリート表面被覆工	62.64	62.64

※1 実際の施工寸法は、本図面をもとに現場実測結果と照合した上で決定すること。

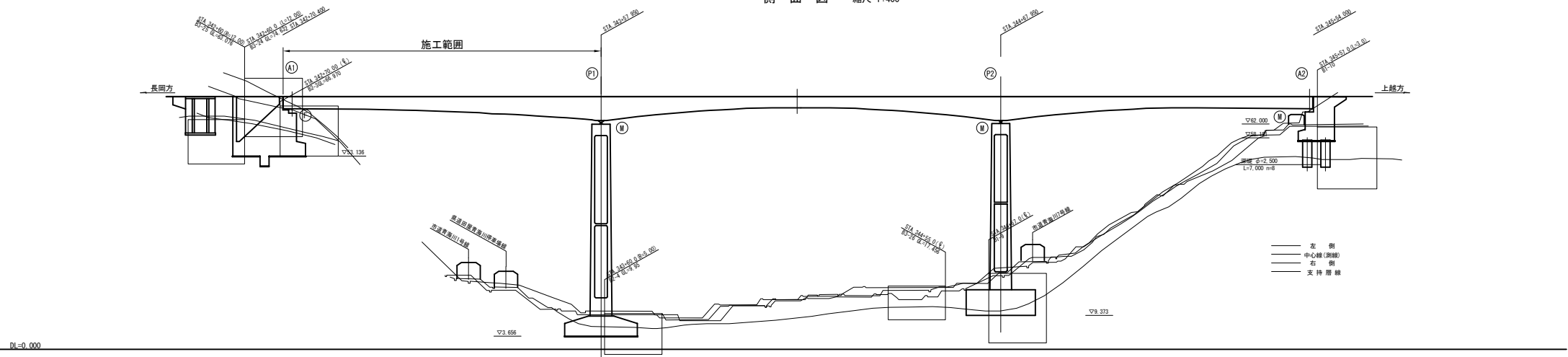
型式：PC連続5-マ箱桁

北陸自動車道 R 6 長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	上輪新田橋 下り線 P2-P3 表面保護工		
縮尺	1/80	図面番号	
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

青海川橋 下り線

橋梁一般図

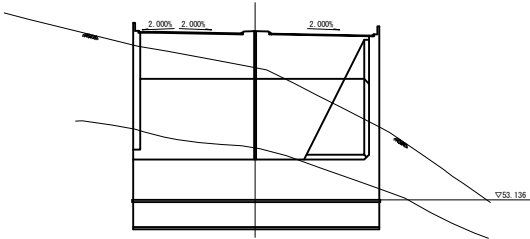
側 面 図 縮尺 1:400



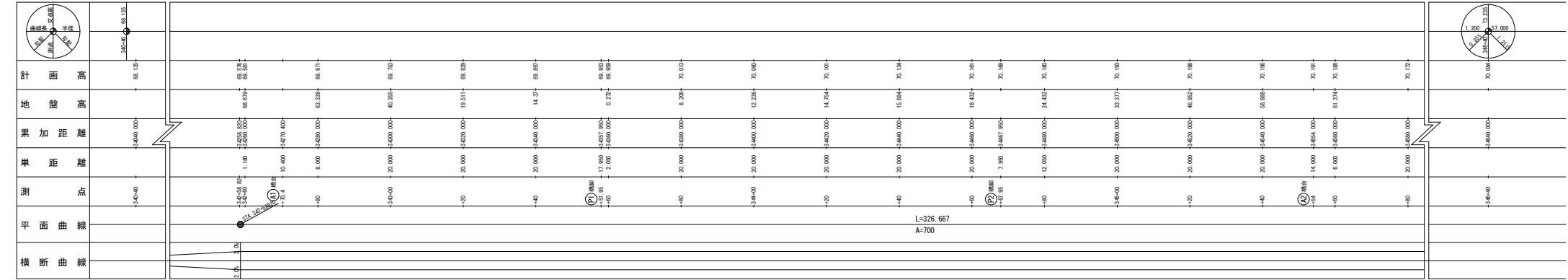
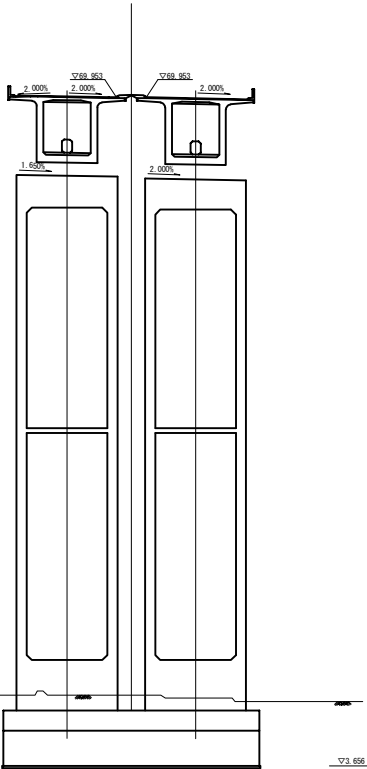
断 面 図 縮尺 1:200

A1 橋 台

上り線 下り線



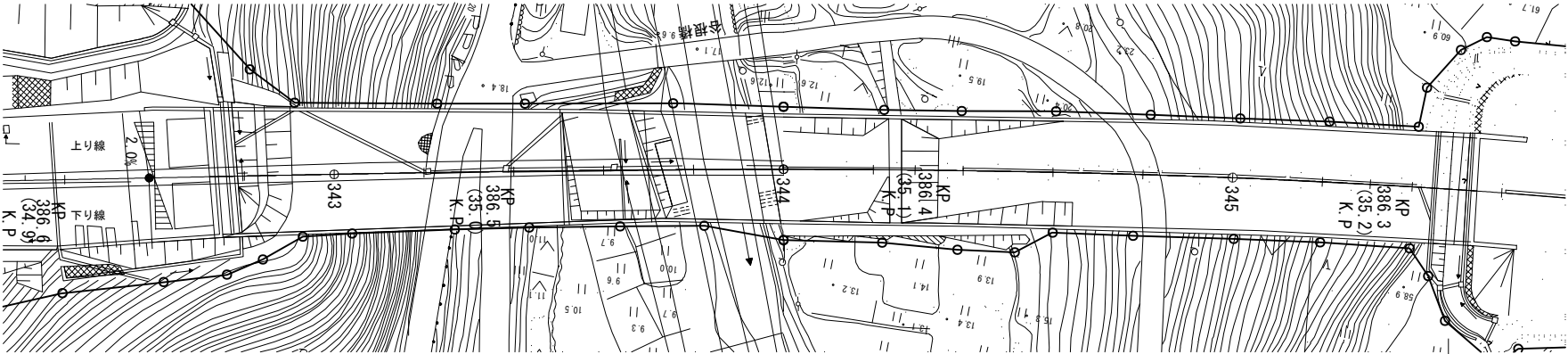
P1 橋 脚



至 長岡

平 面 図 縮尺 1:400

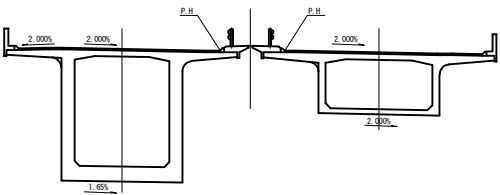
至 上越



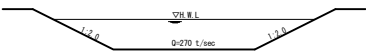
標 準 断 面 図 縮尺 1:100

支 承 部

径 間 部



計 画 河 川 横 断 図 縮尺 1:200



設 計 条 件	
型 式	三径間連続PC箱桁橋
橋 長	283.600
桁 長	283.350
支 間	85.000+110.000+88.600
幅 員	28.10.000
活 荷 重	TL-20 (TT-43)
雪 荷 重	500kg/m2 (地域部)
設 計 震 度	KF=0.17 K1=0
斜 角	∠R
平 面 曲 線	A=700
縦 断 曲 線	0.85% -1.251%
横 断 勾 配	2.000% 2.000%

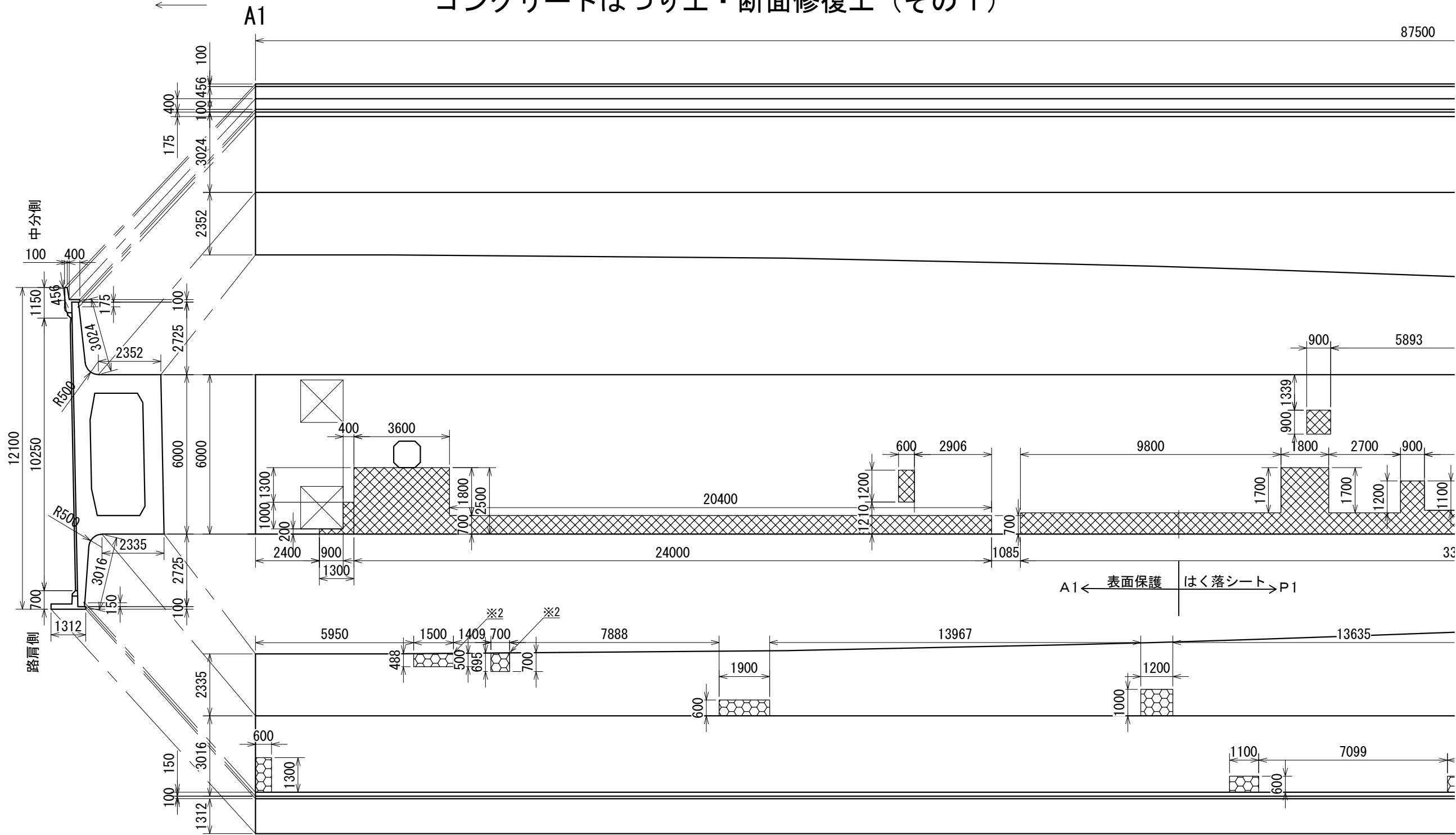
北陸自動車道 R 6 長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	青海川橋 下り線 橋梁一般図		
	縮尺	図示	図面番号
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

青海川橋 下り線 A1-P1
S=1:160

コンクリートはつりエ・断面修復工（その１）

至 上越
→

← 至 長岡



数 量 表

単位:(㎡)

項 目	箱桁下面	路肩側張出下面	路肩側箱桁側面	控除 ※2	合 計
コンクリートはつりエ B1(t=5cm)	62.73				62.73
コンクリートはつりエ B1(t=6cm)		4.69	6.50	-0.12	11.07
項 目	箱桁下面	路肩側張出下面	路肩側箱桁側面	控除 ※2	合 計
断面修復工 B1(t=5cm) ※1	62.73				62.73
断面修復工 B1(t=6cm) ※1		4.69	6.50	-0.12	11.07

※1 各吹付の1層目は、亜硝酸リチウムを配合した断面修復材を1cm以上の厚みで吹き付けるものとする。

※2 施工範囲が重複する箇所は数量から控除するものとする。

※3 実際の施工寸法は、本図面をもとに現場実測結果と照合した上で決定すること。

型式：三径間連続PC箱桁橋

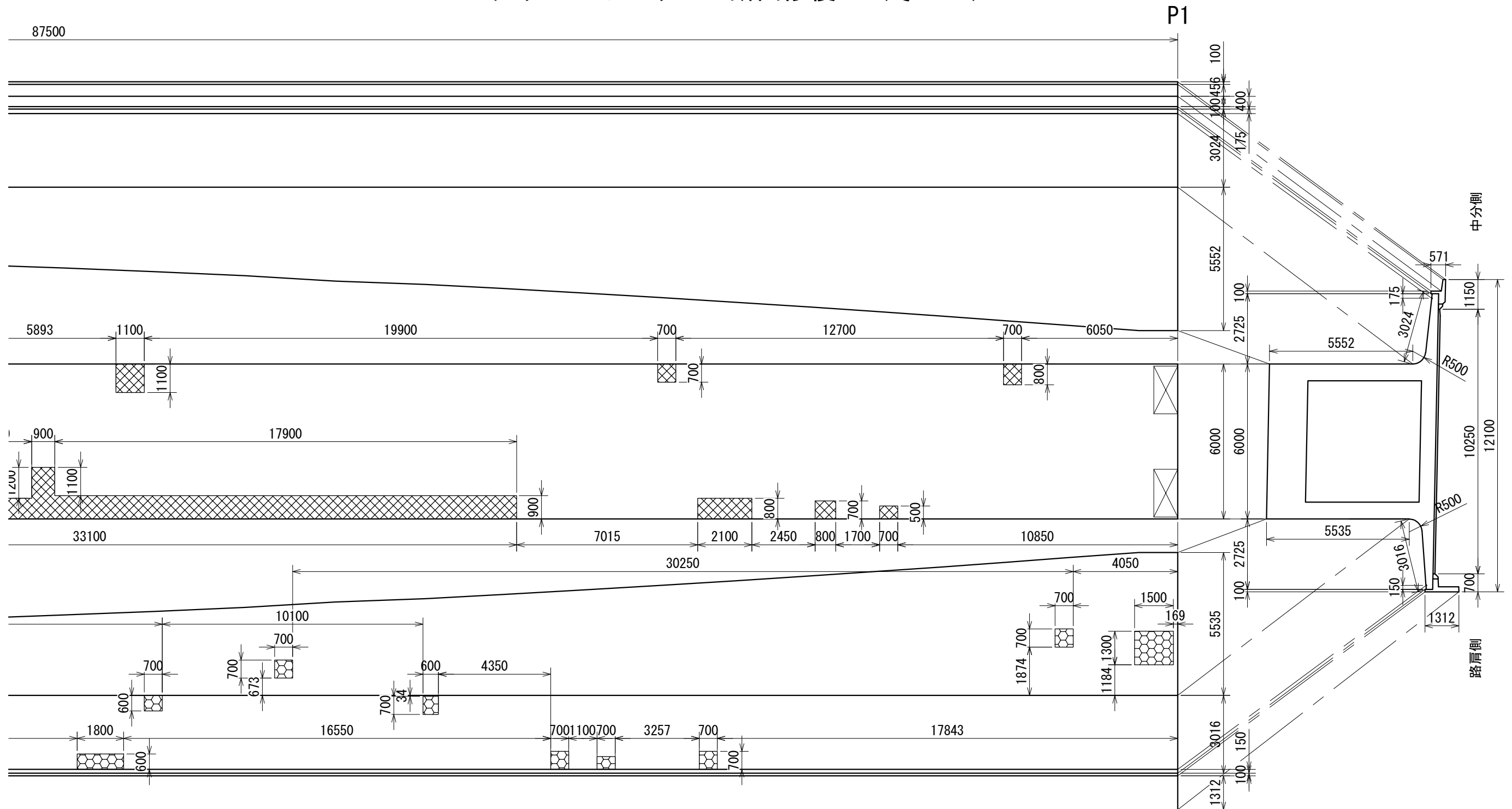
北陸自動車道 R 6 長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	青海川橋 下り線 A1-P1 コンクリートはつりエ・断面修復工（その１）		
縮尺	1/160	図面番号	
設計会社名	(株)ネクスコ・エンジニアリング新潟		
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

図示表示	コンクリートはつりエ	断面修復工
	B1 (t=5cm)	B1 (t=5cm)
	B1 (t=6cm)	B1 (t=6cm)

青海川橋 下り線 A1-P1



至 長岡
←

至上越



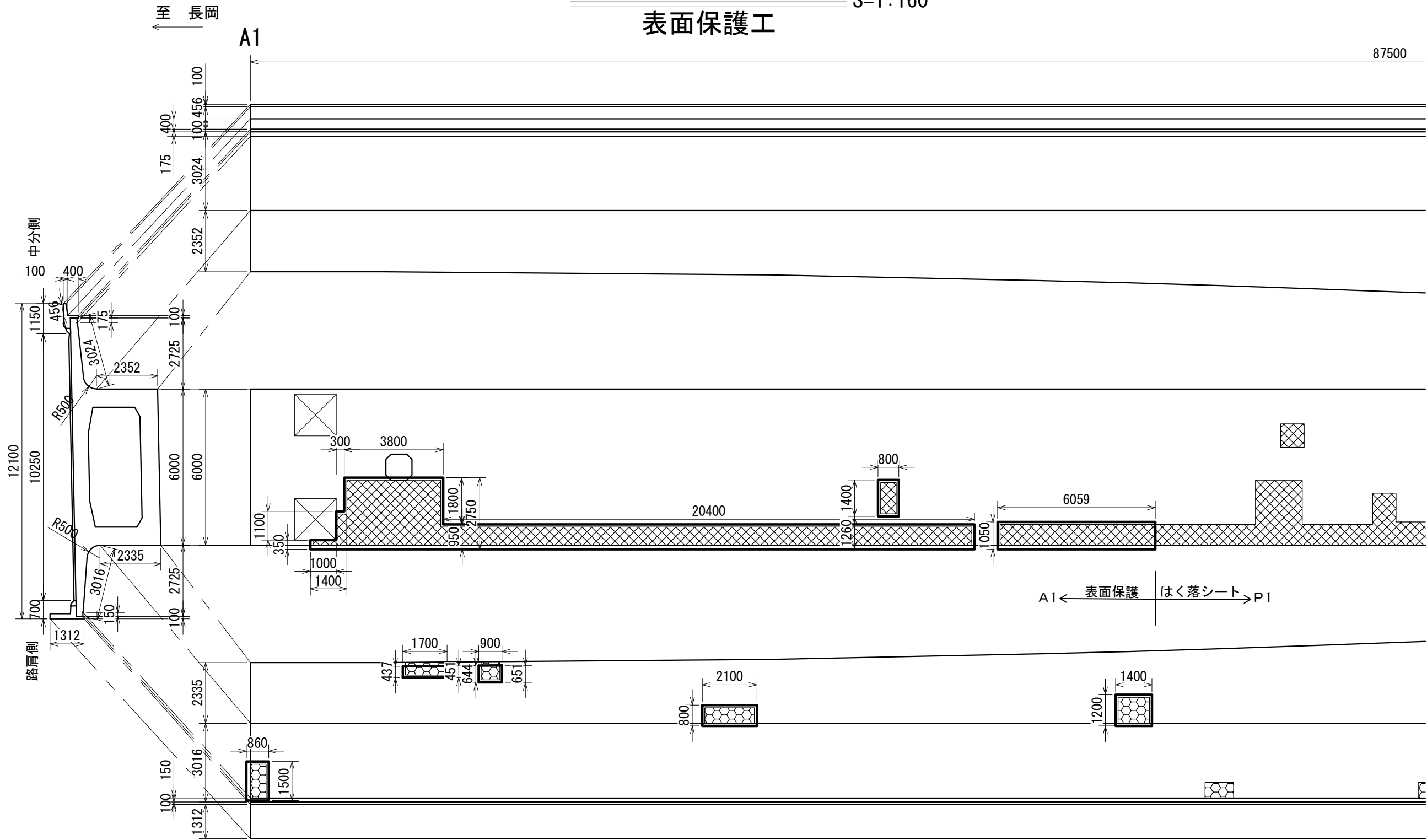
型式：三徑間連續PC箱桁橋

※ 数量表についてはその1を参照

図示表示	コンクリートはつりエ	断面修復工
	B1 (t=5cm)	B1 (t=5cm)
	B1 (t=6cm)	B1 (t=6cm)

北陸自動車道 R6長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	青海川橋 下り線 A1-P1 コンクリートはつりエ・断面修復工（その2）		
縮尺	1/160	図面番号	
設計会社名	(株)ネクスコ・エンジニアリング新潟		
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

青海川橋 下り線 A1-P1
表面保護工 S=1:160



図示表示	コンクリートはつり工	断面修復工
	B1 (t=5cm)	B1 (t=5cm)
	B1 (t=6cm)	B1 (t=6cm)

図示表示	工種
	表面保護工

数 量 表

単位:(㎡)

項 目	箱桁下面	路肩側張出下面	路肩側箱桁側面	合 計
コンクリート表面被覆工	38.10	1.29	4.69	44.08

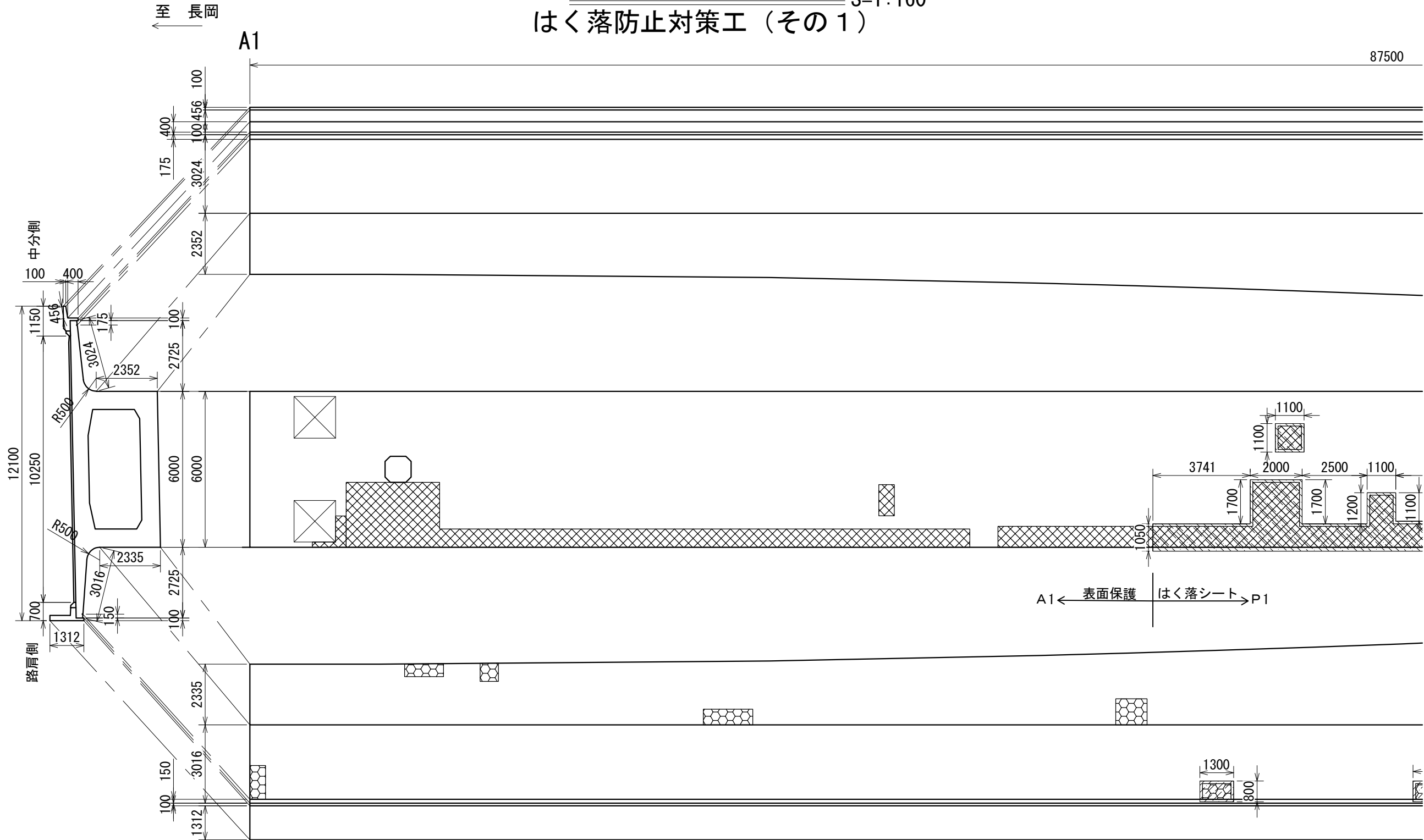
※1 実際の施工寸法は、本図面をもとに現場実測結果と照合した上で決定すること。



型式：三径間連続PC箱桁橋


北陸自動車道 R 6 長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	青海川橋 下り線 A1-P1 表面保護工		
縮尺	1/160	図面番号	
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

青海川橋 下り線 A1-P1
はく落防止対策工（その１） S=1:160

至上越



図示表示	コンクリートはつり工	断面修復工
	B1 (t=5cm)	B1 (t=5cm)
	B1 (t=6cm)	B1 (t=6cm)

図示表示	工種
	はく落防止対策工

項 目	箱桁下面	路肩側張出下面	路肩側箱桁側面	合 計
はく落防止対策工B1	42.75	6.33	4.17	53.25

※1 実際の施工寸法は、本図面をもとに現場実測結果と照合した上で決定すること。

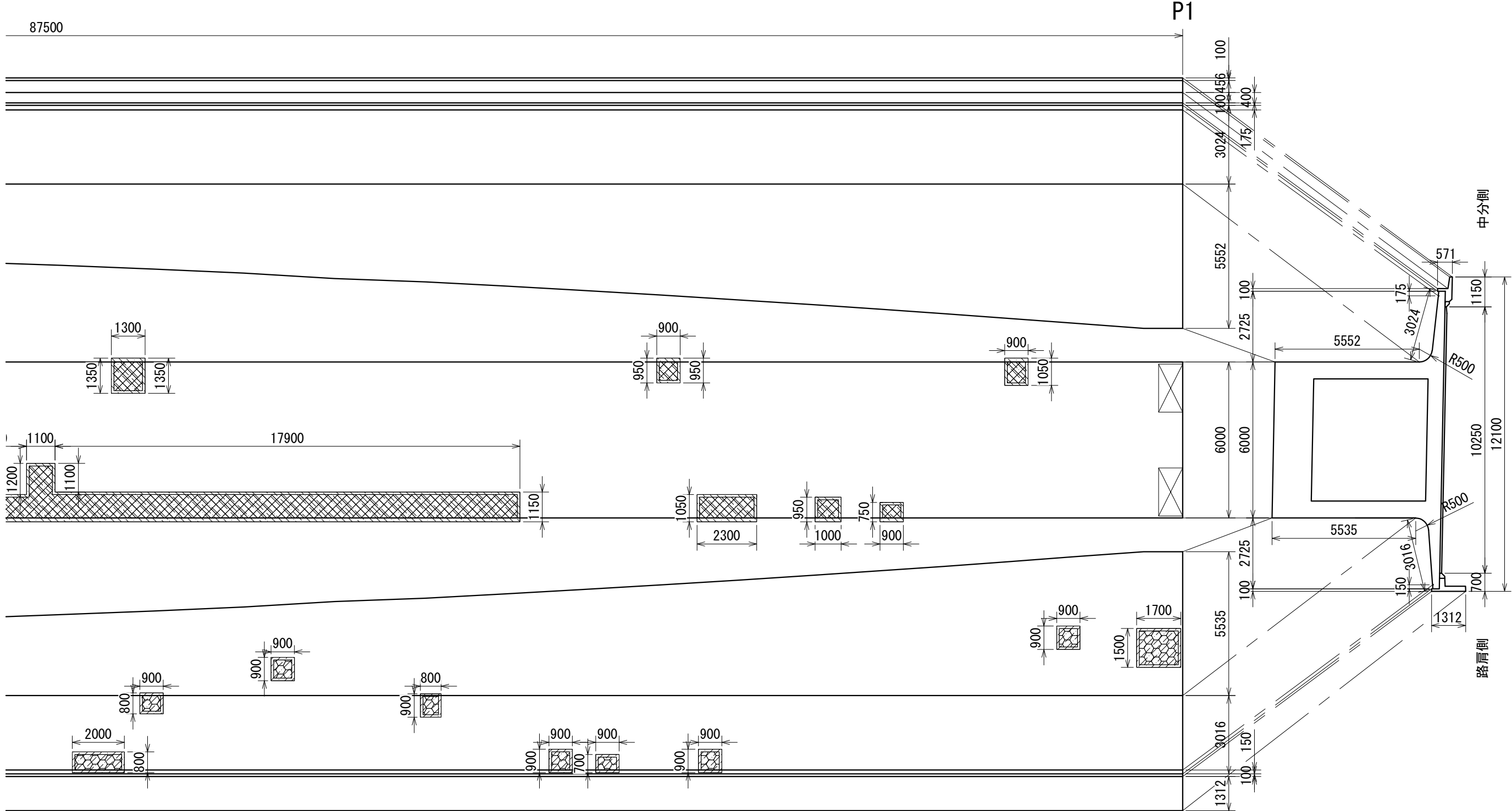
型式：三徑間連續PC箱桁橋

北陸自動車道 R 6 長岡管内橋梁補修工事		
図面の種類	青海川橋 下り線 A1-P1 はく落防止対策工（その１）	
縮尺	1/160	図面番号
設計会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所	

青海川橋 下り線 A1-P1
はく落防止対策工（その2）

至 長岡

至 上越



図示表示	コンクリートはつり工	断面修復工
	B1 (t=5cm)	B1 (t=5cm)
	B1 (t=6cm)	B1 (t=6cm)

図示表示	工種
	はく落防止対策工

型式：三径間連続PC箱桁橋

※ 数量表についてはその1を参照

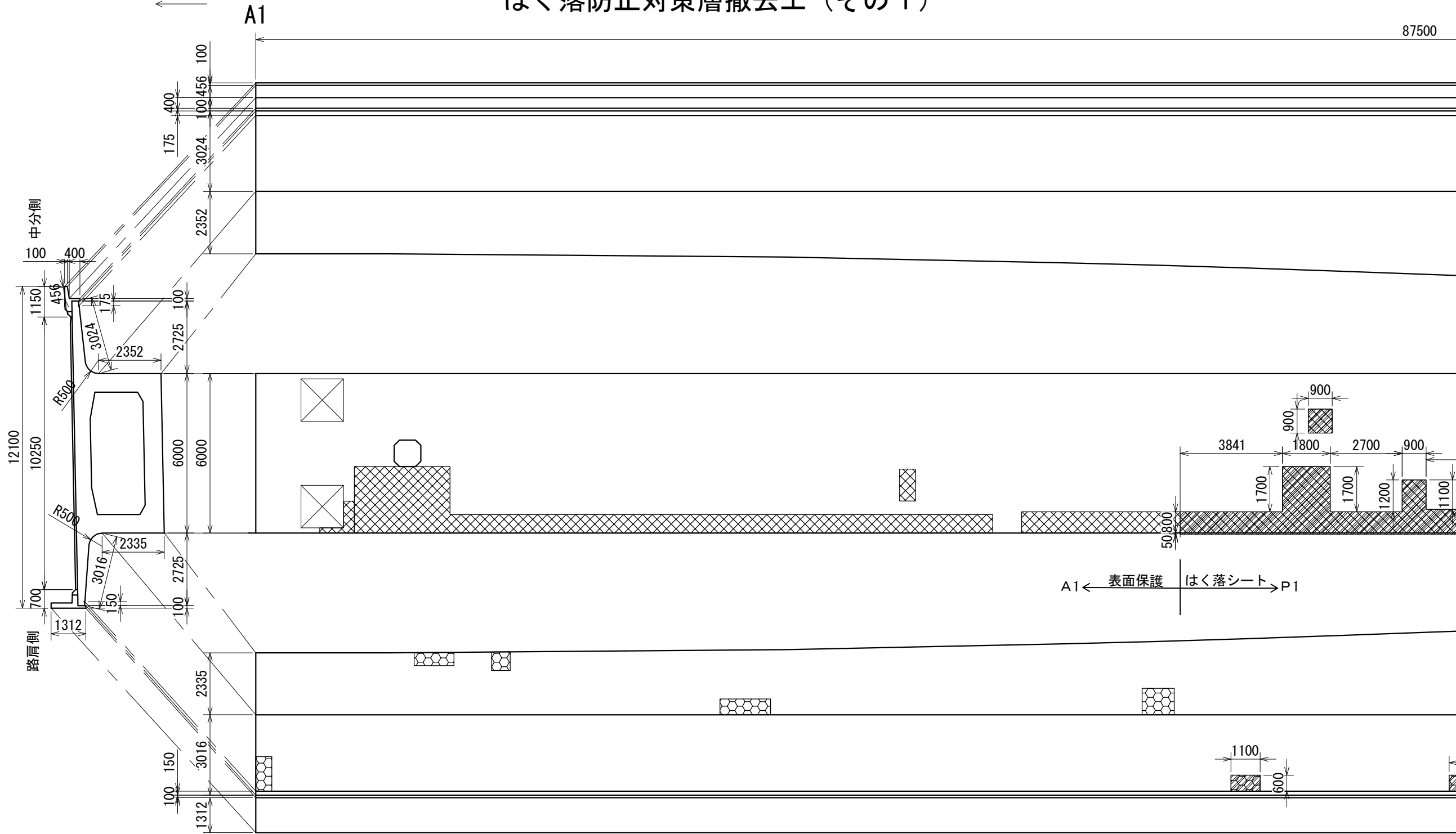
北陸自動車道 R 6 長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	青海川橋 下り線 A1-P1 はく落防止対策工（その2）		
縮尺	1/160	図面番号	
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

青海川橋 下り線 A1-P1
はく落防止対策層撤去工（その1）

S=1:160

至 上越

至 長岡



※1 実際の施工寸法は、本図面をもとに現場実測結果と照合した上で決定すること。

型式：三径間連続PC箱桁橋

図示表示	コンクリートはつり工	断面修復工
	B1 (t=5cm)	B1 (t=5cm)
	B1 (t=6cm)	B1 (t=6cm)

図示表示	工種
	はく落防止対策層撤去工

数 量 表

単位:(㎡)

項 目	箱桁下面	路肩側張出下面	路肩側箱桁側面	合 計
はく落防止対策層撤去工B	35.00	3.91	2.93	41.84

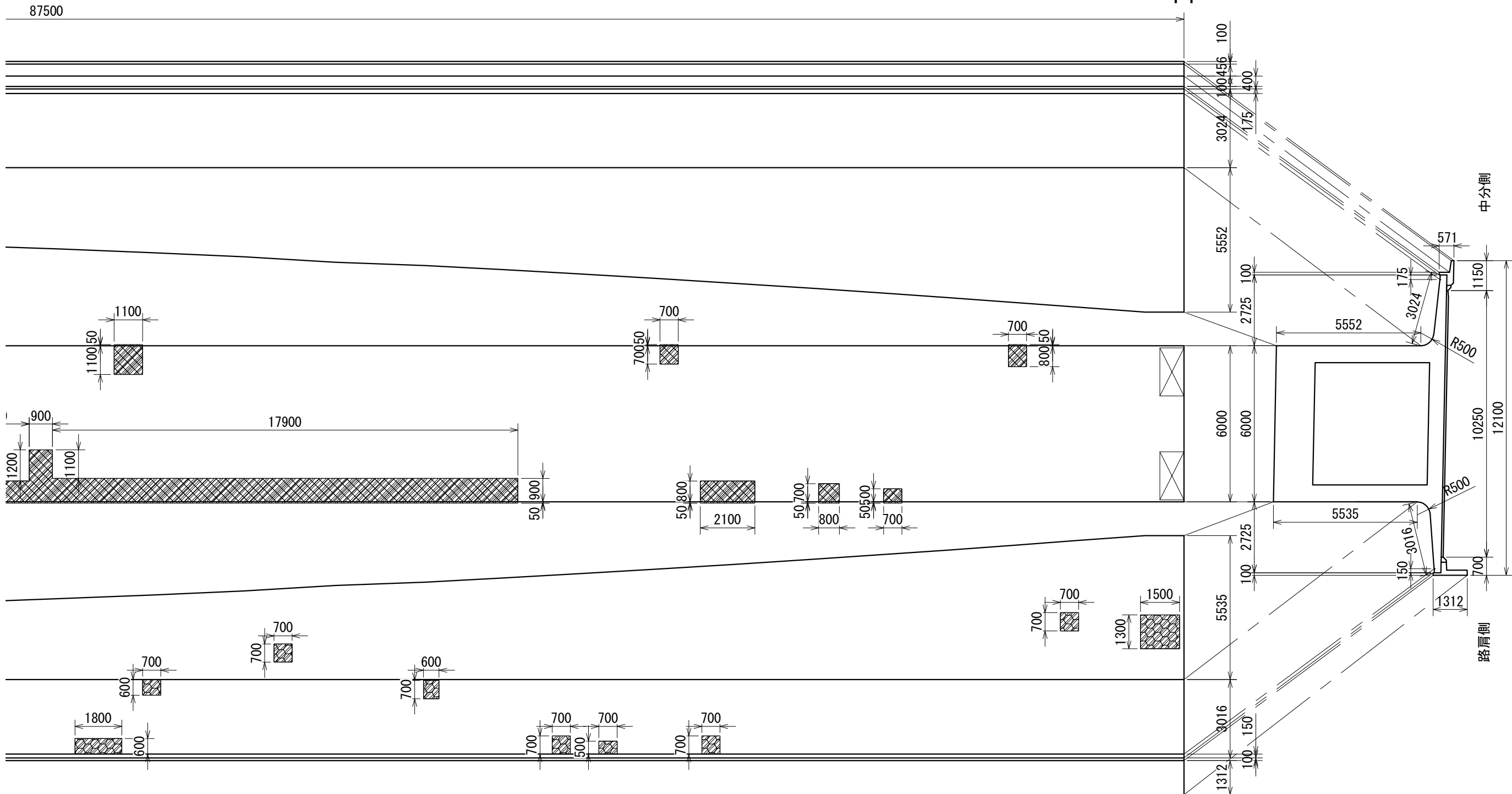
北陸自動車道 R 6 長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	青海川橋 下り線 A1-P1 はく落防止対策層撤去工（その1）		
縮尺	1/160	図面番号	
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

青海川橋 下り線 A1-P1
S=1:160
はく落防止対策層撤去工（その2）

至 長岡



至上越


P1



型式：三徑間連續PC箱桁橋

※ 数量表についてはその1を参照

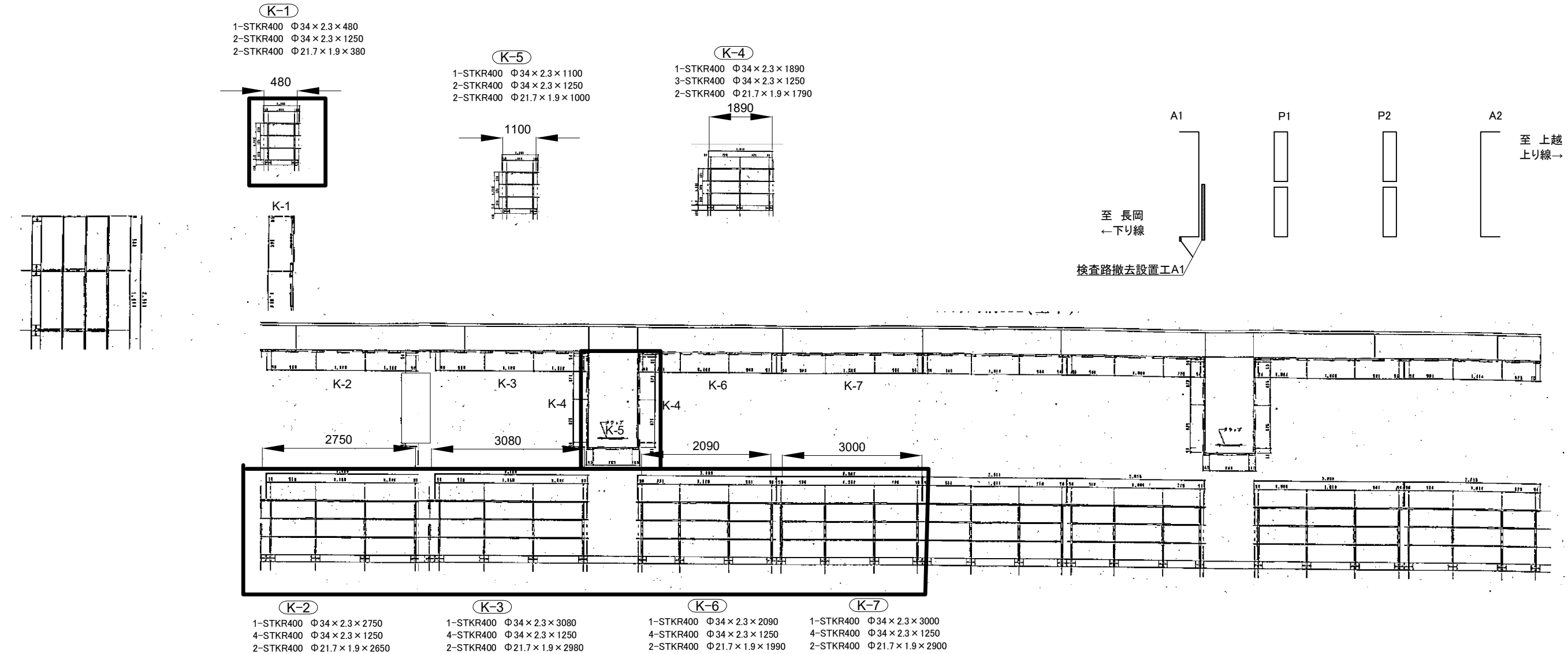
図示表示	コンクリートはつり工	断面修復工
	B1 (t=5cm)	B1 (t=5cm)
	B1 (t=6cm)	B1 (t=6cm)

図示表示	工種
	はく落防止対策層撤去工

北陸自動車道 R 6 長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	青海川橋 下り線 A1-P1 はく落防止対策層撤去工（その２）		
縮尺	1/160	図面番号	
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

青海川橋 下り線 A1

検査路撤去設置工A1



青海川橋
下り線A1橋台
手摺部

構造形式	種別	材質	寸法(mm)		数量	重量/m	重量(kg)	
			断面	長さ			単個	合計
K-1	pipe	STKR400	φ 34*2.3	480	1	1.80	0.864	0.9
	"	"	"	1250	2	1.80	2.250	4.5
	"	"	φ 21.7*1.9	380	2	0.93	0.353	0.7
	PL	SM400A	150*13	180	2	15.31	2.756	5.5
	BN	SUS	M16(1W1SW1N付)	40	4	-	0.144	0.6
K-2	pipe	STK400	φ 34*2.3	2750	1	1.80	4.950	5.0
	"	"	"	1250	4	1.80	2.250	9.0
	"	"	φ 21.7*1.9	2650	2	0.93	2.465	4.9
	PL	SM400A	150*13	180	4	15.31	2.756	11.0
	BN	SUS	M16	40	8	-	0.144	1.2
K-3	pipe	STK400	φ 34*2.3	3080	1	1.80	5.544	5.5
	"	"	"	1250	4	1.80	2.250	9.0
	"	"	φ 21.7*1.9	2980	2	0.93	2.771	5.5
	PL	SM400A	150*13	180	4	15.31	2.756	11.0
	BN	SUS	M16	40	8	-	0.144	1.2
K-4	pipe	STK400	φ 34*2.3	1890	1	1.80	3.402	3.4
	"	"	"	1250	3	1.80	2.250	6.8
	"	"	φ 21.7*1.9	1790	2	0.93	1.665	3.3
	PL	SM400A	150*13	180	3	15.31	2.756	8.3
	BN	SUS	M16	40	6	-	0.144	0.9
小計(n=2)							45.2	

K-5	pipe	STK400	φ 34*2.3	1100	1	1.80	1.980	2.0
	"	"	"	1250	2	1.80	2.250	4.5
	"	"	φ 21.7*1.9	1000	2	0.93	0.930	1.9
	PL	SM400A	150*13	180	2	15.31	2.756	5.5
	BN	SUS	M16	40	4	-	0.144	0.6
小計(n=1)							14.4	
K-6	pipe	STK400	φ 34*2.3	2090	1	1.80	3.762	3.8
	"	"	"	1250	4	1.80	2.250	9.0
	"	"	φ 21.7*1.9	1990	2	0.93	1.851	3.7
	PL	SM400A	150*13	180	4	15.31	2.756	11.0
	BN	SUS	M16	40	8	-	0.144	1.2
小計(n=1)							28.6	
K-7	pipe	STK400	φ 34*2.3	3000	1	1.80	5.400	5.4
	"	"	"	1250	4	1.80	2.250	9.0
	"	"	φ 21.7*1.9	2900	2	0.93	2.697	5.4
	PL	SM400A	150*13	180	4	15.31	2.756	11.0
	BN	SUS	M16	40	8	-	0.144	1.2
小計(n=1)							32.0	
合計(n=1)							195.7	

数 量 表
単位:(箇所)

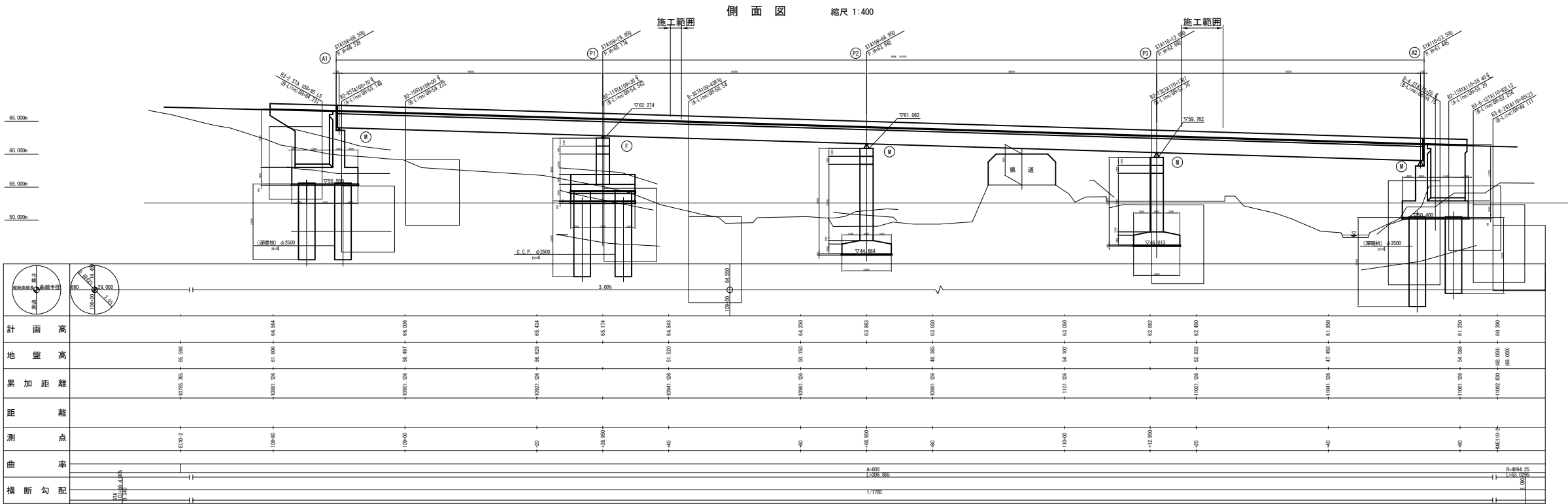
項 目	合 計
検査路撤去設置工A1	1.0

□ : 検査路撤去設置箇所

北陸自動車道 R 6 長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	青海川橋 下り線 A1 検査路撤去設置工A1		
縮尺	1/70	図面番号	
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

坂田川橋 下り線

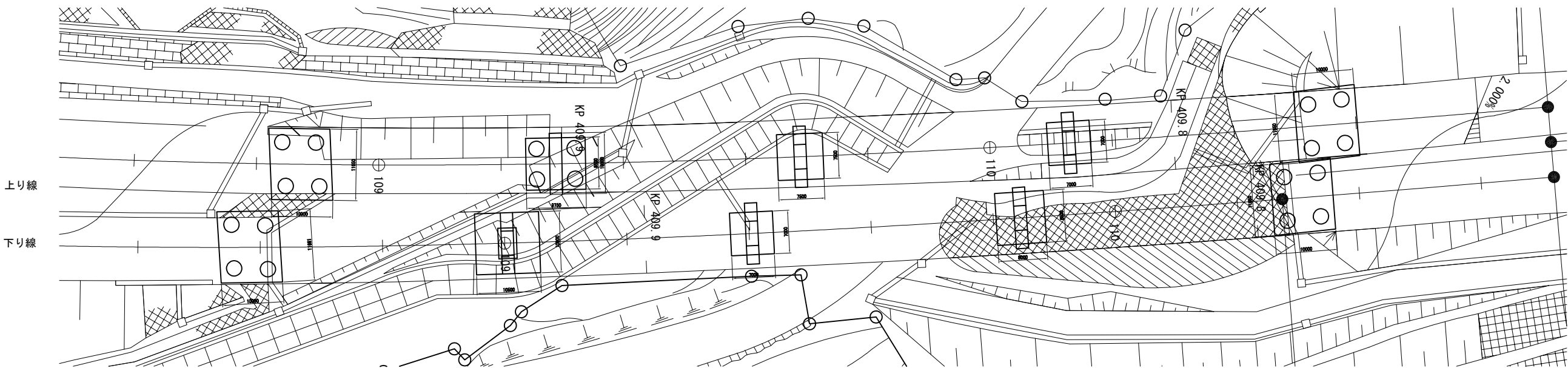
橋梁一般図



至 長岡

平面図 縮尺 1:400

至 上越

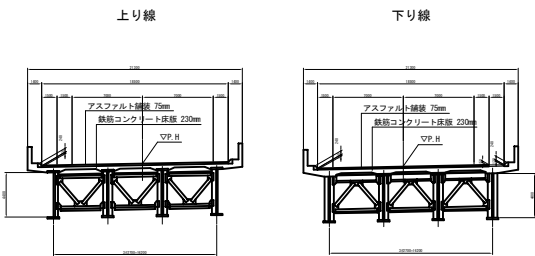


断面図

縮尺 1:200

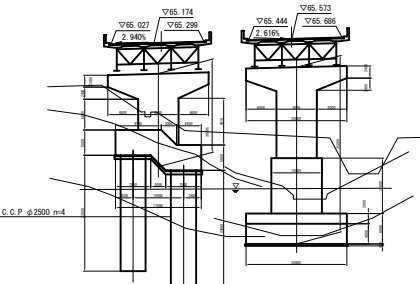
標準断面図

縮尺 1:50



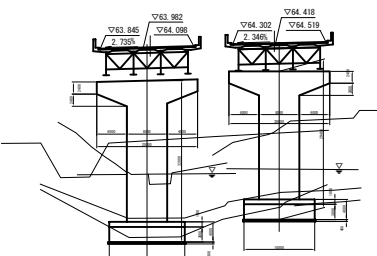
P1 橋脚

上り線 下り線



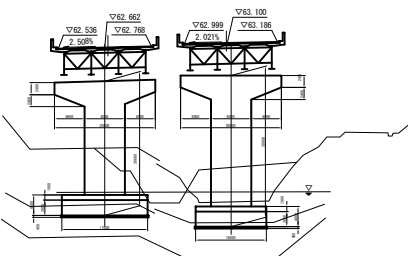
P2 橋脚

上り線 下り線



P3 橋脚

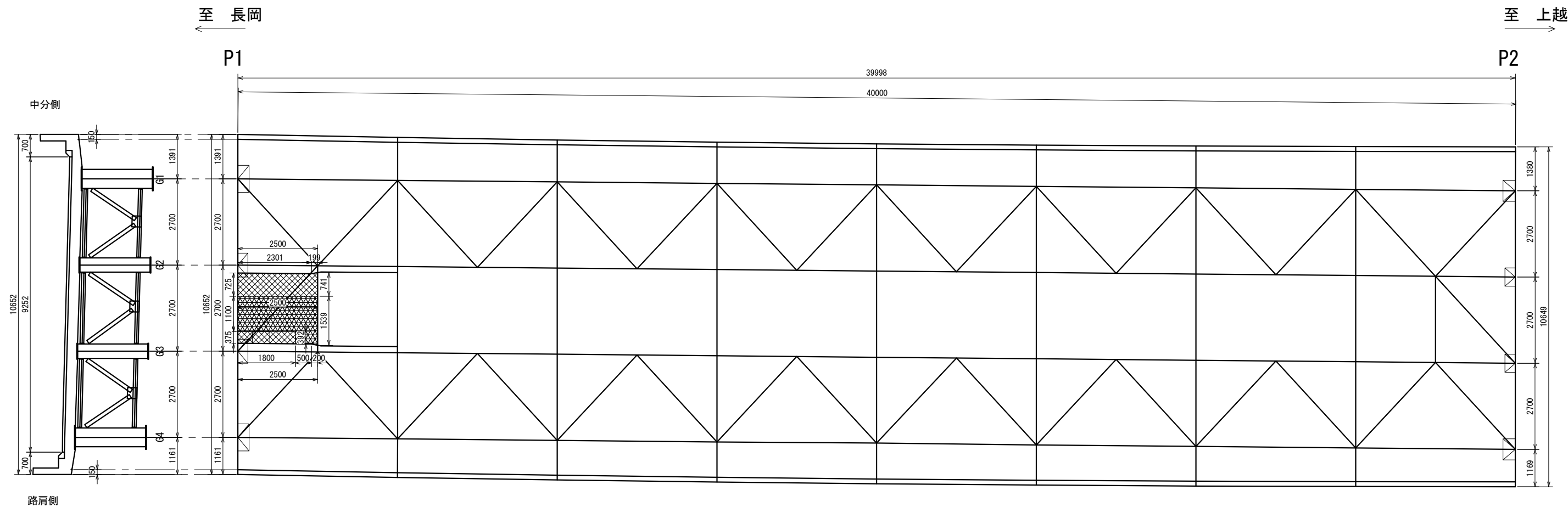
上り線 下り線



設計条件	
TYPE	4径路連続橋脚
型式	165.000
橋長	162.000
支間長	2@40.000+44.000+40.000
有効幅員	9.250
活荷重	1T-43
斜角	
設計速度	KH=0.15
温度差	
雪荷重	0.5t/m ²
衝撃係数	20/(50+L)
曲線半径	A=600 R=950 L=306.865
縦断勾配	0.6942% 3.000%

北陸自動車道 R6長岡管内橋梁補修工事	
図面の種類	坂田川橋 下り線
	橋梁一般図
縮尺	図示 図面番号
設計会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所

坂田川橋 下り線 P1-P2
コンクリートはつりエ・断面修復工（その１）



数 量 表

単位:(㎡)

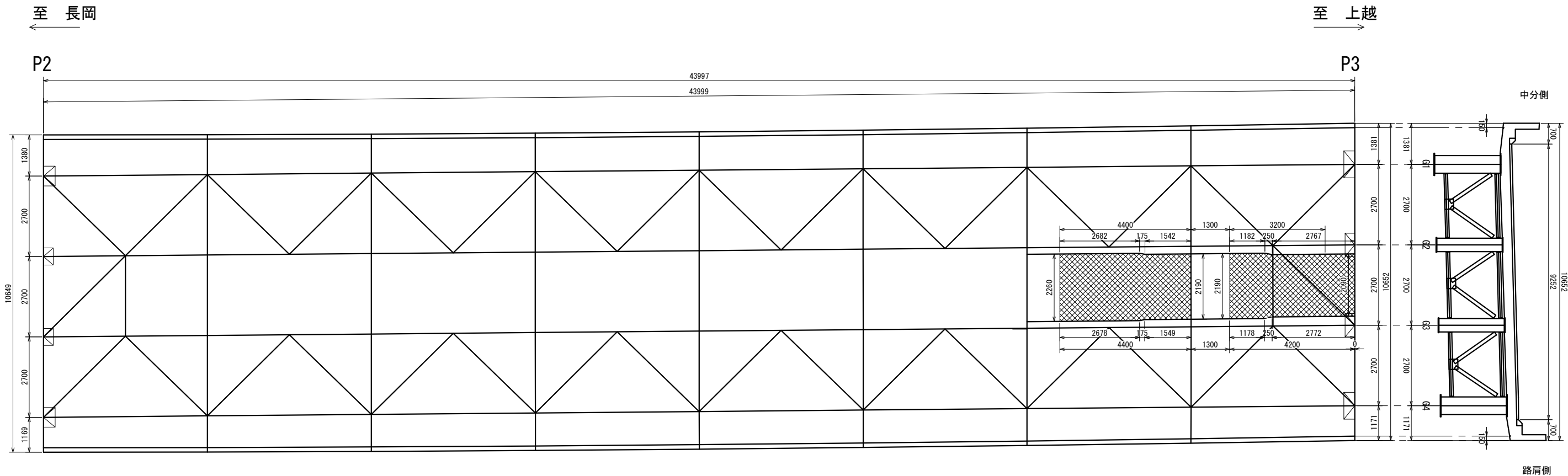
項 目	床版下面	合 計
コンクリートはつりエ A1(t=2cm)	3.03	3.03
コンクリートはつりエ A1(t=5cm)	21.22	21.22
項 目	床版下面	合 計
断面修復工 A1(t=2cm) ※1	3.03	3.03
断面修復工 A1(t=5cm) ※1	21.22	21.22

図示表示	コンクリートはつりエ	断面修復工
	A1 (t=2cm)	A1 (t=2cm)
	A1 (t=5cm)	A1 (t=5cm)

※1 各吹付の1層目は、亜硝酸リチウムを配合した断面修復材を1cm以上の厚みで吹き付けるものとする。

北陸自動車道 R 6 長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	坂田川橋 下り線 P1-P2 コンクリートはつりエ・断面修復工（その１）		
縮尺	1/130	図面番号	
設計会社名	(株)ネクスコ・エンジニアリング新潟		
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

坂田川橋 下り線 P2-P3
コンクリートはつりエ・断面修復工（その2）



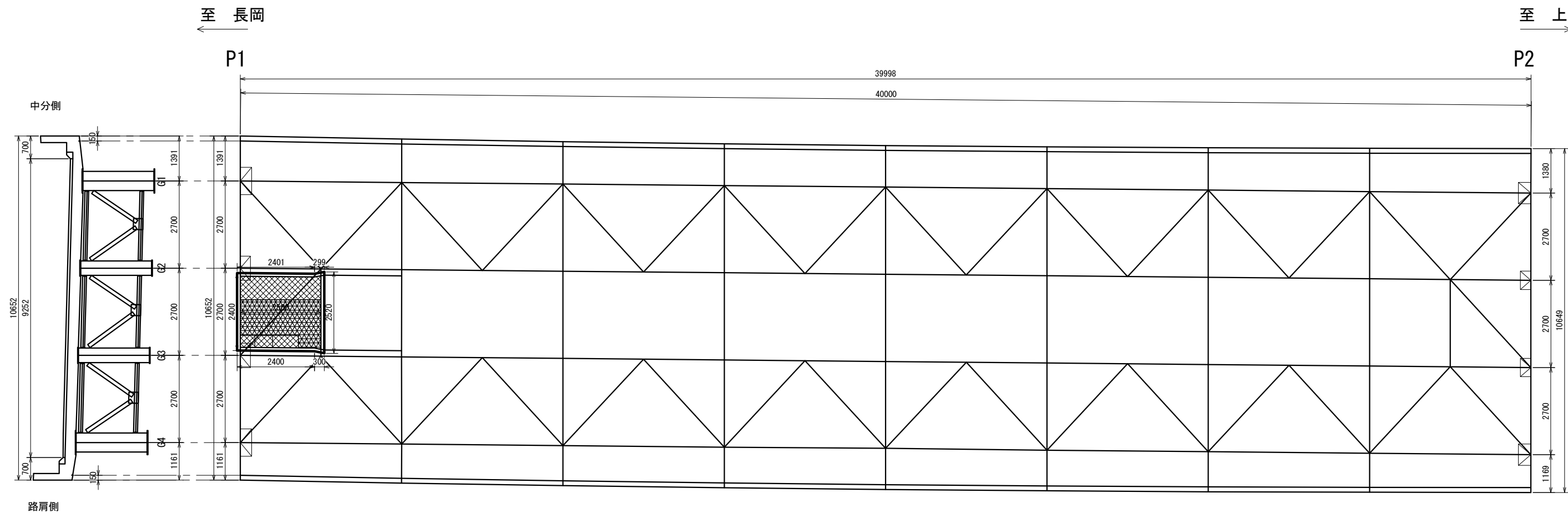
図示表示	コンクリートはつりエ	断面修復工
	A1 (t=2cm)	A1 (t=2cm)
	A1 (t=5cm)	A1 (t=5cm)

※ 数量表についてはその1を参照

※1 各吹付の1層目は、亜硝酸リチウムを配合した断面修復材を1cm以上の厚みで吹き付けるものとする。

北陸自動車道 R 6 長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	坂田川橋 下り線 P2-P3 コンクリートはつりエ・断面修復工（その2）		
縮尺	1/140	図面番号	
設計会社名	(株)ネクスコ・エンジニアリング新潟		
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

坂田川橋 下り線 P1-P2
表面保護工（その1）



数量表

単位:(㎡)

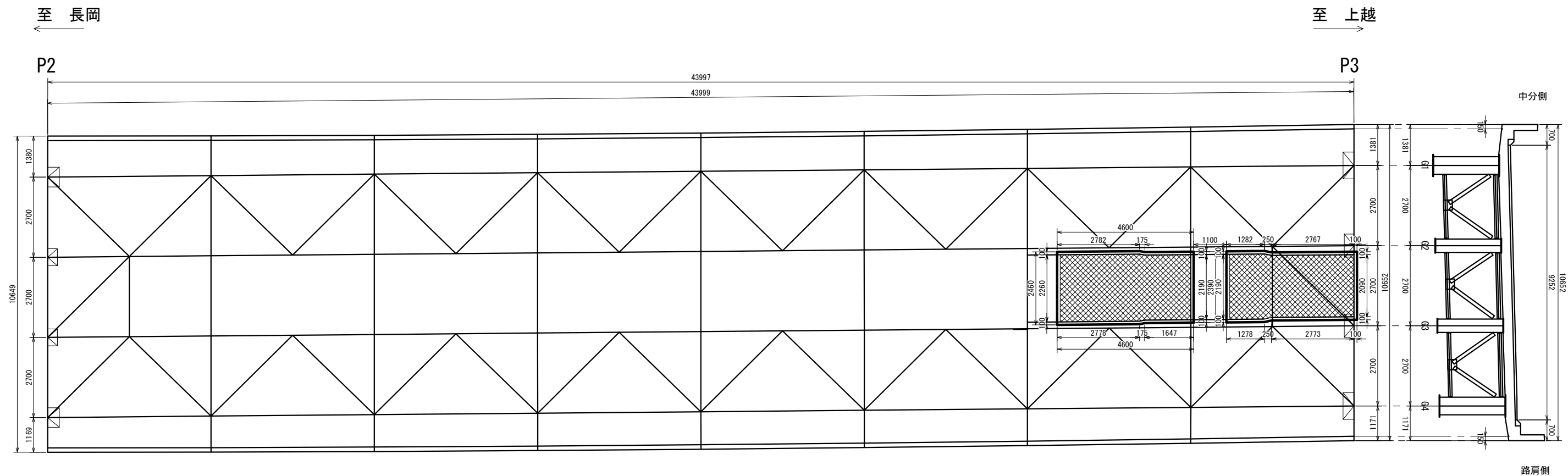
項目	床版下面	合計
コンクリート表面被覆工	27.91	27.91

図示表示	コンクリートはつり工	断面修復工
	A1 (t=2cm)	A1 (t=2cm)
	A1 (t=5cm)	A1 (t=5cm)

図示表示	工種
	表面保護工

北陸自動車道 R 6 長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	坂田川橋 下り線 P1-P2 表面保護工（その1）		
縮尺	1/130	図面番号	
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

坂田川橋 下り線 P2-P3
表面保護工（その2）



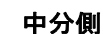
図示表示	コンクリートはつりエ	断面修復工
	A1 (t=2cm)	A1 (t=2cm)
	A1 (t=5cm)	A1 (t=5cm)

図示表示	工種
	表面保護工

※ 数量表についてはその1を参照

北陸自動車道 R 6 長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	坂田川橋 下り線 P2-P3 表面保護工（その2）		
縮尺	1/140	図面番号	
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

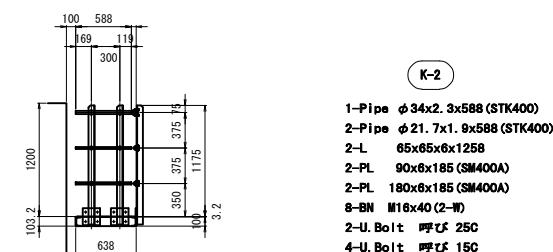
平面图



1 - 1



構造形式	種別	材質	寸法(mm)		数量	重量/m	重量(kg)	
			断面	長さ			単個	合計
K-1	Pipe	STK400	φ 34*2.3	4942	1	1.80	8.896	8.9
	〃	〃	φ 21.7*1.9	4942	2	0.93	4.596	9.2
	L	SS400	65*65*6	1258	4	5.85	7.359	29.4
	PL	SM400A	95*6	185	4	4.48	0.829	3.3
	〃	〃	185*6	185	4	8.72	1.613	6.5
	BN	2-W	M16	40	16	-	0.127	2.0
	U.Bolt	SS400	呼び 25C	-	4	-	0.138	0.6
	〃	〃	呼び 15C	-	8	-	0.118	0.9
							小計 (n=1)	60.8
							合計 (n=1)	60.8



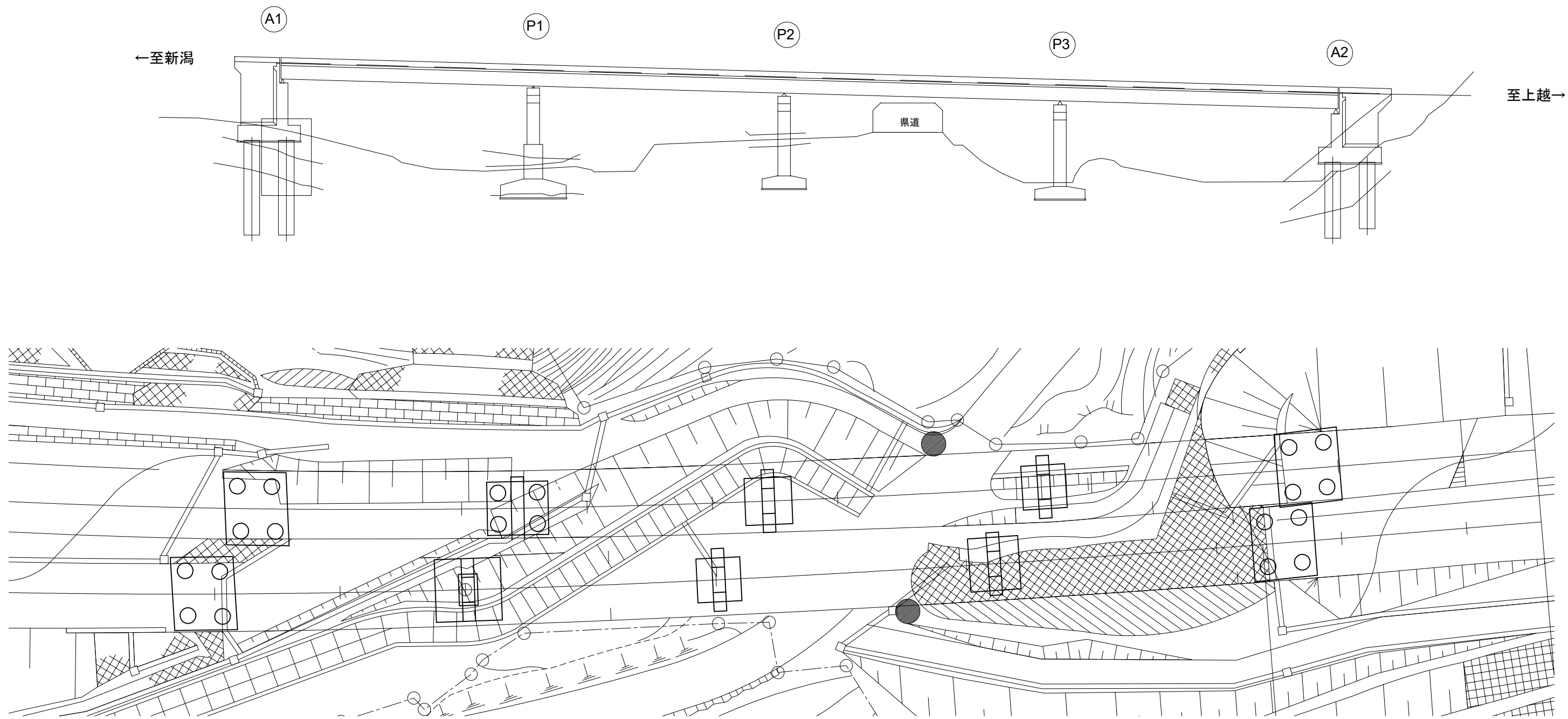
单位:(箇所)

項 目	合 計
検査路撤去設置工B1	1.0

注)
1. 特記なき材質は全てSS41とする。
2. 全ての部材は亜鉛メッキとする。
3. 部材製作に当たっては、事前に現地実測を行い、その結果を反映すること。

北陸自動車道 R 6 長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	坂田川橋 下り線 P1 検査路撤去設置工B1		
縮尺	1/80	図面番号	
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

坂田川橋 下り線
交通誘導警備員B 配置図



※足場設置撤去時

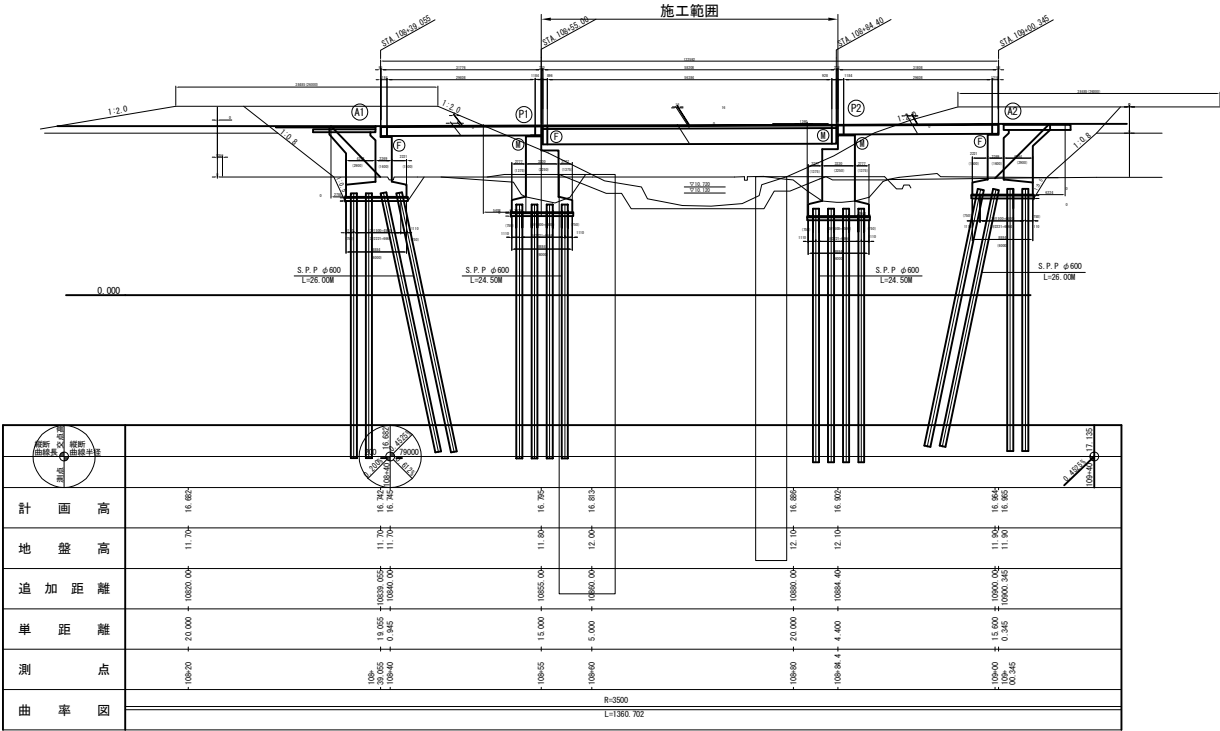
北陸自動車道 R 6 長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	坂田川橋 下り線 交通誘導警備員B 配置図		
縮尺	1/400	図面番号	
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

●: 交通誘導警備員B

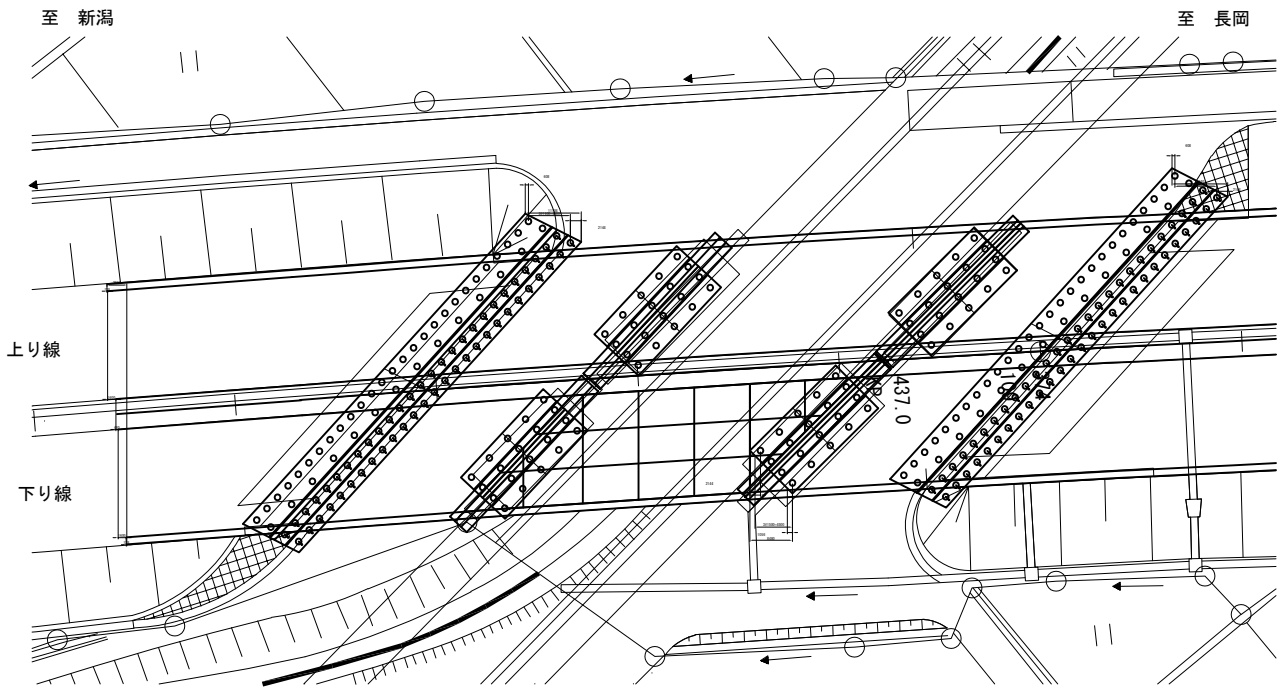
坂井田橋 上下線

橋梁一般図

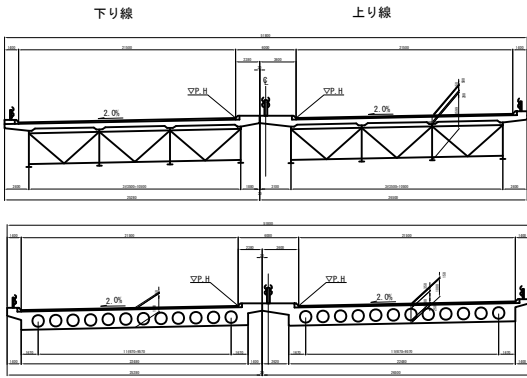
側 面 図 縮尺 1:20



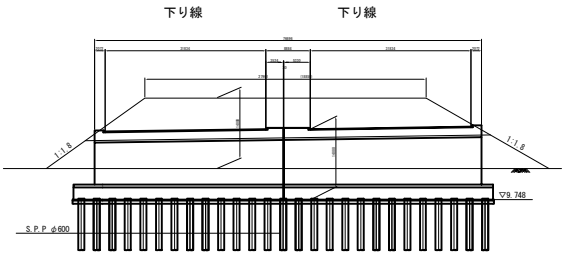
平 面 圖 縮尺 1:20



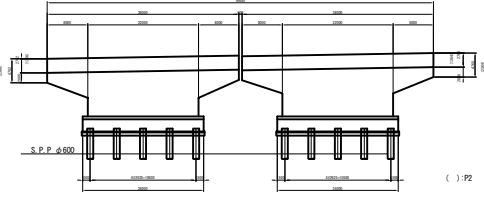
標準断面図 縮尺 1:1



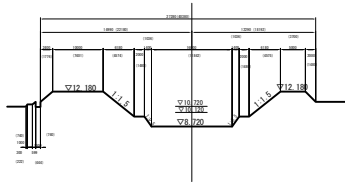
標準断面図 縮尺 1:1



下り線 上り線



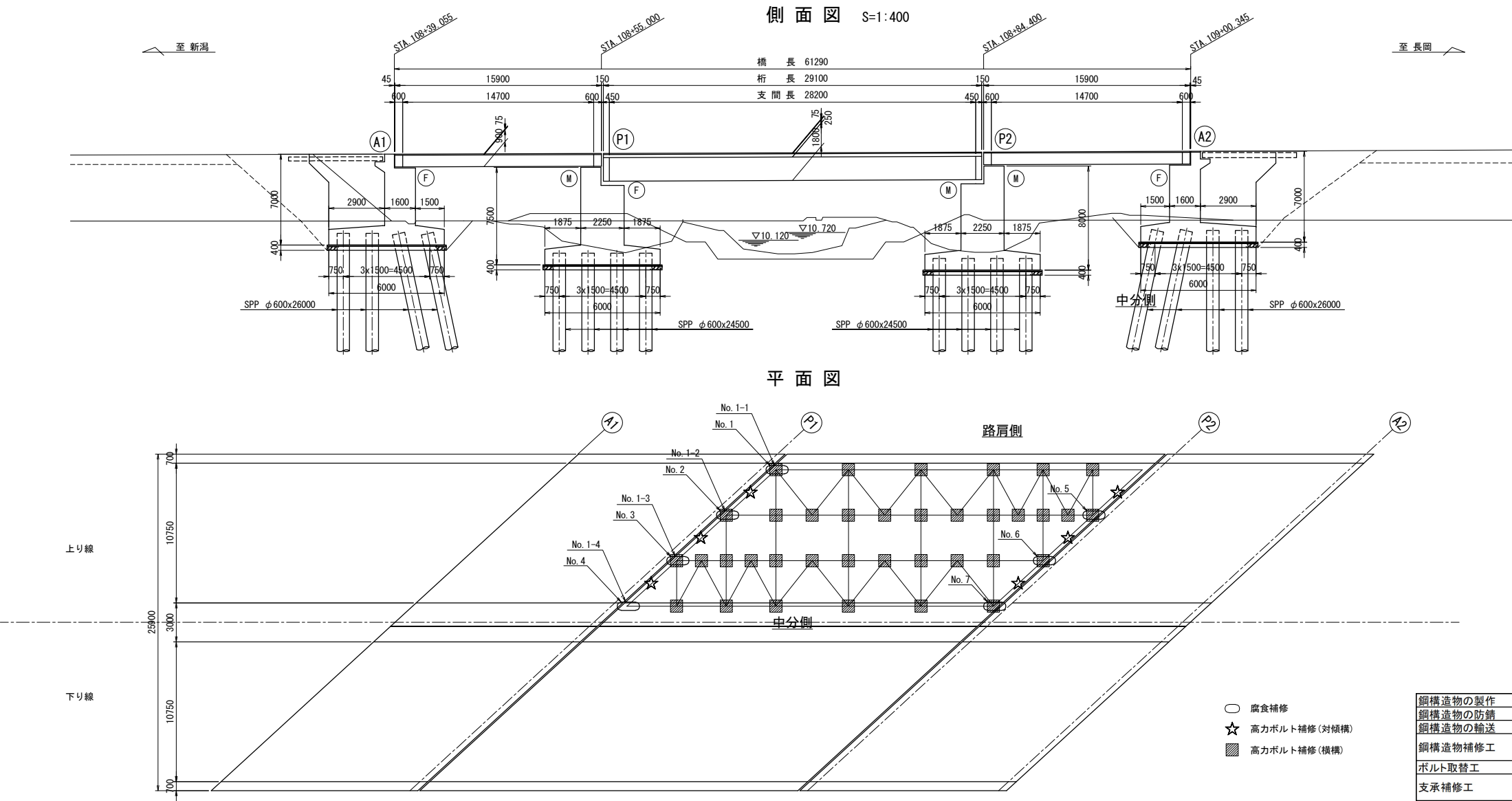
計画河川断面図 縮尺 1:2



設 計 条 件	
型 式	R 口 中 空 保 温 , 鋼 單 純 形
構 長	61.290
桁 長	15.900+29.100+15.900
支 間	14.700+28.200+14.700
有 効 構 長	10.750M
荷 重	TL-20 , TL-43 (48.6)
壓 係 係 數	i=20 (50/L)
氣 溫	±10°
地 震 係 數	KH=0.2 KV=0
特 殊 荷 重	—
斜 角	42° ~ 30°
曲 率 半 徑	R=3500M
截 面 勾 配	0.20% 0.45%

北陸自動車道 R 6 長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	坂井田橋 上下線 橋梁一般図		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

坂井田橋 上り線
補修一般図



鋼構造物の製作	製作材料費(鋼板)A1	0.058 t
鋼構造物の防錆	鋼構造物の塗装J	1.1 m2
鋼構造物の輸送	鋼橋の輸送	0.055 t
鋼構造物補修工	断面整形工A	4.065 L
ボルト取替工	当て板補修工A	0.077 t
支承補修工	高力ボルト取替工A	524.0 本
	支承補修工A1	1.0 箇所
	支承補修工A2	3.0 箇所

高力ボルト補修

対傾構	6箇所
横 構	36箇所
合計箇所数	42箇所

腐食損傷の補修

No.	部位	当て板補修工A	断面整形工A
1	主桁端部		○
2	主桁端部	○	○
3	主桁端部		○
4	主桁端部	○	○
5	主桁端部	○	○
6	主桁端部	○	○
7	主桁端部		○
合計箇所数		3箇所	7箇所

注記

- 高力ボルトの座金が当たる部分は、塗装を除去し素地調整(1種ケレン)を行い、十分清掃した後に、新しいボルトを取り付ける。
- ボルトの取替は、1本ずつ行うことを原則とする。
- 複数の添接板のボルトを取替える場合には、添接板1組ごとに取替作業を行う。
- 多主桁の橋梁で橋軸方向に同一主桁の複数の継手について高力ボルトの取替えを実施する場合には、同時取替えは行わず継手ごとに取替えを実施する。
- 多主桁の橋梁で橋軸直角方向同一断面の複数の主桁継手を取替える場合には、同時取替えは行わず継手ごとに取替えを実施する。

支承部の塗装補修

	脚番号	No.	支 承 補 修 工 A				備 考
			本体	アンカーボルト	サイドアップロック用ボルト	ナット取替え	
上 り 線	P1	1-1	○	○	○	2 個	
		1-2	○	○	○	2 個	
		1-3	○	○	○	1 個	
		1-4	○	○	○	2 個	
合計箇所数		4箇所	4箇所	4箇所	7 個		

北陸自動車道 R6長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	坂井田橋 上り線 補修一般図		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	(株)ネクスコ・エンジニアリング新潟		
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

坂井田橋 上り線
補修数量総括表

・鋼構造物補修工

項 目				単位	数量	備 考
鋼構造物の製作	製作材料費(鋼板)		A1	t	0.058	SM400,SS400
	コバ処理	面取り長	2C	m	5.7	
鋼構造物の輸送	輸送重量			t	0.055	
鋼構造物の防錆	塗装	接触面	J	m2	1.12	
断面整形工A	ケレン		1種	m2	0.66	
			4種	m2	0.34	
	エポキシ樹脂パテ		体積	L	4.065	
	現場塗装		c-3	m2	1.01	
当て板補修工A	架設鋼材	鋼板	質量	t	0.055	
		高力ボルト(TCB) (M22)	本数	本	31.0	S10T
			質量	t	0.016	
		高力ボルト(HTB) (M22)	本数	本	8.0	F10T
			質量	t	0.004	
		普通ボルト (M24)	本数	本	2.0	SS400
	質量		t	0.002		
	撤去鋼材	普通ボルト (M24)	本数	本	2.0	SS41
			質量	t	0.002	
	ケレン		1種	m2	0.45	
			4種	m2	1.05	
	現場ボルト孔明け		高力ボルト	箇所	39.0	
	シリコン樹脂シール		体積	L	0.700	標準使用量
	エポキシ樹脂接着材		体積	L	0.900	標準使用量
	ボルトキャップ	TCB(M22)		組	31.0	
		HTB(M22)		組	8.0	
		現場塗装		g-3	m2	1.78

・ボルト取替工

項 目				単位	数量	備 考
高力ボルト取替工A	架設鋼材	高力ボルト(TCB) (M22)	本数	本	524	S10T
			質量	t	0.254	
	撤去鋼材	高力ボルト(HTB) (M22)	本数	本	524	F11T
			質量	t	0.254	
	ケレン		1種	m2	12.34	
			4種	m2	5.28	
	ボルトキャップ	TCB(M22)		組	524	
	現場塗装		g-3	m2	16.46	

・支承補修工

項 目				単位	数量	備 考
支承補修工A1	架設鋼材	ナット (M48)	個数	個	1	SS400
			質量	t	0.001	
	撤去鋼材	ナット (M48)	個数	個	1	SS41
			質量	t	0.001	
	ケレン		1種	m2	1.47	
			4種	m2	0.26	
	現場塗装		c-3	m2	1.08	
			g-3	m2	0.65	
支承補修工A2	架設鋼材	ナット (M48)	個数	個	6	SS400
			質量	t	0.006	
	撤去鋼材	ナット (M48)	個数	個	6	SS41
			質量	t	0.006	
	ケレン		1種	m2	4.42	
			4種	m2	0.77	
	現場塗装		c-3	m2	3.25	
			g-3	m2	1.94	

注記
1. 塗膜除去工は各工種の1種ケレン総面積とする。

北陸自動車道 R 6 長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	坂井田橋 上り線 補修数量総括表		
縮尺		図面番号	
設計会社名	(株)ネクスコ・エンジニアリング新潟		
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

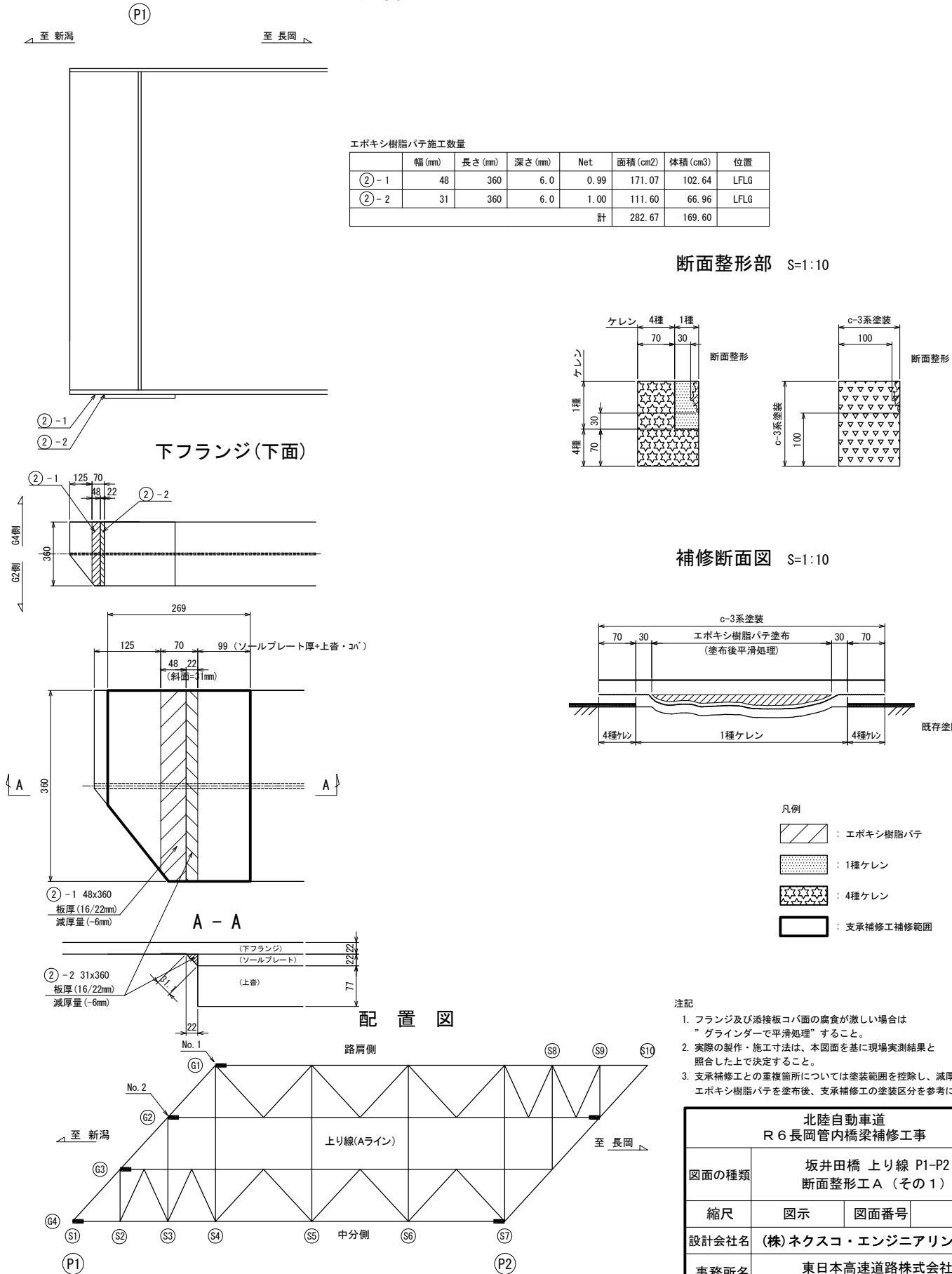
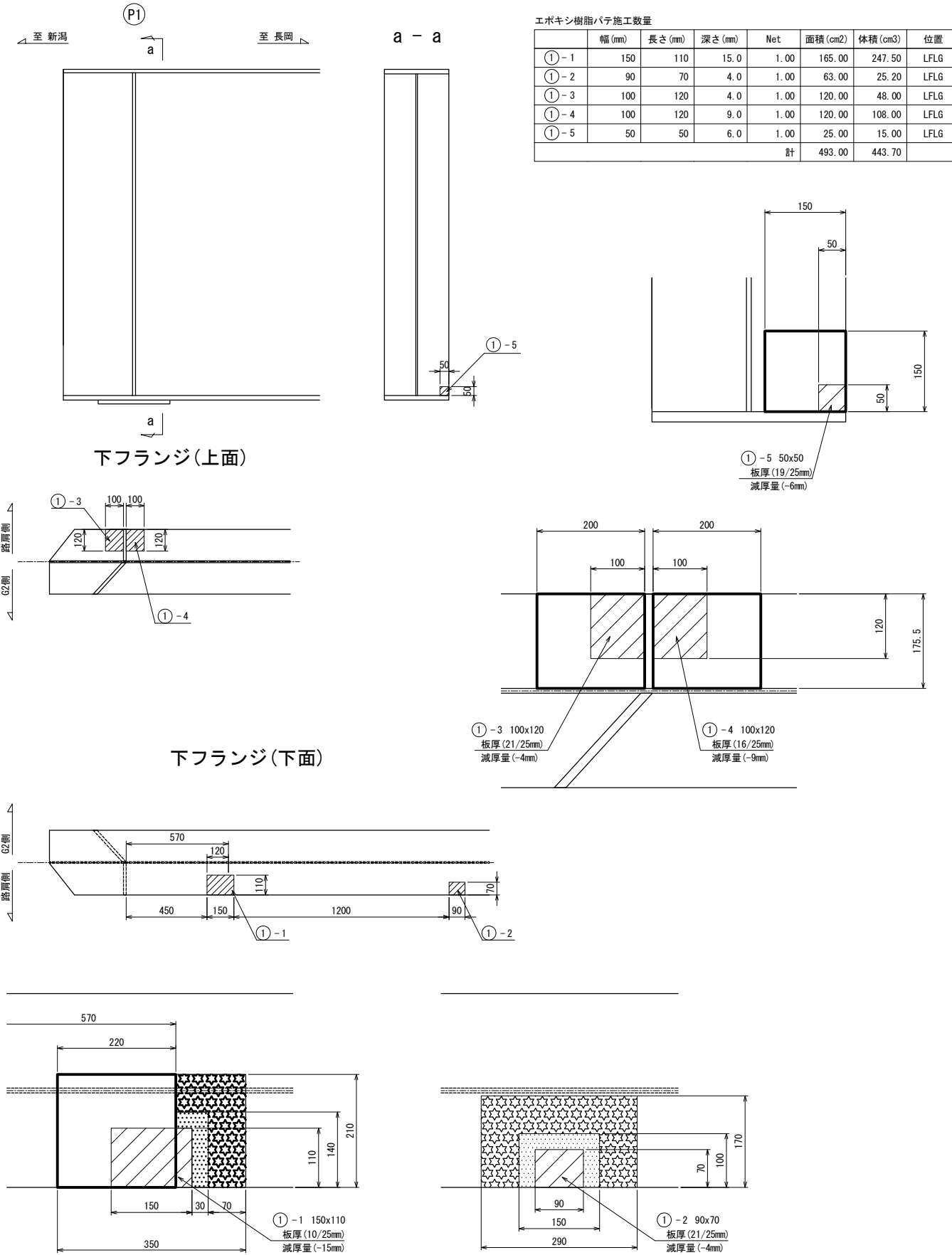
坂井田橋 上り線 P1-P2

断面整形工A（その1）

縮尺=1:30

〈P1-P2〉 S4-S5間 G1桁 損傷番号No. 1
ウェブ（G2側）

〈P1-P2〉 S3-S4間 G2桁 損傷番号No. 2
ウェブ（G3側）



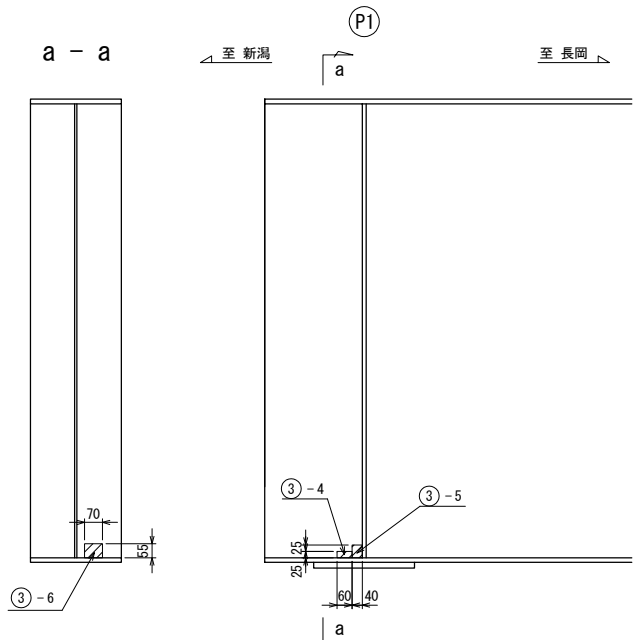
坂井田橋 上り線 P1-P2

縮尺=1:30

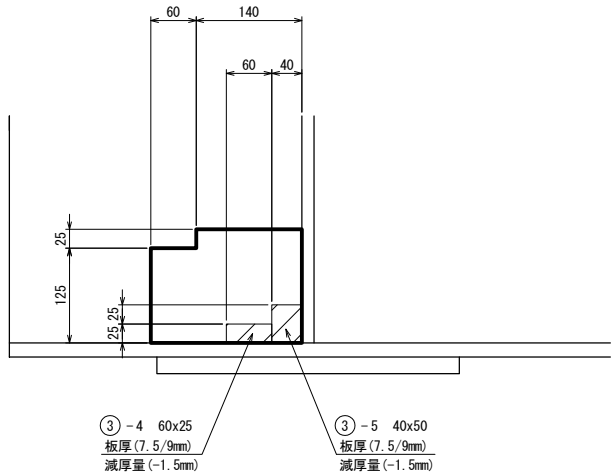
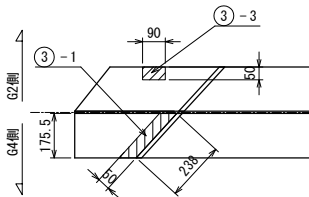
断面整形工A（その2）

〈P1-P2〉 S2-S3間 G3桁 損傷番号No. 3

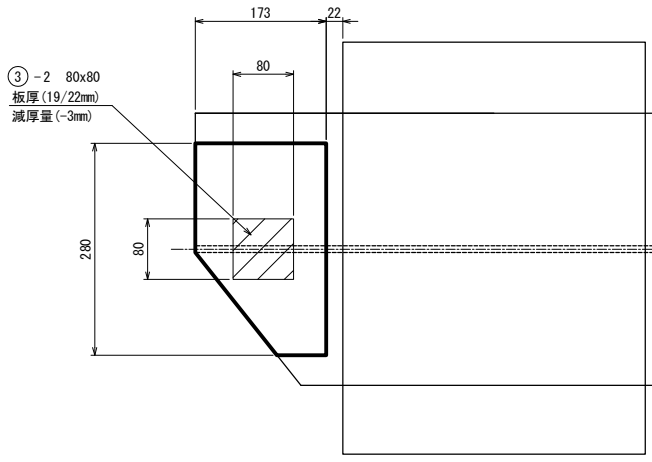
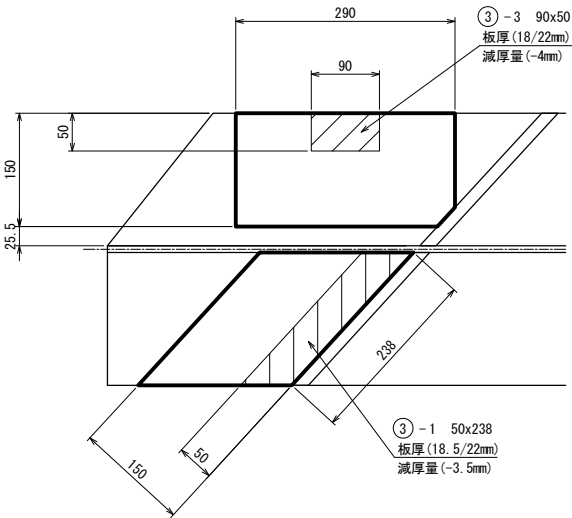
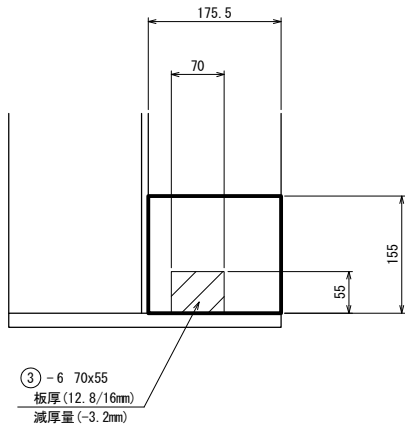
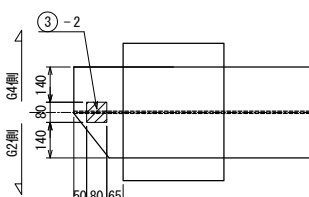
ウェブ（G4側）



下フランジ(上面)



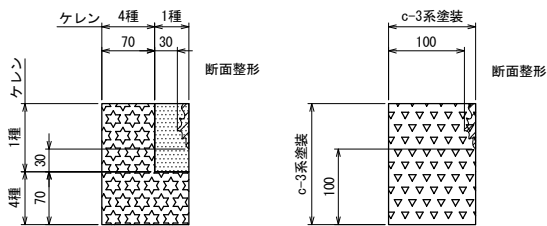
下フランジ(下面)



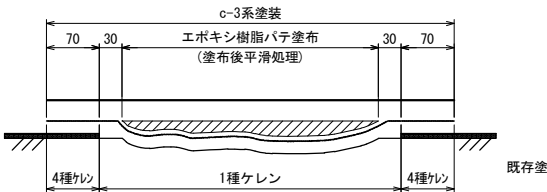
エポキシ樹脂パテ施工数量

	幅 (mm)	長さ (mm)	深さ (mm)	Net	面積 (cm ²)	体積 (cm ³)	位置
③-1	50	238	3.5	1.00	119.00	41.65	LFLG
③-2	80	80	3.0	1.00	64.00	19.20	LFLG
③-3	90	50	4.0	1.00	45.00	18.00	LFLG
③-4	60	25	1.5	1.00	15.00	2.25	WEB
③-5	40	50	1.5	1.00	20.00	3.00	WEB
③-6	70	55	3.2	1.00	38.50	12.32	VSTIF
計					301.50	96.42	

断面整形部 S=1:10

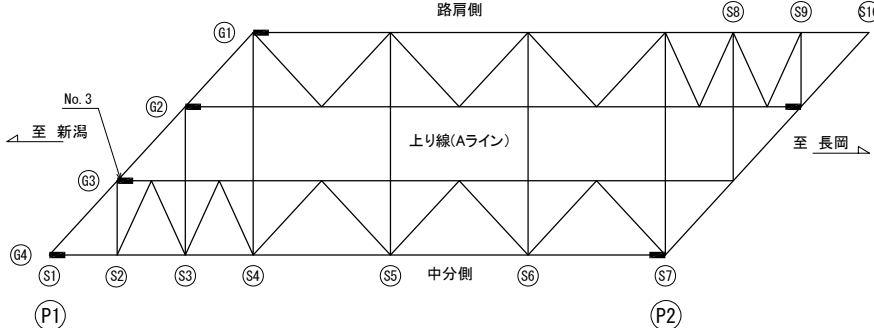


補修断面図 S=1:10



- 凡例
- エポキシ樹脂パテ
 - 1種ケレン
 - 4種ケレン
 - 支承補修工補修範囲

配置図



- 注記
- フランジ及び添接板コバ面の腐食が激しい場合は " グラインダーで平滑処理 " すること。
 - 実際の製作・施工寸法は、本図面を基に現場実測結果と照合した上で決定すること。
 - 支承補修工との重複箇所については塗装範囲を控除し、減厚箇所にエポキシ樹脂パテを塗布後、支承補修工の塗装区分を参考に塗装する。

北陸自動車道 R 6 長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	坂井田橋 上り線 P1-P2 断面整形工A（その2）		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	(株)ネクソコ・エンジニアリング新潟		
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

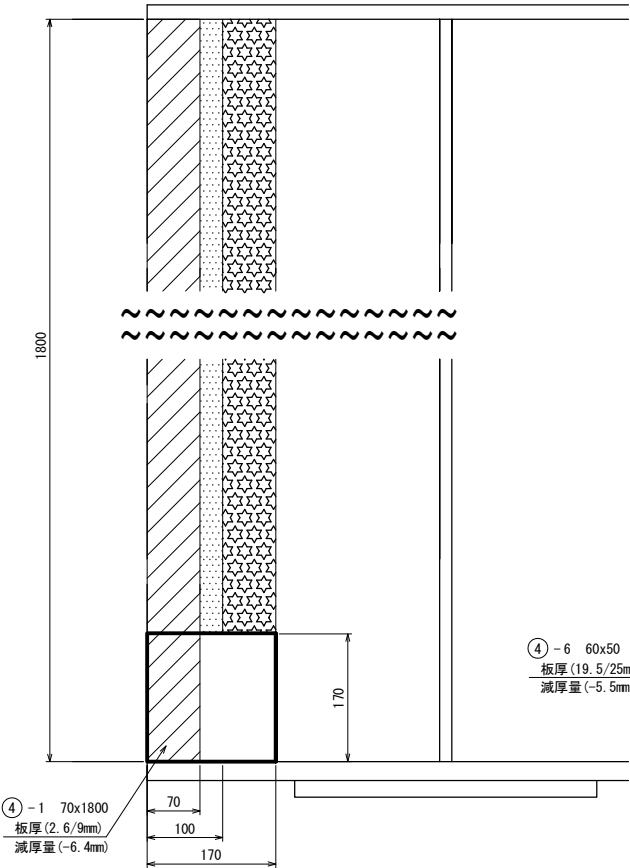
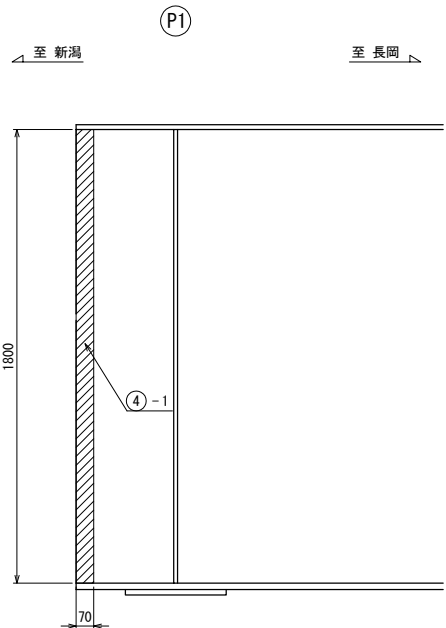
坂井田橋 上り線 P1-P2

断面整形工A（その3）

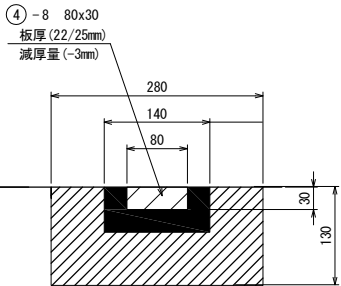
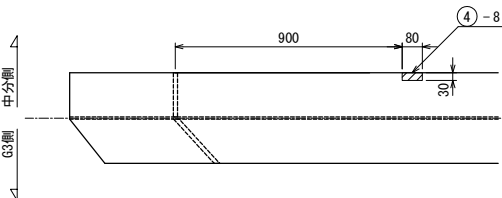
縮尺=1:30

〈P1-P2〉 S1-S2間 G4桁 損傷番号No. 4

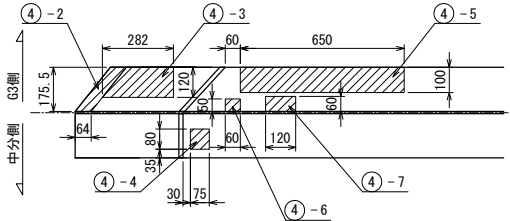
ウェブ（中分側）



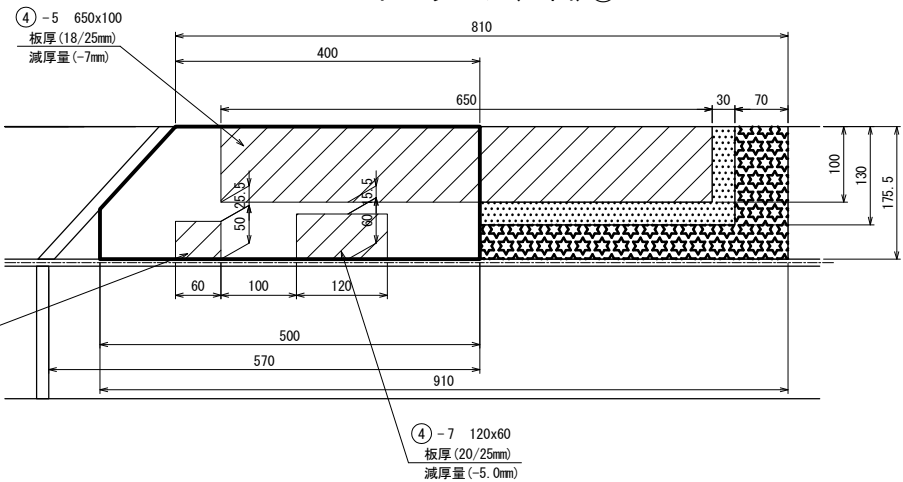
下フランジ(下面)



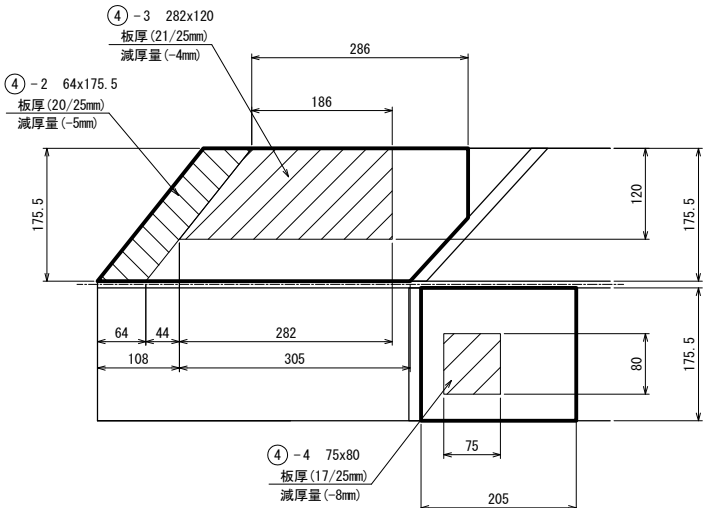
下フランジ(上面)



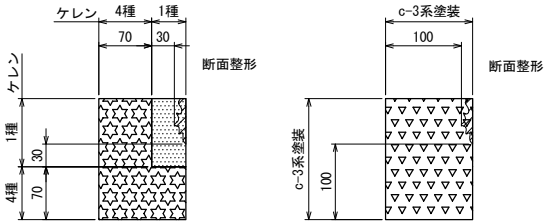
下フランジ(上面)②



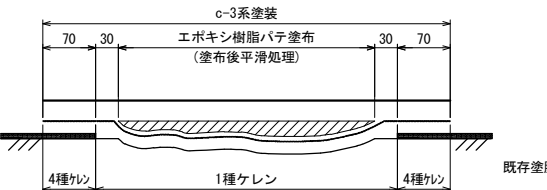
下フランジ(上面)①



断面整形部 S=1:10

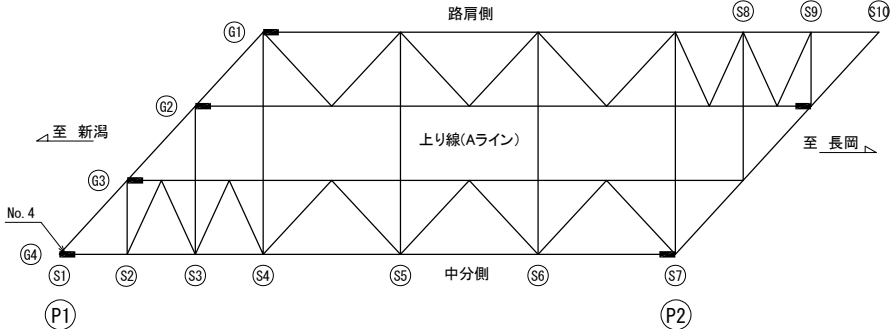


補修断面図 S=1:10



エポキシ樹脂パテ施工数量							
	幅(mm)	長さ(mm)	深さ(mm)	Net	面積(cm ²)	体積(cm ³)	位置
(4)-1	70	1800	6.4	1.00	1260.00	806.40	WEB
(4)-2	64	175.5	5.0	1.00	112.32	56.16	LFLG
(4)-3	282	120	4.0	0.83	280.87	112.35	LFLG
(4)-4	75	80	8.0	1.00	60.00	48.00	LFLG
(4)-5	650	100	7.0	1.00	650.00	455.00	LFLG
(4)-6	60	50	5.5	1.00	30.00	16.50	LFLG
(4)-7	120	60	5.0	1.00	72.00	36.00	LFLG
(4)-8	80	30	3.0	1.00	24.00	7.20	LFLG
計					2489.19	1537.61	

配置図



- 注記
- フランジ及び添接板コバ面の腐食が激しい場合は“グラインダーで平滑処理”すること。
 - 実際の製作・施工寸法は、本図面を基に現場実測結果と照合した上で決定すること。
 - 支保補修工との重複箇所については塗装範囲を控除し、減厚箇所にエポキシ樹脂パテを塗布後、支保補修工の塗装区分を参考に塗装する。

北陸自動車道 R6長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	坂井田橋 上り線 P1-P2 断面整形工A（その3）		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	(株)ネクスコ・エンジニアリング新潟		
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

坂井田橋 上り線 P1-P2

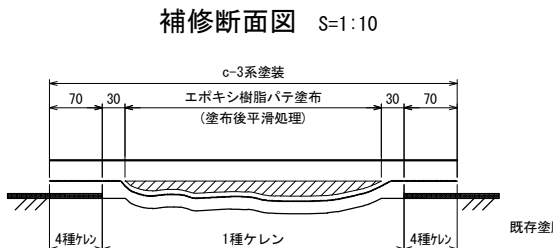
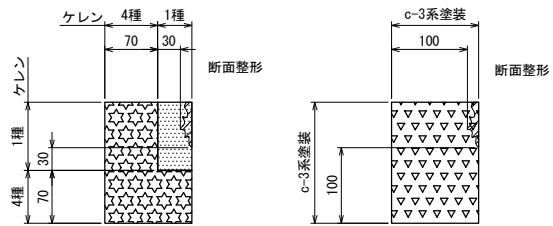
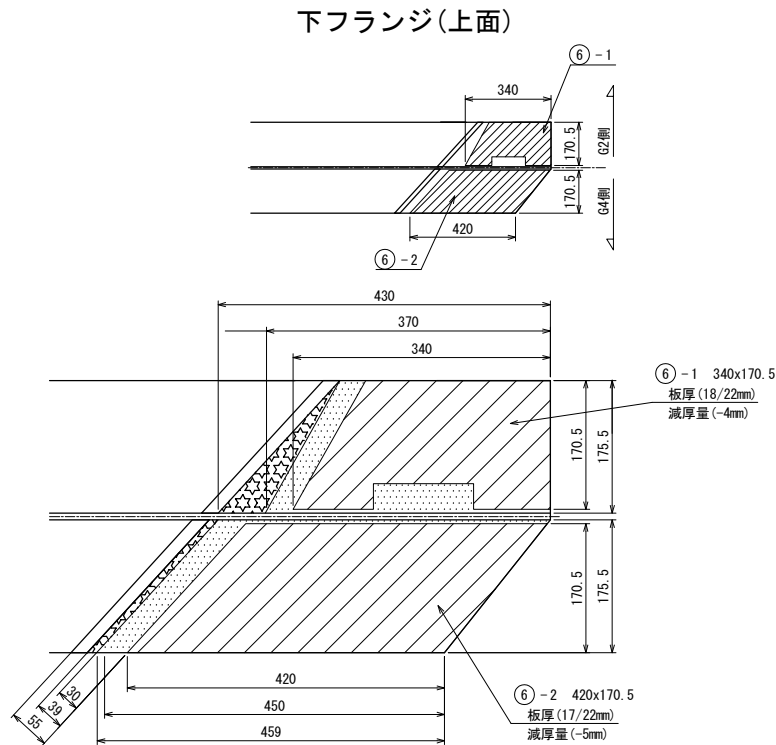
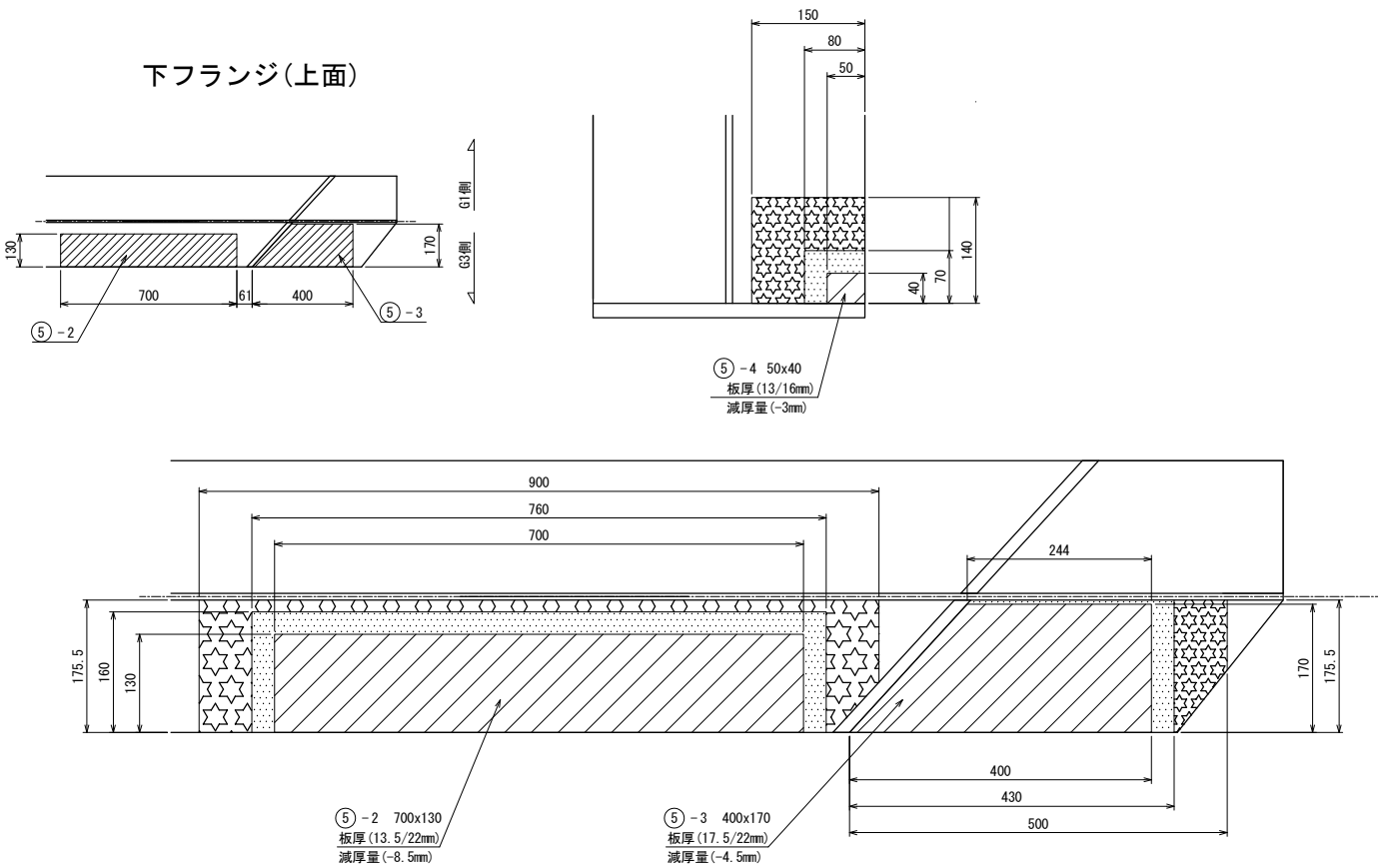
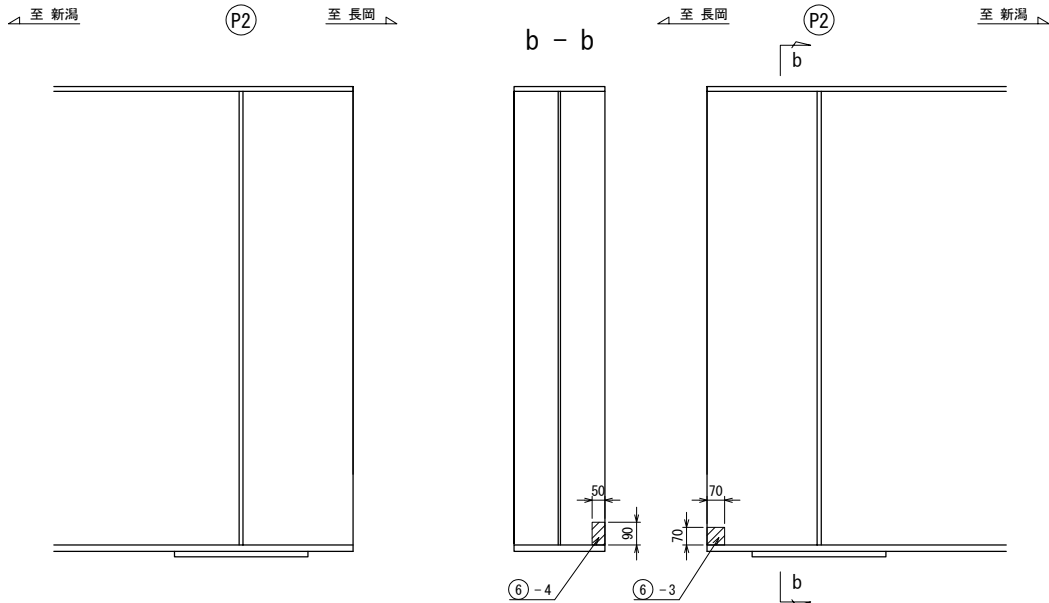
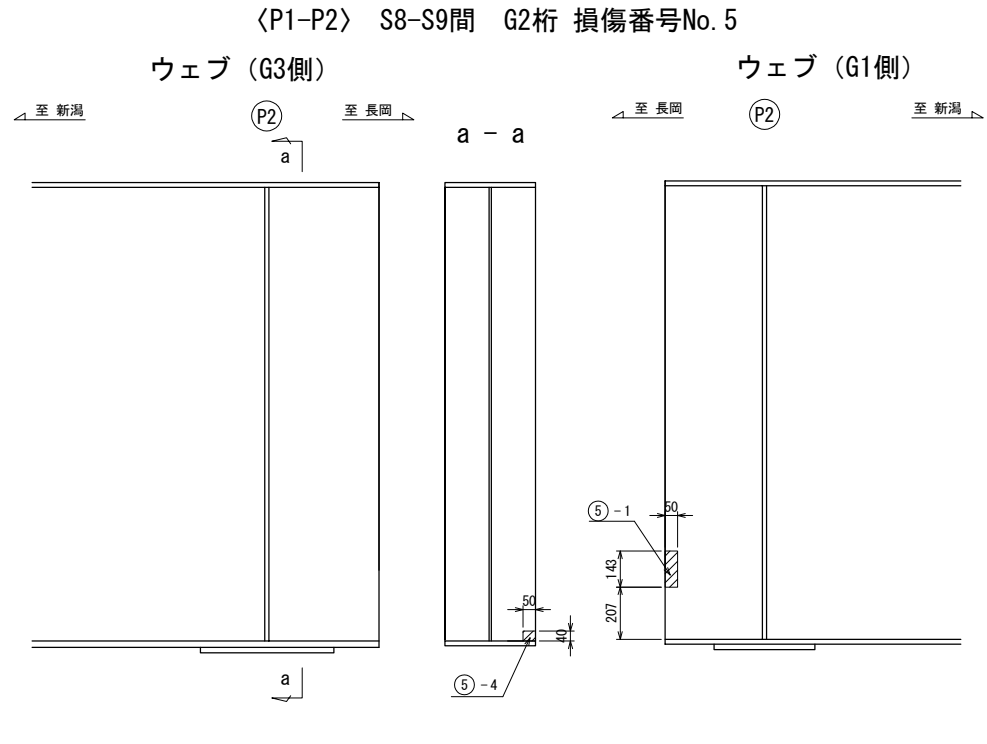
断面整形工A（その4）

縮尺=1:30

〈P1-P2〉 S8-S9間 G2桁 損傷番号No. 5

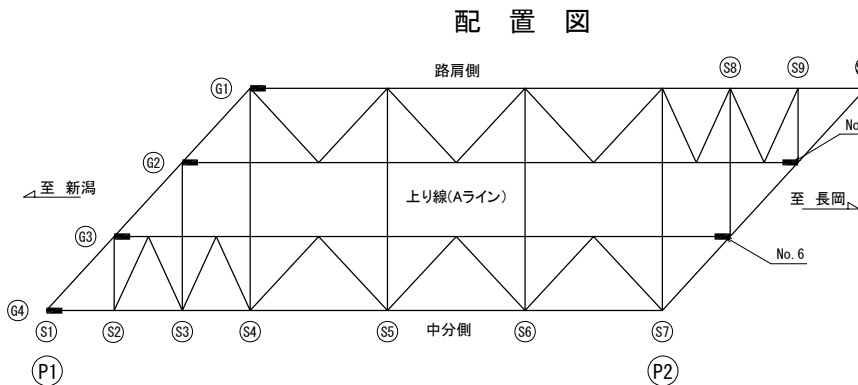
ウェブ（G4側）

ウェブ（G2側）



- 凡例
- エポキシ樹脂パテ
 - 1種ケレン
 - 4種ケレン

- 注記
- フランジ及び添接板コバ面の腐食が激しい場合は " グラインダーで平滑処理 " すること。
 - 実際の製作・施工法は、本図面に基に現場実測結果と照合した上で決定すること。



エポキシ樹脂パテ施工数量							
	幅 (mm)	長さ (mm)	深さ (mm)	Net	面積 (cm ²)	体積 (cm ³)	位置
⑤ - 1	50	143	5.5	1.00	71.50	39.33	WEB
⑤ - 2	700	130	8.5	1.00	910.00	773.50	LFLG
⑤ - 3	400	170	4.5	0.81	550.80	247.86	LFLG
⑤ - 4	50	40	3.0	1.00	20.00	6.00	VS1TF
計					1552.30	1066.69	

北陸自動車道 R 6 長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	坂井田橋 上り線 P1-P2 断面整形工A（その4）		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	(株)ネクスコ・エンジニアリング新潟		
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

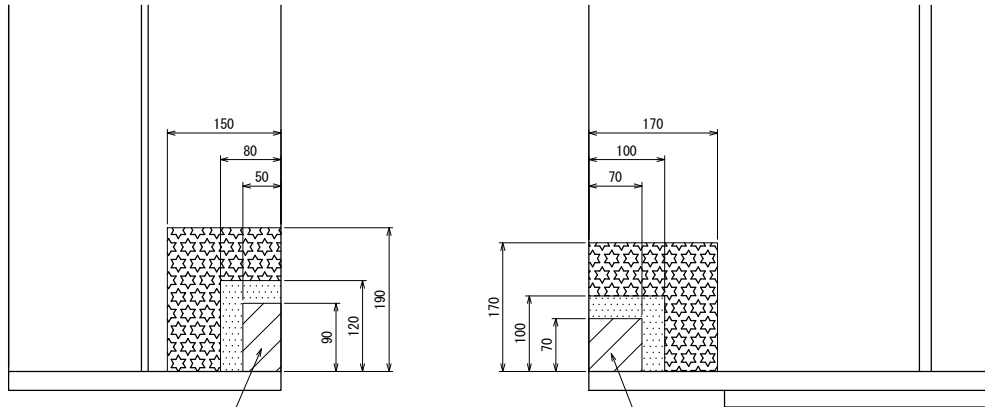
坂井田橋 上り線 P1-P2

縮尺=1:30

断面整形工A（その5）

〈P1-P2〉 S6-S7間 G3桁 損傷番号No. 6（その2）

〈P1-P2〉 S6-S7間 G4桁 損傷番号No. 7
ウェブ（中分側）



⑥-4 50x90
板厚(9/16mm)
減厚量(-7mm)

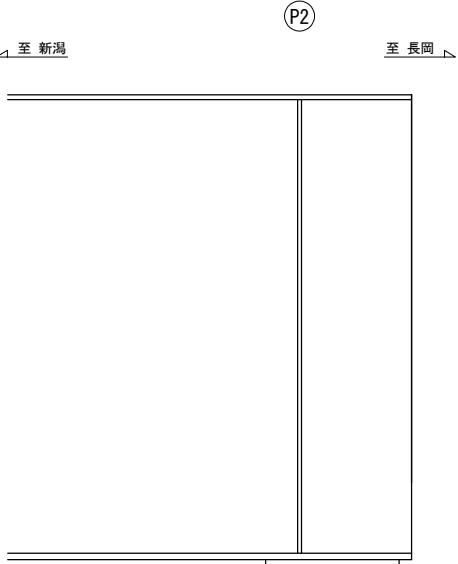
⑥-3 70x70
板厚(3/9mm)
減厚量(-6mm)

エポキシ樹脂パテ施工数量

	幅(mm)	長さ(mm)	深さ(mm)	Net	面積(cm2)	体積(cm3)	位置
⑥-1	340	170.5	4.0	0.78	452.17	180.87	LFLG
⑥-2	420	170.5	5.0	1.00	716.10	358.05	LFLG
⑥-3	70	70	6.0	1.00	49.00	29.40	WEB
⑥-4	50	90	7.0	1.00	45.00	31.50	VS1TF
計					1262.27	599.82	

エポキシ樹脂パテ施工数量 総計

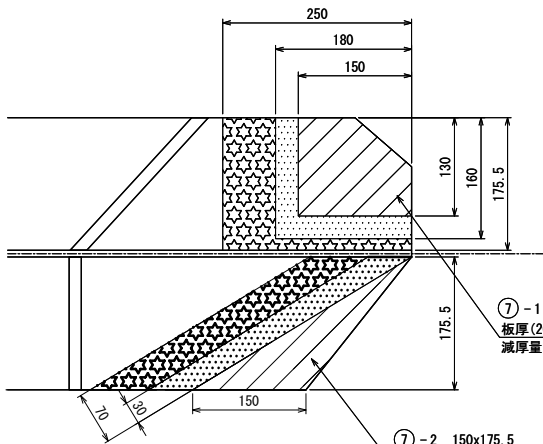
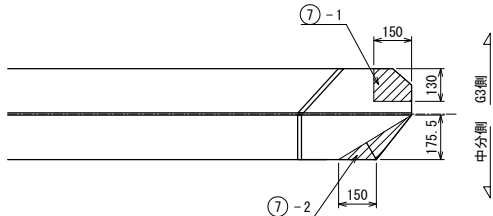
	面積(cm2)	体積(cm3)
①	493.00	443.70
②	282.67	169.60
③	301.50	96.42
④	2489.19	1537.61
⑤	1552.30	1066.69
⑥	1262.27	599.82
⑦	303.23	151.62
総計		4065.46
		4.065(L)



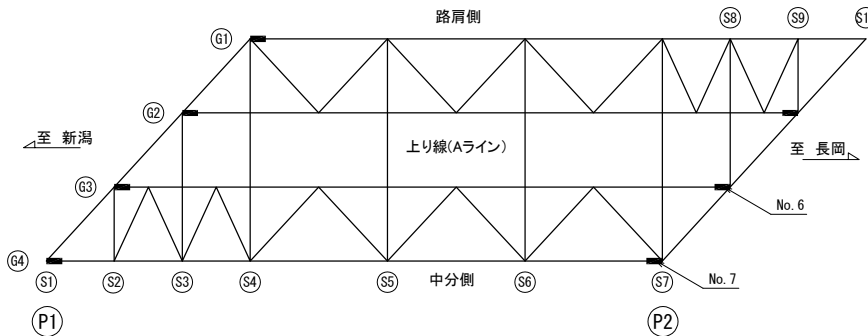
エポキシ樹脂パテ施工数量

	幅(mm)	長さ(mm)	深さ(mm)	Net	面積(cm2)	体積(cm3)	位置
⑦-1	150	130	5.0	0.88	171.60	85.80	LFLG
⑦-2	150	175.5	5.0	0.50	131.63	65.82	LFLG
計					303.23	151.62	

下フランジ(上面)



配置図



北陸自動車道 R 6 長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	坂井田橋 上り線 P1-P2 当て板補修工 A (その 1)		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	(株)ネクスコ・エンジニアリング新潟		
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

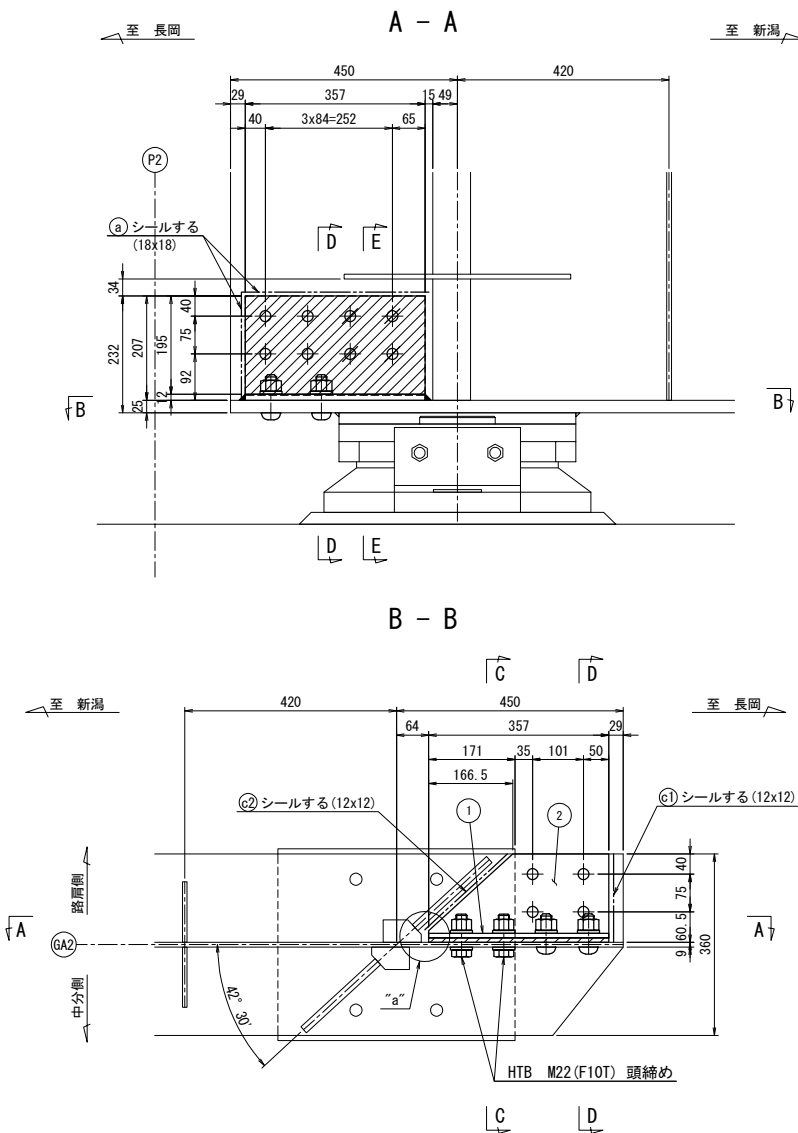
北陸自動車道 R6 長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	坂井田橋 上り線 P1-P2 当て板補修工A (その2)		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	(株) ネクスコ・エンジニアリング新潟		
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

坂井田橋 上り線 P1-P2

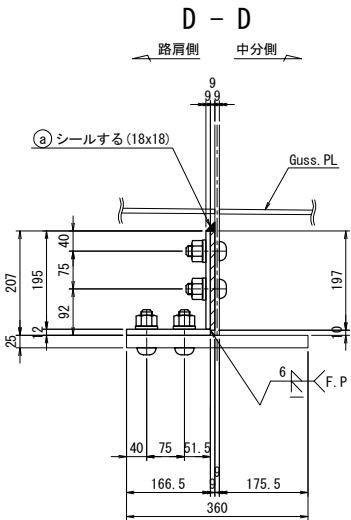
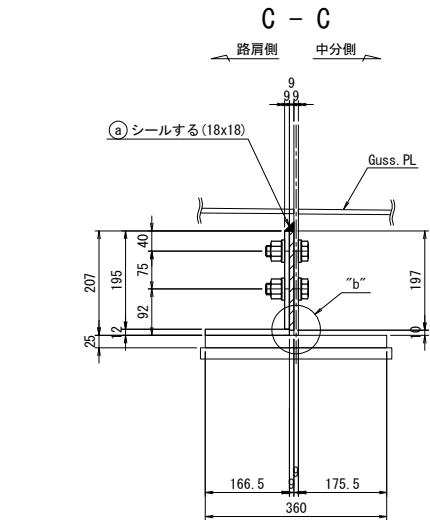
当て板補修工 A（その3）

縮尺=1:15

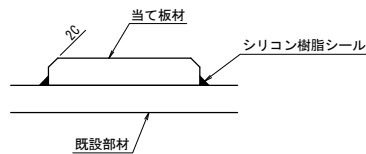
P2上 GA2桁 損傷番号 No. 5



※ ソールプレートのサイズ及びセットボルトの位置は
竣工図がないため、想定値である。



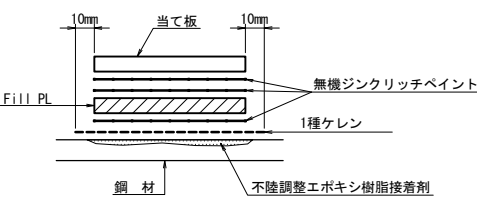
新設部材コバ処理詳細



当て板補修工 A 施工数量 (その3)

	質量 (t)
銅板	0.014
高力ボルト (TCB)	0.004
高力ボルト (HTB)	0.002
計	0.020

補修断面図

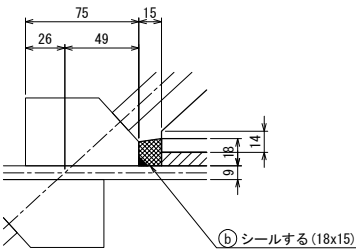


当て板補修工 A 施工数量 総計

	質量 (t)
(その1)	0.036
(その2)	0.024
(その3)	0.020
孔引き質量	-0.003
総計	0.077

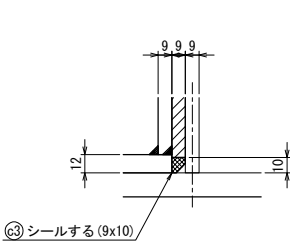
“a”部詳細

S = 1 : 5

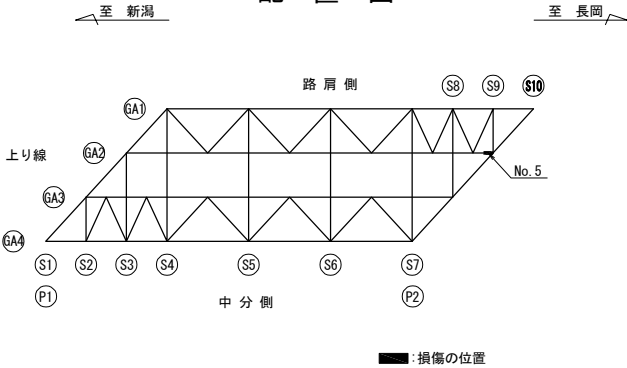


“b”部詳細

S = 1 : 5



配置図



- 注記
- 特記なき材質は、全てSM400Aとする。
 - ※印は、トルシア形高力ボルト M22 (S10T) を示す。
※印は、高力ボルト H.T.B M22 (F10T) 頭締めを示す。
※印は、普通ボルト M24 (SS400) を示す。
 - トルシア形高力ボルトの削孔径は既設 24.5φ、当て板材は
拡大孔の26.5φとする。
 - 外気に面する高力ボルトの頭及びナット部分は
それぞれボルトキャップを取り付けること。
 - ソールプレートは想定値である。
 - 実際の製作・施工寸法は、本図面を基に現場実測結果と
照合した上で決定すること。

北陸自動車道 R 6 長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	坂井田橋 上り線 P1-P2 当て板補修工 A（その3）		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	(株)ネクスコ・エンジニアリング新潟		
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

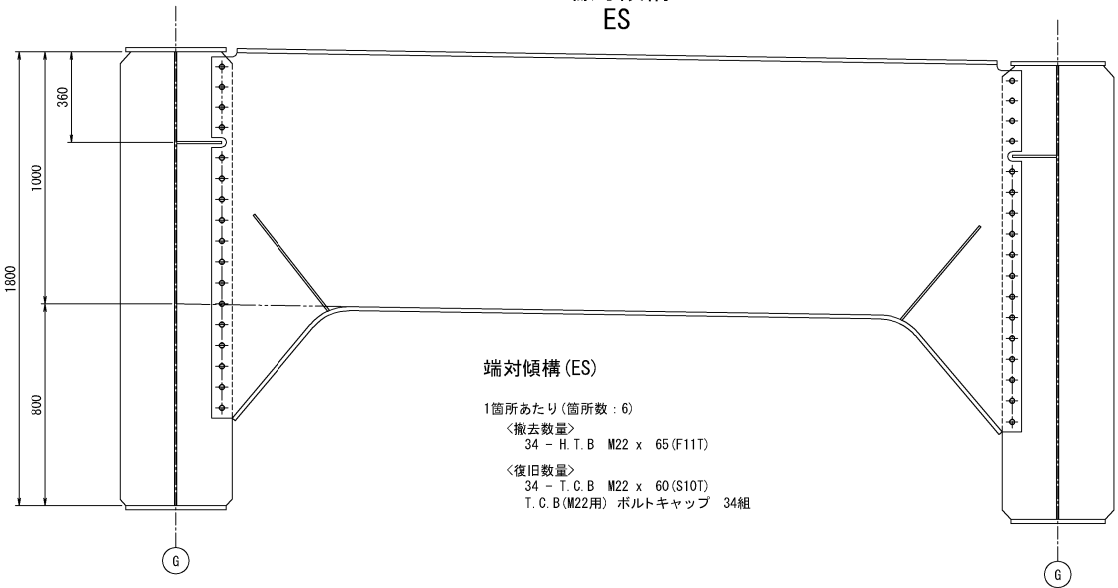
坂井田橋 上り線 P1-P2

高力ボルト取替工A

縮尺=1:30

対傾構継手部

端対傾構
ES



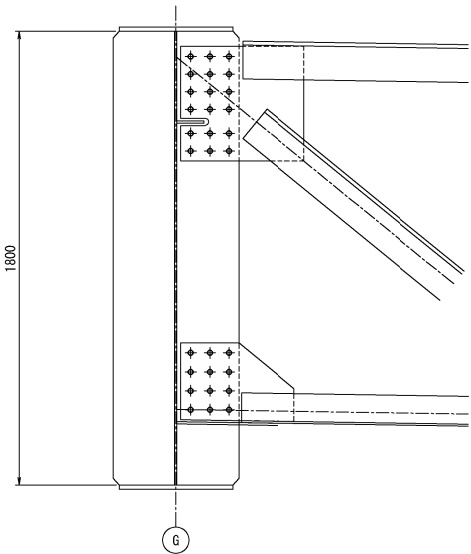
端対傾構 (ES)

1箇所あたり (箇所数 : 6)
<撤去数量>
34 - H.T.B M22 x 65 (F11T)
<復旧数量>
34 - T.C.B M22 x 60 (S10T)
T.C.B (M22用) ボルトキャップ 34組

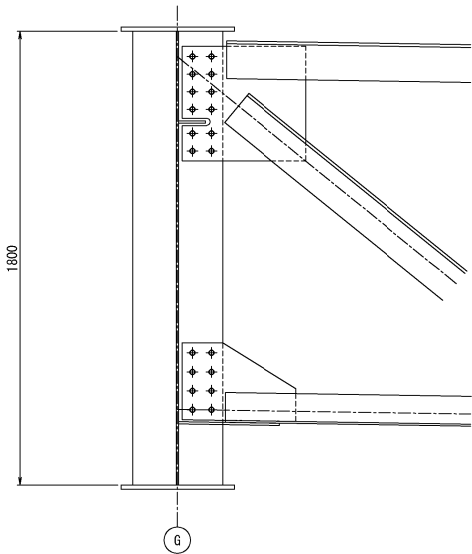
中間対傾構

「高力ボルトは、M20 (F10T) を使用しており補修対象外」

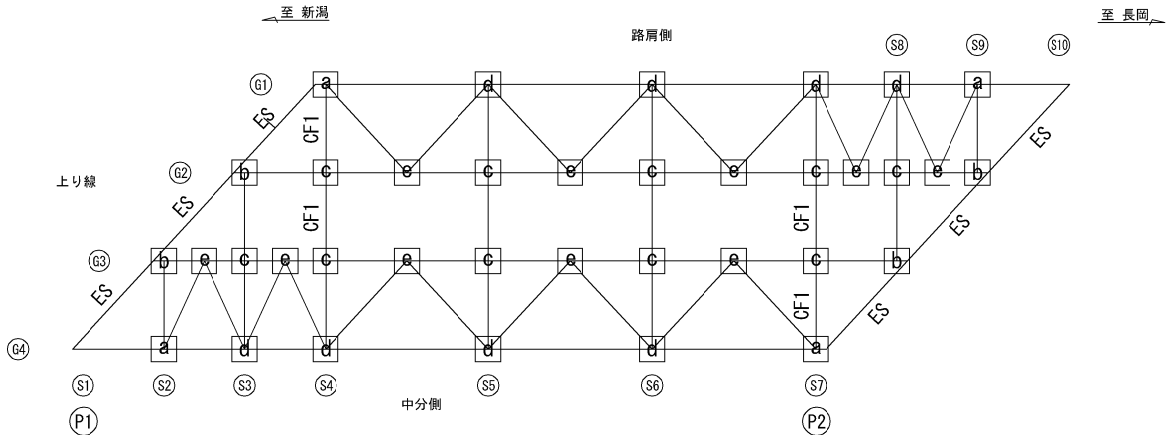
CF1



CF2 (配置図のCF1以外)

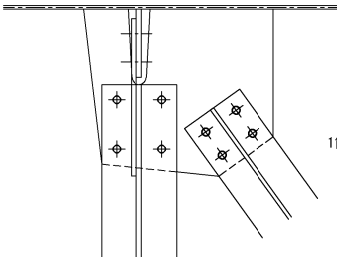


配置図



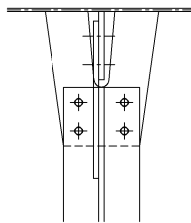
横構継手部

横構ガセット (a)



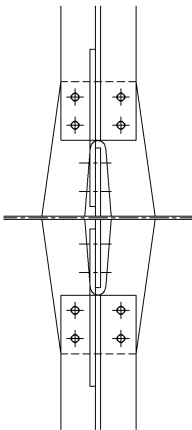
1箇所あたり (箇所数 : 4)
<撤去数量>
8 - H.T.B M22 x 60 (F11T)
<復旧数量>
8 - T.C.B M22 x 55 (S10T)
T.C.B (M22用) ボルトキャップ 8組

横構ガセット (b)



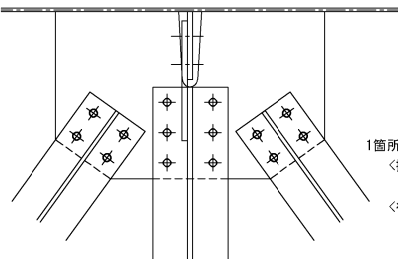
1箇所あたり (箇所数 : 4)
<撤去数量>
4 - H.T.B M22 x 60 (F11T)
<復旧数量>
4 - T.C.B M22 x 55 (S10T)
T.C.B (M22用) ボルトキャップ 4組

横構ガセット (c)



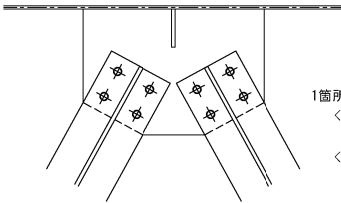
1箇所あたり (箇所数 : 10)
<撤去数量>
8 - H.T.B M22 x 60 (F11T)
<復旧数量>
8 - T.C.B M22 x 55 (S10T)
T.C.B (M22用) ボルトキャップ 8組

横構ガセット (d)



1箇所あたり (箇所数 : 8)
<撤去数量>
14 - H.T.B M22 x 60 (F11T)
<復旧数量>
14 - T.C.B M22 x 55 (S10T)
T.C.B (M22用) ボルトキャップ 14組

横構ガセット (e)



1箇所あたり (箇所数 : 10)
<撤去数量>
8 - H.T.B M22 x 60 (F11T)
<復旧数量>
8 - T.C.B M22 x 55 (S10T)
T.C.B (M22用) ボルトキャップ 8組

注記

- 主桁は、リベット接合であり補修対象外となる。
- 中間対傾構は、高力ボルトM20 (F10T) 接合である
と判断し補修対象外としたが、以下の補修工事に
おいて材質及びボルト後を再確認すること。
- 上記1.2.より本工事の補修部材は、端対傾構 (Es)
及び、横構のみである。
- 塗装仕様は“塗り区分図”を参照のこと。

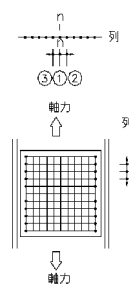
高力ボルト取替え方法

①高力ボルトの麻金が当たる部分は、塗装を除去し素地調整 (1 種ケレン) を行い、十分清掃した後に、新しいボルトを取り付ける。

②ボルトの取替は、1 本ずつ行うことを原則とする。

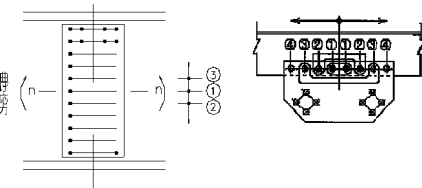
取替順序は下図のように、軸力作用部材あるいはフランジ部においては、添接板の片側の中央ボルト列から両側の列へ交互に取替を実施する。梁部材ウェブにおいては、中央から上下フランジ方向に交互に取替を実施する。

列内のボルトの順序



ボルト本数の少ない継手の取替え
(横構のガセットなど)

ボルトは中央のボルトから両側のボ
ルトへ交互に取替える。



③複数の添接板のボルトを取替える場合には、添接板 1 組ごとに取替作業を行う。

④多主桁の橋梁で橋軸方向に同一主桁の複数の継手について高力ボルトの取替えを実施する場合には、同時取替えは行わず継手ごとに取替えを実施する。

⑤多主桁の橋梁で橋軸直角方向同一断面の複数の主桁継手を取替える場合には、同時取替えは行わず継手ごとに取替えを実施する。

⑥取替え高力ボルトは、締付完了後、所定の軸力が導入されているか全数検査する。

高力ボルト取替工 A 施工数量	
図面の種類	数量 (本)
対傾構	204
横構	320
計	524

北陸自動車道 R 6 長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	坂井田橋 上り線 P1-P2 高力ボルト取替工 A		
	縮尺	図示	図面番号
設計会社名	(株) ネクスコ・エンジニアリング新潟		
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

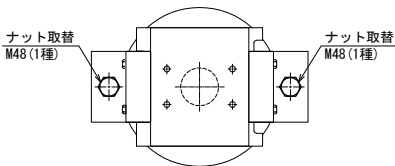
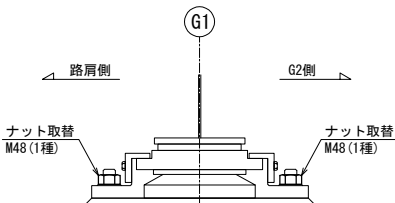
図面の種類	坂井田橋 上り線 P1-P2 塗り 区分図		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	(株)ネクスコ・エンジニアリング新潟		
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

坂井田橋 上り線 P1-P2

支承補修工

縮尺=1:30

支承補修工 A2
P1上 G1桁 損傷番号No. 1-1

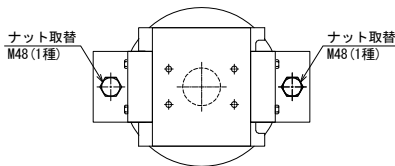
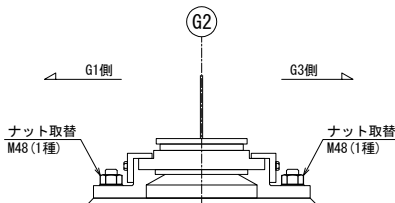


＜撤去数量＞
2 - Nut M48 (1種) (SS41)

＜復旧数量＞
2 - Nut M48 (1種) (SS400)

＜塗替え塗装面積＞
0.54m2/支承1台

支承補修工 A2
P1上 G2桁 損傷番号No. 1-2

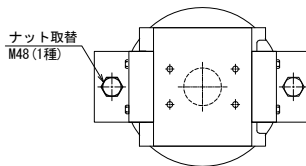
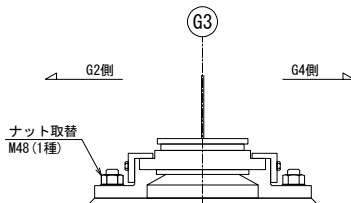


＜撤去数量＞
2 - Nut M48 (1種) (SS41)

＜復旧数量＞
2 - Nut M48 (1種) (SS400)

＜塗替え塗装面積＞
0.54m2/支承1台

支承補修工 A1
P1上 G3桁 損傷番号No. 1-3

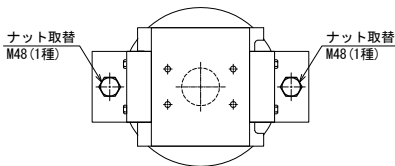
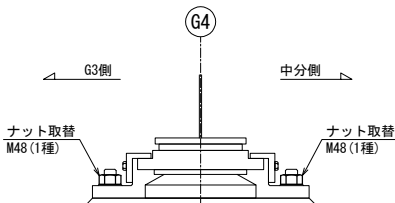


＜撤去数量＞
1 - Nut M48 (1種) (SS41)

＜復旧数量＞
1 - Nut M48 (1種) (SS400)

＜塗替え塗装面積＞
0.54m2/支承1台

支承補修工 A2
P1上 G4桁 損傷番号No. 1-4

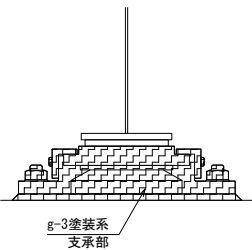
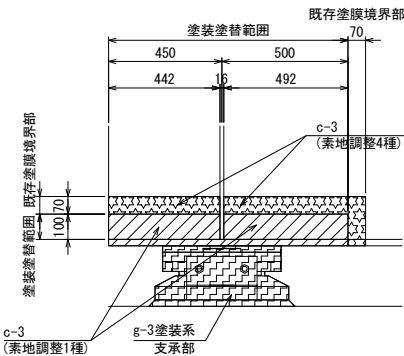


＜撤去数量＞
2 - Nut M48 (1種) (SS41)

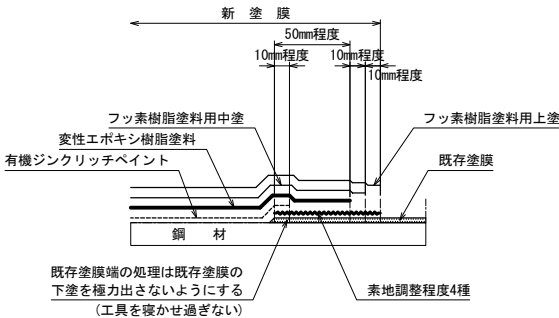
＜復旧数量＞
2 - Nut M48 (1種) (SS400)

＜塗替え塗装面積＞
0.54m2/支承1台

支承部周辺の塗装区分

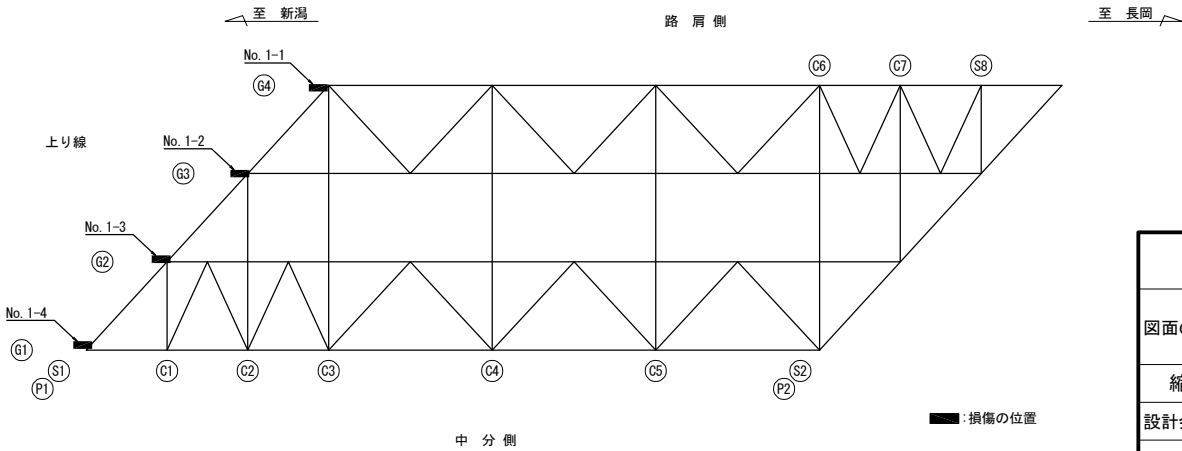


既存塗膜との境界部の処理



工程	(箇所)
支承補修工 A1	1
支承補修工 A2	3

配置図



注記
1. 実際の製作・施工寸法は、本図面を基に現場実測結果と照合した上で決定すること。

北陸自動車道 R 6 長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	坂井田橋 上り線 P1 支承補修工		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	(株)ネクスコ・エンジニアリング新潟		
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

[illegible]

図 1

上り線

下り線

路肩側

中分側

No. 1

No. 2

No. 3

No. 4

No. 5

No. 2-1

No. 2-2

No. 2-3

No. 2-4

○ 腐食補修

☆ 高力ボルト補修(対傾横)

■ 高力ボルト補修(横構)

鋼構造

鋼構

ボルト

支保材

[illegible][illegible]

対傾構	6箇所
横 構	36箇所
合計箇所数	42箇所

No.	部位	当て板補修工 A	断面整形 A
1	主桁端部	○	○
2	主桁端部		○
3	主桁端部		○
4	主桁端部		○
5	主桁端部	○	○
合計箇所数		2箇所	5箇所

	脚番号	No.	支 補 修 工 A				備 考
			本体	アソギ板	サイドブロック用板	ナット取替え	
下 り 線	P2	2-1	○	○	○	2 個	
		2-2	○	○	○	1 個	
		2-3	○	○	○	1 個	
		2-4	○	○	○	2 個	
	合計箇所数		4箇所	4箇所	4箇所	6 個	

鋼構造物の製作	製作材料費(鋼板) A1	0.098 t
鋼構造物の防錆	鋼構造物の塗装J	1.9 m ²
鋼構造物の輸送	鋼構の輸送	0.093 t
鋼構造物補修工	断面整形工A	1.406 t
ボルト取替工	当て板補修工A	0.123 t
	高力ボルト取替工A	524.0 本
支承補修工	支承補修工A1	2.0 箇所
	支承補修工A2	2.0 箇所

注記

1. 高力ボルトの座金が当たった部分は、塗装を除去し
糸鋸調整(1種ケレン)を行い、十分清掃した後に、
新しいボルトを取り付ける。
2. ボルトの取替は、1本ずつ行うことを原則とする。
3. 複数の添接板のボルトを取替える場合には、
添接板1組ごとに取り替作業を行う。
4. 多主桁の橋梁で橋軸方向に同一主桁の複数の主桁に
ついて高力ボルトの取替えを実施する場合には、
同時取替えは行わず主桁ごとに取り替えを実施する。
5. 多主桁の橋梁で橋軸垂直方向に同一面の複数の主桁
主桁を取替える場合には、同時取替えは行わず
主桁ごとに取替えを実施する。

北陸自動車道
R6長岡管内橋梁補修工事

図面の種類	坂井田橋 下り線 補修一般図		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	(株)ネクスコ・エンジニアリング新		
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

坂井田橋 下り線
補修数量総括表

・鋼構造物補修工

項 目			単位	数量	備 考	
鋼構造物の製作	製作材料費(鋼板)		A1	t	0.098	SM490Y,SM400,SS400
	コバ処理	面取り長	2C	m	8.1	
鋼構造物の輸送	輸送重量			t	0.093	
鋼構造物の防錆	塗装	接触面	J	m2	1.90	
断面整形工A	ケレン		1種	m2	0.41	
			4種	m2	0.38	
	エポキシ樹脂パテ		体積	L	1.406	
	現場塗装		c-3	m2	0.79	
当て板補修工A	架設鋼材	鋼板	質量	t	0.093	
		高力ボルト(TCB) (M22)	本数	本	42.0	S10T
			質量	t	0.024	
		高力ボルト(HTB) (M22)	本数	本	8.0	F10T
			質量	t	0.004	
		普通ボルト (M24)	本数	本	5.0	SS400
	質量		t	0.002		
	撤去鋼材	普通ボルト (M24)	本数	本	5.0	SS41
			質量	t	0.002	
	ケレン		1種	m2	0.73	
			4種	m2	1.16	
	現場ボルト孔明け		高力ボルト	箇所	50.0	
	シリコン樹脂シール		体積	L	1.100	標準使用量
	エポキシ樹脂接着材		体積	L	1.500	標準使用量
	ボルトキャップ	TCB(M22)		組	42.0	
		HTB(M22)		組	8.0	
	現場塗装		g-3	m2	2.17	

・ボルト取替工

項 目				単位	数量	備 考
高力ボルト取替工A	架設鋼材	高力ボルト(TCB) (M22)	本数	本	524	S10T
			質量	t	0.254	
	撤去鋼材	高力ボルト(HTB) (M22)	本数	本	524	F11T
			質量	t	0.254	
	ケレン		1種	m2	12.34	
			4種	m2	5.28	
	ボルトキャップ°	TCB(M22)		組	524	
	現場塗装		g-3	m2	16.46	

・支承補修工

項 目				単位	数量	備 考
支 承 補 修 工 A1	架 設 鋼 材	ナット (M48)	個 数	個	2	SS400
			質 量	t	0.002	
	撤 去 鋼 材	ナット (M48)	個 数	個	2	SS41
			質 量	t	0.002	
	ケレン		1種	m2	2.93	
			4種	m2	0.52	
	現場塗装		c-3	m2	2.16	
			g-3	m2	1.29	
支 承 補 修 工 A2	架 設 鋼 材	ナット (M48)	個 数	個	4	SS400
			質 量	t	0.004	
	撤 去 鋼 材	ナット (M48)	個 数	個	4	SS41
			質 量	t	0.002	
	ケレン		1種	m2	2.95	
			4種	m2	0.52	
	現場塗装		c-3	m2	2.17	
			g-3	m2	1.29	

注記
1. 塗膜除去工は各工種の1種ケレン総面積とする。

北陸自動車道 R6長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	坂井田橋 下り線 補修数量総括表		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	(株)ネクスコ・エンジニアリング新潟		
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

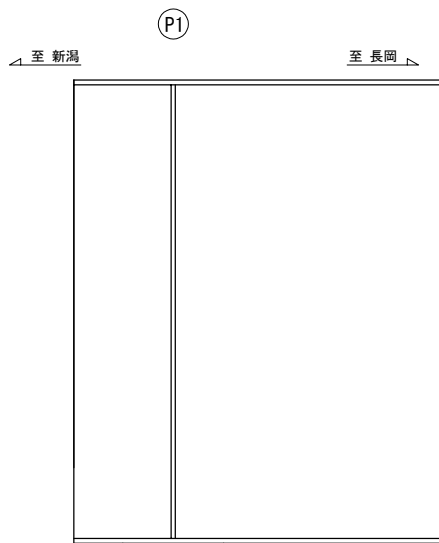
坂井田橋 下り線 P1-P2

断面整形工A（その1）

縮尺=1:30

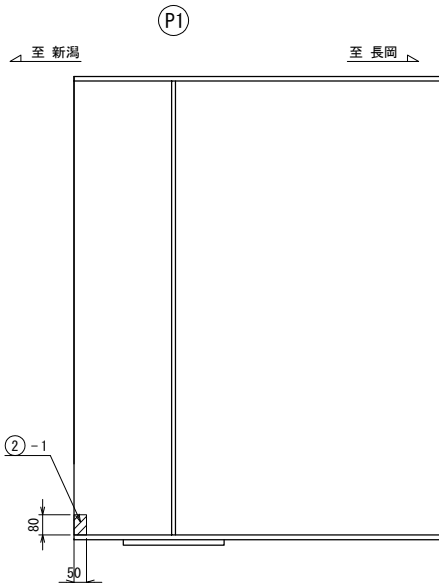
〈P1-P2〉 S4-S5間 G1桁 損傷番号No. 1

ウェブ（G2側）

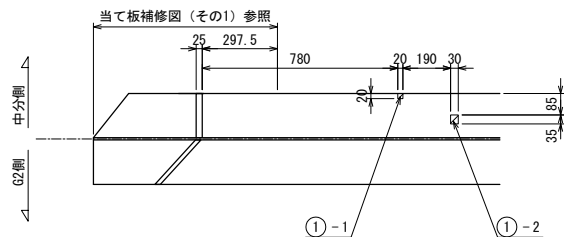


〈P1-P2〉 S3-S4間 G2桁 損傷番号No. 2

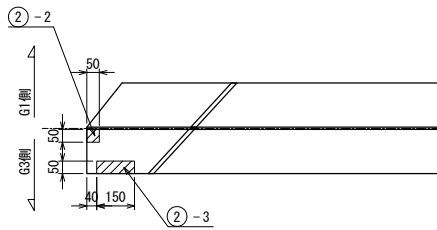
ウェブ（G3側）



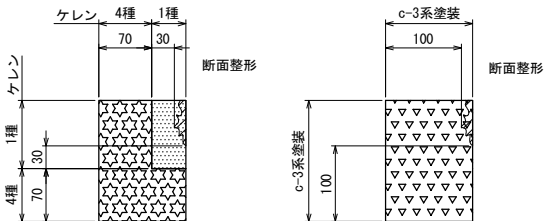
下フランジ(上面)



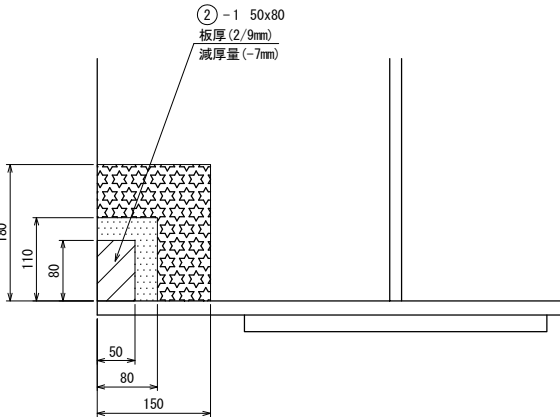
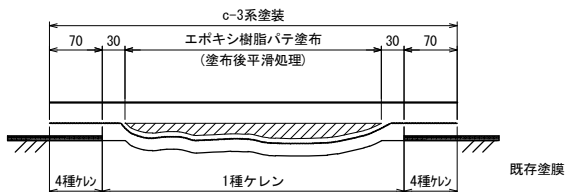
下フランジ(上面)



断面整形部 S=1:10



補修断面図 S=1:10



エポキシ樹脂パテ施工数量

	幅(mm)	長さ(mm)	深さ(mm)	Net	面積(cm2)	体積(cm3)	位置
②-1	50	80	7.0	1.00	40.00	28.00	WEB
②-2	50	50	3.0	1.00	25.00	7.50	LFLG
②-3	150	50	6.0	1.00	75.00	45.00	LFLG
計					140.00	80.50	

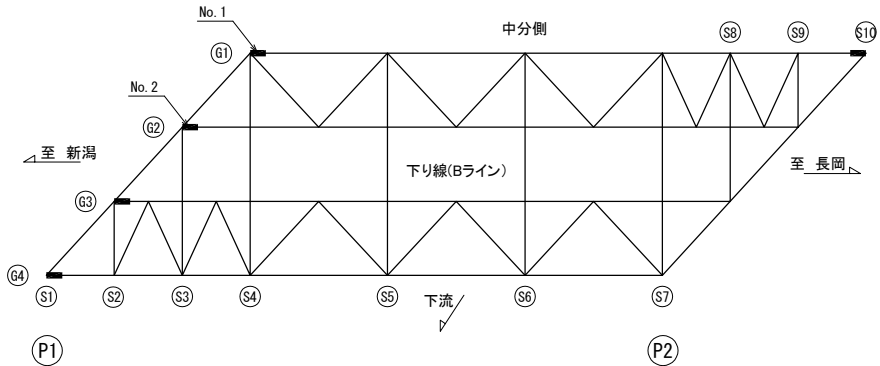
凡例

- エポキシ樹脂パテ
- 1種ケレン
- 4種ケレン

注記

- フランジ及び添接板コバ面の腐食が激しい場合は“グラインダーで平滑処理”すること。
- 実際の製作・施工法は、本図面を基に現場実測結果と照合した上で決定すること。

配置図



エポキシ樹脂パテ施工数量

	幅(mm)	長さ(mm)	深さ(mm)	Net	面積(cm2)	体積(cm3)	位置
①-1	20	20	3.0	1.00	4.00	1.20	LFLG
①-2	30	35	4.0	1.00	10.50	4.20	LFLG
計					14.50	5.40	

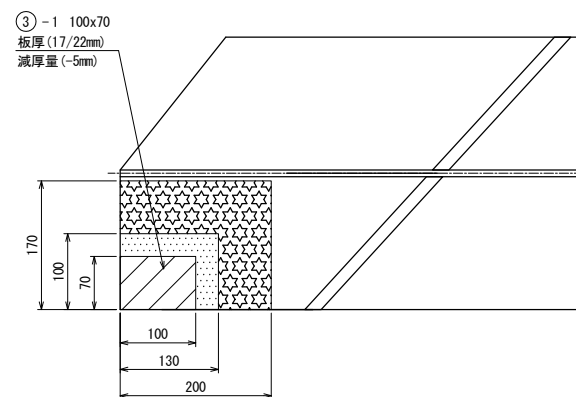
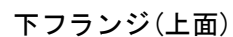
北陸自動車道 R6長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	坂井田橋 下り線 P1-P2 断面整形工A（その1）		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	(株)ネクスコ・エンジニアリング新潟		
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

断面整形工 A (その 2)

縮尺=1:30

ウェブ (G4側)

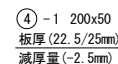
至新潟 至長岡



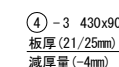
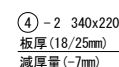
	幅(mm)	長さ(mm)	深さ(mm)	Net	面積(cm2)	体積(cm3)	位置
③-1	100	70	5.0	1.00	70.00	35.00	LFLG
計					70.00	35.00	

ウェブ（路肩側）

至新潟 至長岡



	幅(mm)	長さ(mm)	深さ(mm)	Net	面積(cm2)	体積(cm3)	位置
④-1	200	50	2.5	1.00	100.00	25.00	LFLG
④-2	340	220	7.0	1.00	748.00	523.60	LFLG
④-3	430	90	4.0	1.00	387.00	154.80	LFLG
				計	1235.00	703.40	



断面整形部 S=1:10


下フランジ(下面




補修断面図 S=1:10



凡例

 : エポキシ樹脂パテ

 : 1種ケレン

 : 4種ケレン

配置图

中分側

64

P1

(P2)

注記

1. フランジ及び添接板コバ面の腐食が激しい場合は
"グラインダーで平滑処理"すること。
2. 実際の製作・施工寸法は、本図面を基に現場実測結果と
照合した上で決定すること。

北陸自動車道 R 6 長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	坂井田橋 下り線 P1-P2 断面整形工 A (その 2)		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	(株)ネクスコ・エンジニアリング新潟		
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

坂井田橋 下り線 P1-P2

縮尺=1:30

断面整形工A（その3）

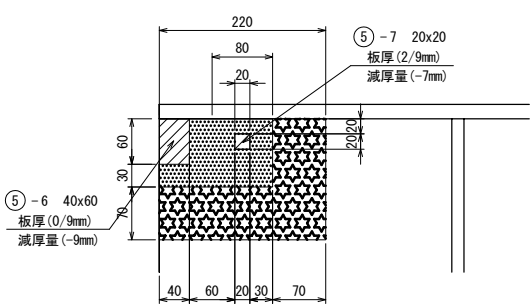
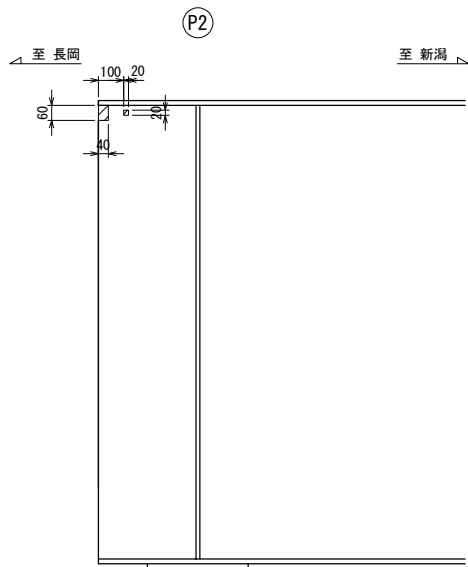
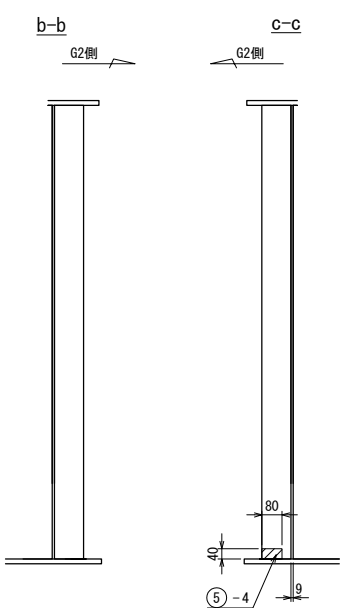
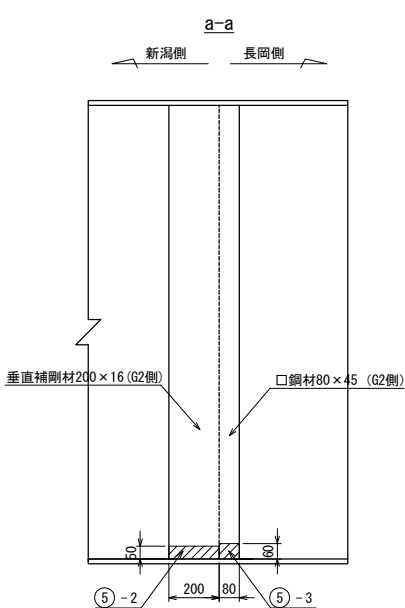
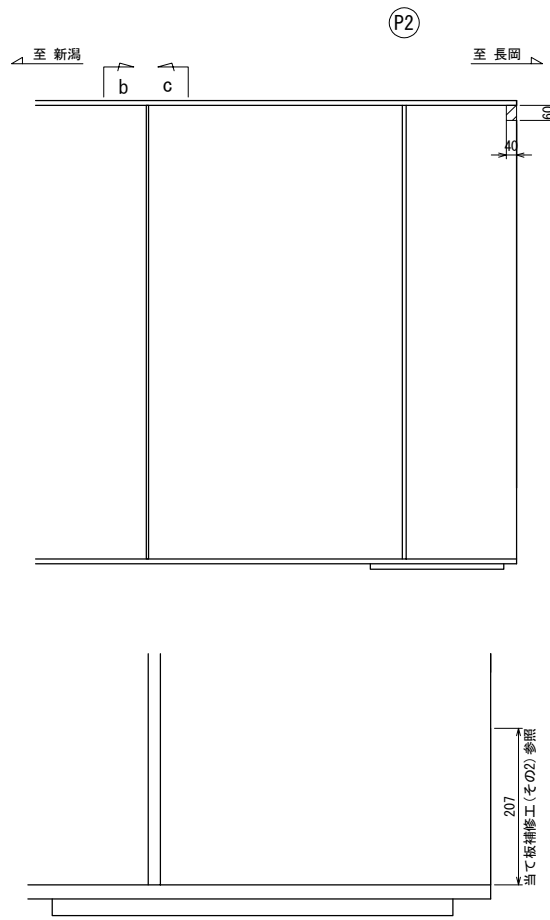
〈P1-P2〉 S9-S10間 G1桁 損傷番号No.5

ウェブ（G2側）

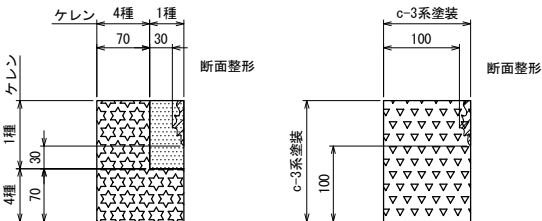
支点上垂直補剛材（S10）

中間垂直補剛材

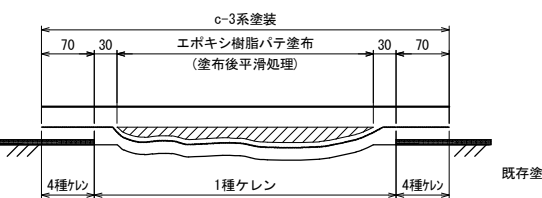
ウェブ（中分側）



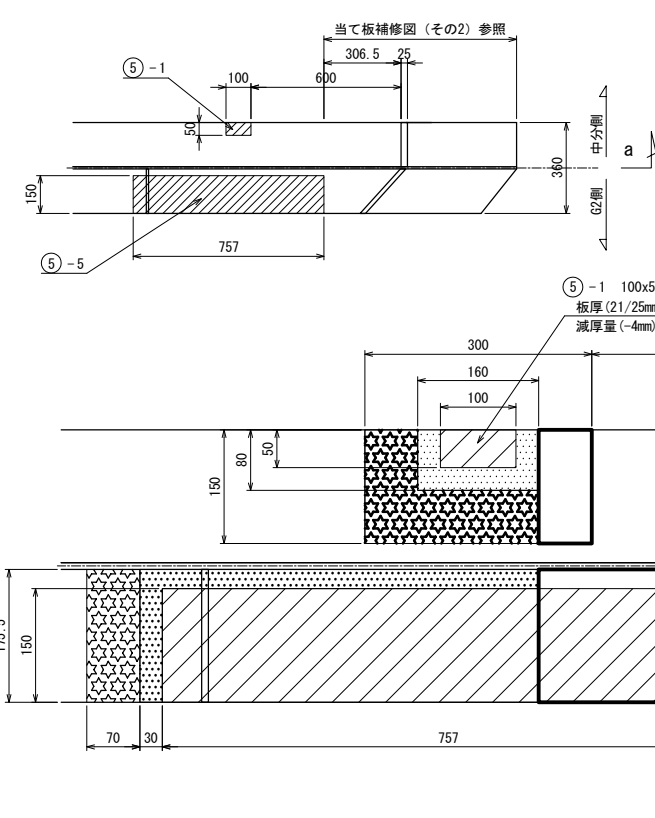
断面整形部 S=1:10



補修断面図 S=1:10



下フランジ（上面）



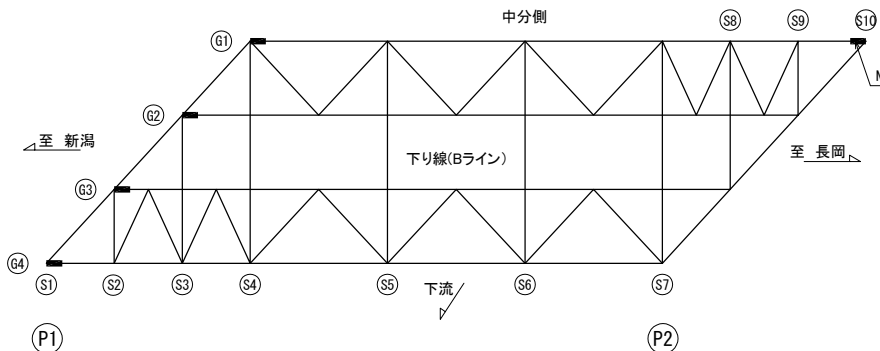
エポキシ樹脂パテ施工数量

	幅 (mm)	長さ (mm)	深さ (mm)	Net	面積 (cm2)	体積 (cm3)	位置
⑤-1	100	50	4.0	1.00	50.00	20.00	LFLG
⑤-2	200	50	4.0	1.00	100.00	40.00	VSTIF
⑤-3	80	60	5.0	1.00	48.00	24.00	VSTIF
⑤-4	80	40	6.0	1.00	32.00	19.20	VSTIF
⑤-5	757	150	4.0	1.00	1135.50	454.20	LFLG
⑤-6	40	60	9.0	1.00	24.00	21.60	WEB
⑤-7	20	20	7.0	1.00	4.00	2.80	WEB
計					1393.50	581.80	

エポキシ樹脂パテ施工数量 総計

	面積 (cm2)	体積 (cm3)
①	14.50	5.40
②	140.00	80.50
③	70.00	35.00
④	1235.00	703.40
⑤	1393.50	581.80
総計		1406.10
		1.406 (L)

配置図



注記

- フランジ及び添接板コバ面の腐食が激しい場合は“グラインダーで平滑処理”すること。
- 実際の製作・施工寸法は、本図面を基に現場実測結果と照合した上で決定すること。
- 支保補修工との重複箇所については塗装範囲を控除し、減箇所エポキシ樹脂パテを塗布後、支保補修工の塗装区分を参考に塗装する。

凡例

- エポキシ樹脂パテ
- 1種ケレン
- 4種ケレン
- 支保補修工補修範囲

北陸自動車道 R6長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	坂井田橋 下り線 P1-P2 断面整形工A（その3）		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	(株)ネクソコ・エンジニアリング新潟		
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

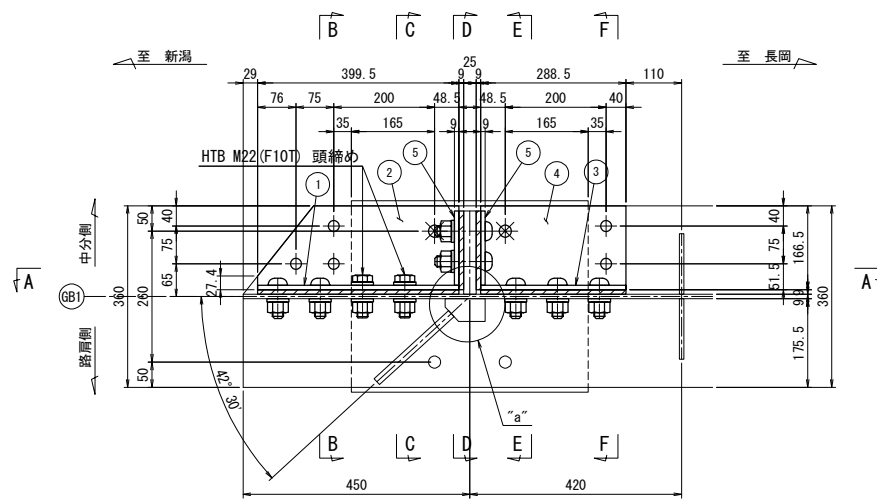
坂井田橋 下り線 P1-P2

当て板補修工 A（その 1）

P1上 GB1桁 損傷番号 No.1

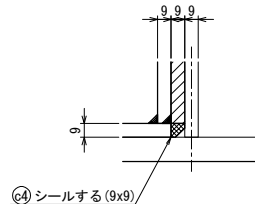
縮尺=1:15

平面図

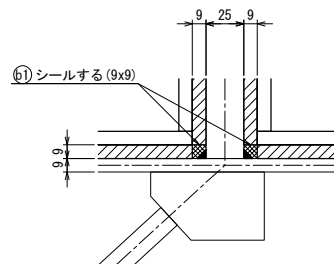


※ ソールプレートのサイズ及びセットボルトの位置は
竣工図がないため、想定値である。

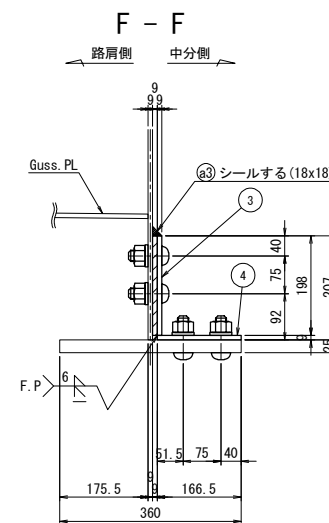
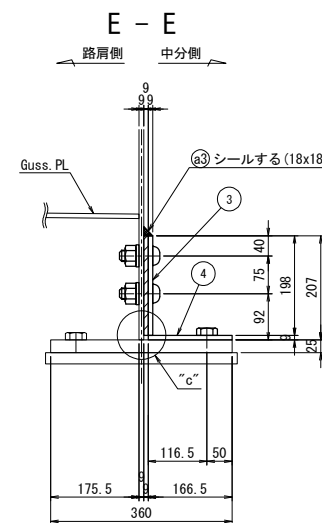
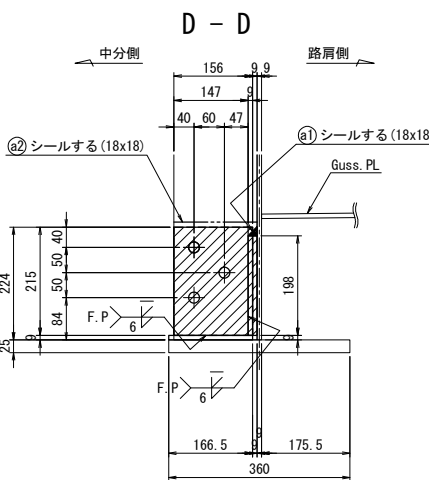
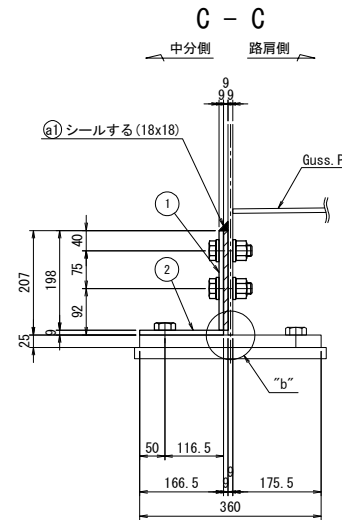
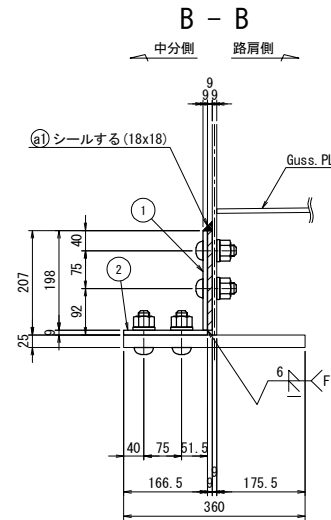
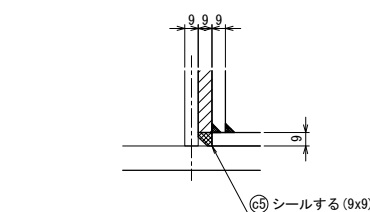
“b”部詳細
S = 1 : 5



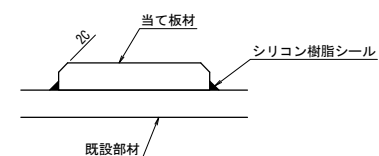
“a”部詳細
S = 1 : 5



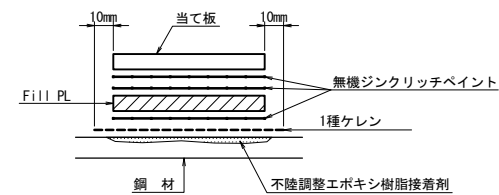
“c”部詳細
S = 1 : 5



新設部材コバ処理詳細



補修断面図



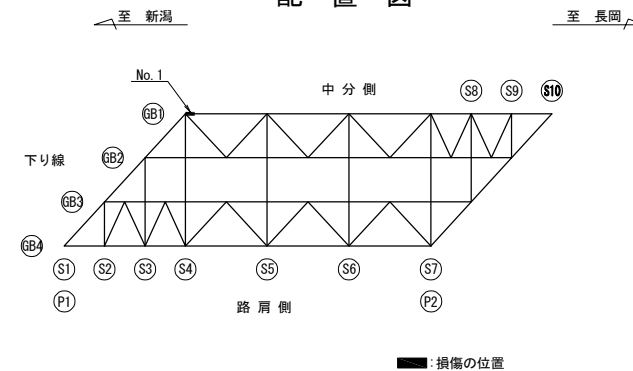
- 注記
- 特記なき材質は、全てSM490YAとする。
 - ◆印は、トルシア形高力ボルト M22 (S10T) を示す。
※印は、高力ボルト H.T.B M22 (F10T) 頭締めを示す。
※印は、普通ボルト M24 (SS400) を示す。
 - トルシア形高力ボルトの剛孔径は既設 24.5φ、当て板材は
拡大孔の26.5φとする。
 - 外気に面する高力ボルトの頭及びナット部分は
それぞれボルトキャップを取り付けること。
 - ソールプレートは想定値である。
 - 実際の製作・施工寸法は、本図面を基に現場実測結果と
照合した上で決定すること。

当て板補修工 A 施工数量 (その1)

	質量 (t)
鋼板	0.036
高力ボルト (TCB)	0.010
高力ボルト (HTB)	0.002
普通ボルト	0.001
計	0.049

- 1 - PL 198 x 9 x 400
1 - FILL PL 198 x 9 x 400 (SS400)
- 1 - PL 167 x 9 x 400 (SM400A)
- 1 - PL 198 x 9 x 289
1 - FILL PL 198 x 9 x 289 (SS400)
- 1 - PL 167 x 9 x 289 (SM400A)
- 2 - PL 147 x 9 x 215 (SM400A)
2 - FILL PL 156 x 9 x 215 (SS400)
5 - T.C.B M22 x 70 (S10T)
10 - T.C.B M22 x 65 (S10T)
3 - T.C.B M22 x 100 (S10T)
4 - H.T.B M22 x 70 (F10T)
2 - BOLT M24 x 75 (SS400)
T.C.B (M22用) ボルトキャップ 18組
H.T.B (M22用) ボルトキャップ 4組

配置図

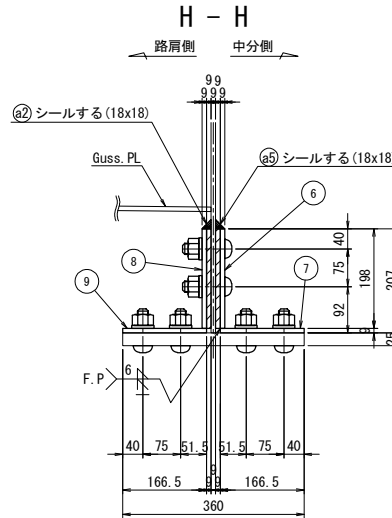
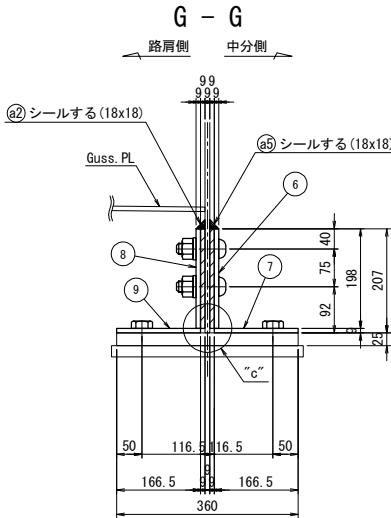
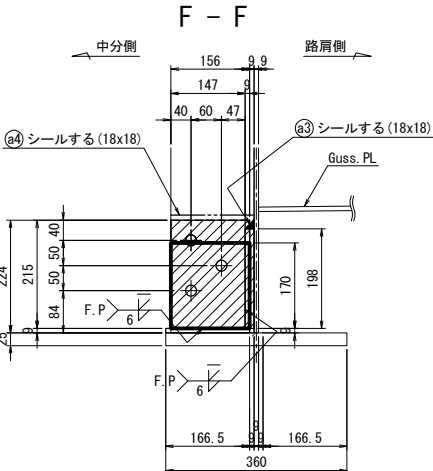
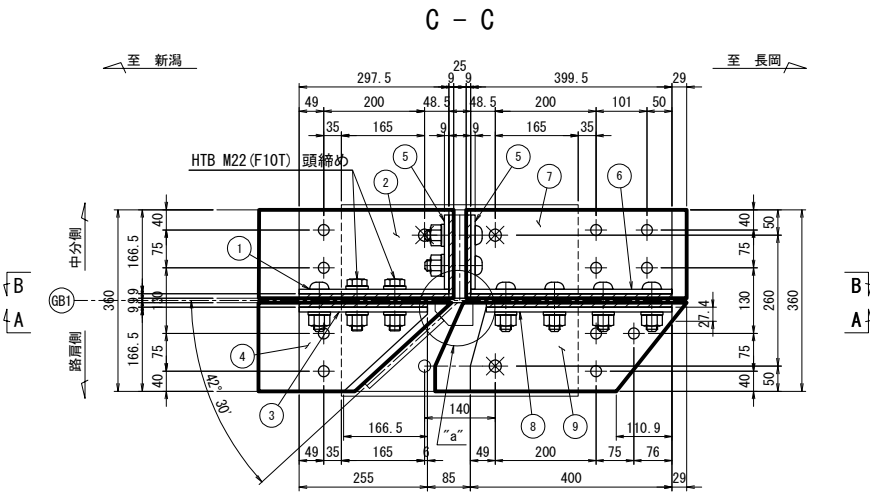
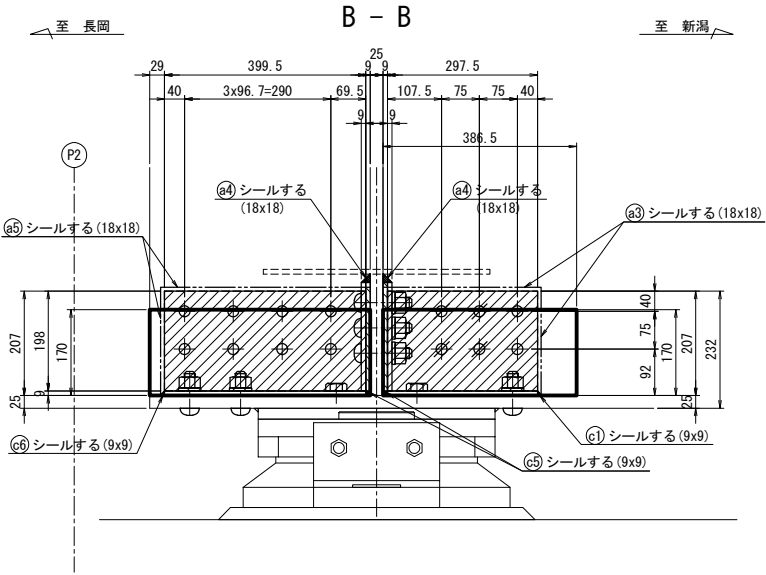
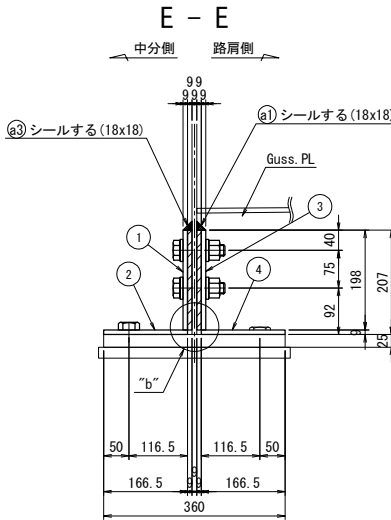
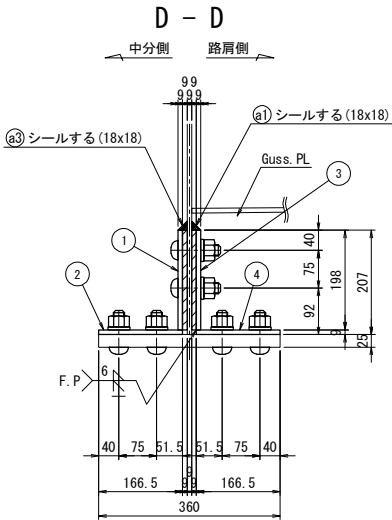
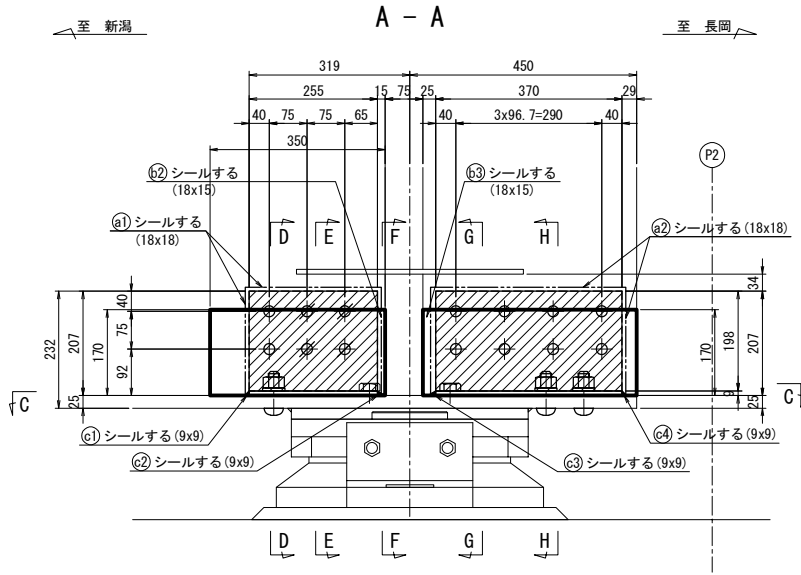


北陸自動車道 R6長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	坂井田橋 下り線 P1-P2 当て板補修工 A（その 1）		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	(株)ネクスコ・エンジニアリング新潟		
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

坂井田橋 下り線 P1-P2

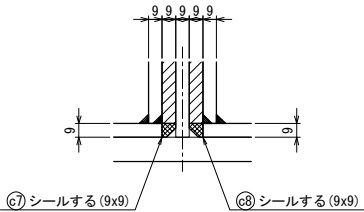
当て板補修工 A（その2）

P2上 GB1桁 損傷番号 No. 5

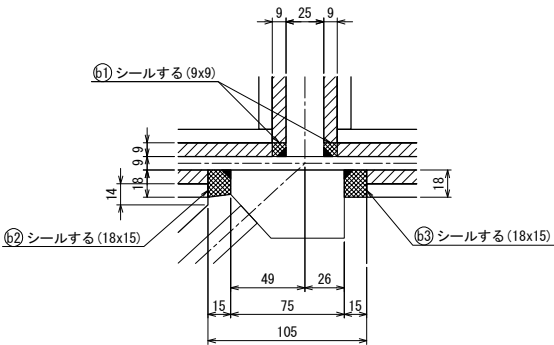


※ ソールプレートのサイズ及びセットボルトの位置は竣工図がないため、想定値である。

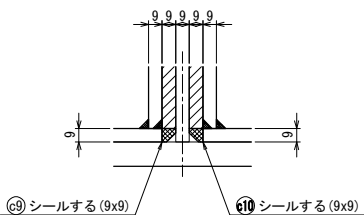
“b”部詳細
S = 1 : 5



“a”部詳細
S = 1 : 5



“c”部詳細
S = 1 : 5



- ① 1 - PL 198 x 9 x 298
1 - FILL PL 198 x 9 x 298 (SS400)
- ② 1 - PL 167 x 9 x 298 (SM400A)
- ③ 1 - PL 198 x 9 x 255
1 - FILL PL 198 x 9 x 255 (SS400)
- ④ 1 - PL 167 x 9 x 255 (SM400A)
- ⑤ 2 - PL 147 x 9 x 215 (SM400A)
- 2 - FILL PL 156 x 9 x 215 (SS400)
- ⑥ 1 - PL 198 x 9 x 400
1 - FILL PL 198 x 9 x 400 (SS400)
- ⑦ 1 - PL 167 x 9 x 400 (SM400A)
- ⑧ 1 - PL 198 x 9 x 370
1 - FILL PL 198 x 9 x 370 (SS400)
- ⑨ 1 - PL 167 x 9 x 400 (SM400A)
- 11 - T.C.B M22 x 70 (S10T)
- 10 - T.C.B M22 x 80 (S10T)
- 3 - T.C.B M22 x 100 (S10T)
- 4 - H.T.B M22 x 85 (F10T)
- 3 - BOLT M24 x 75 (SS400)
- T.C.B (M22用) ボルトキャップ 24組
H.T.B (M22用) ボルトキャップ 4組

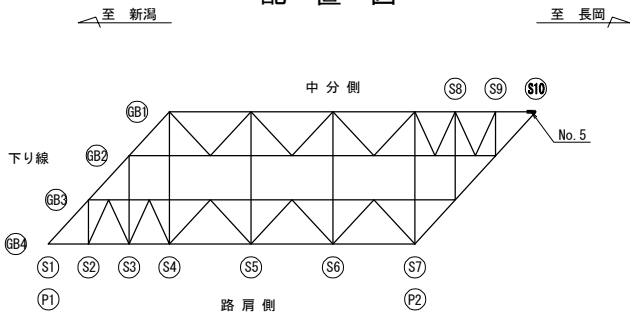
当て板補修工 A 施工数量 (その2)

	質量 (t)
鋼板	0.062
高力ボルト (TCB)	0.014
高力ボルト (HTB)	0.002
普通ボルト	0.001
計	0.079

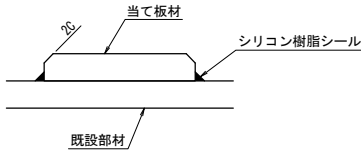
当て板補修工 A 施工数量 総計

	質量 (t)
(その1)	0.049
(その2)	0.079
孔引き質量	-0.005
総計	0.123

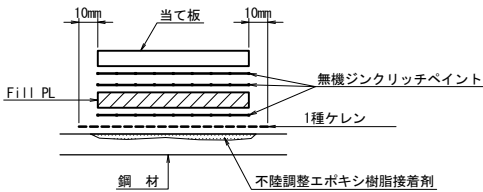
配置図



新設部材コバ処理詳細



補修断面図



： 支保補修工補修範囲

- 注記
- 特記なき材質は、全てSM490YAとする。
 - ※印は、トルシア形高力ボルト M22 (S10T) を示す。
※印は、高力ボルト H.T.B M22 (F10T) 頭締めを示す。
※印は、普通ボルト M24 (SS400) を示す。
 - トルシア形高力ボルトの削孔径は既設 24.5φ、当て板材は拡大孔の26.5φとする。
 - 外気に面する高力ボルトの頭及びナット部分はそれぞれボルトキャップを取り付けること。
 - ソールプレートは想定値である。
 - 実際の製作・施工方法は、本図面を基に現場実測結果と照合した上で決定すること。
 - 支保補修工の重複箇所については塗装範囲を控除する。

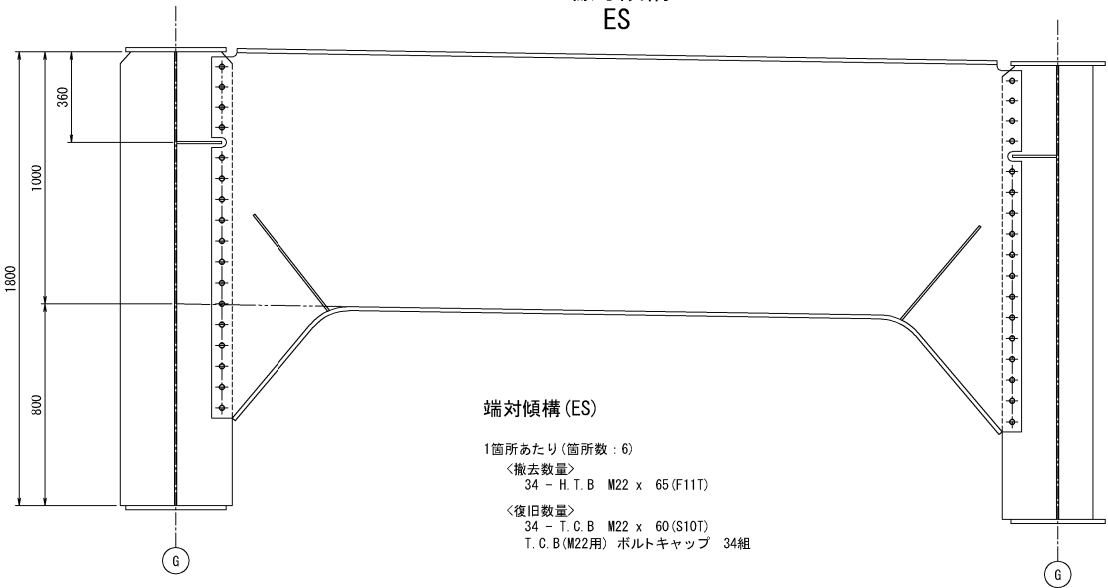
北陸自動車道 R 6 長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	坂井田橋 下り線 P1-P2 当て板補修工 A（その2）		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	(株)ネクスコ・エンジニアリング新潟		
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

坂井田橋 下り線 P1-P2

高力ボルト取替工 A

対傾構継手部

端対傾構
ES

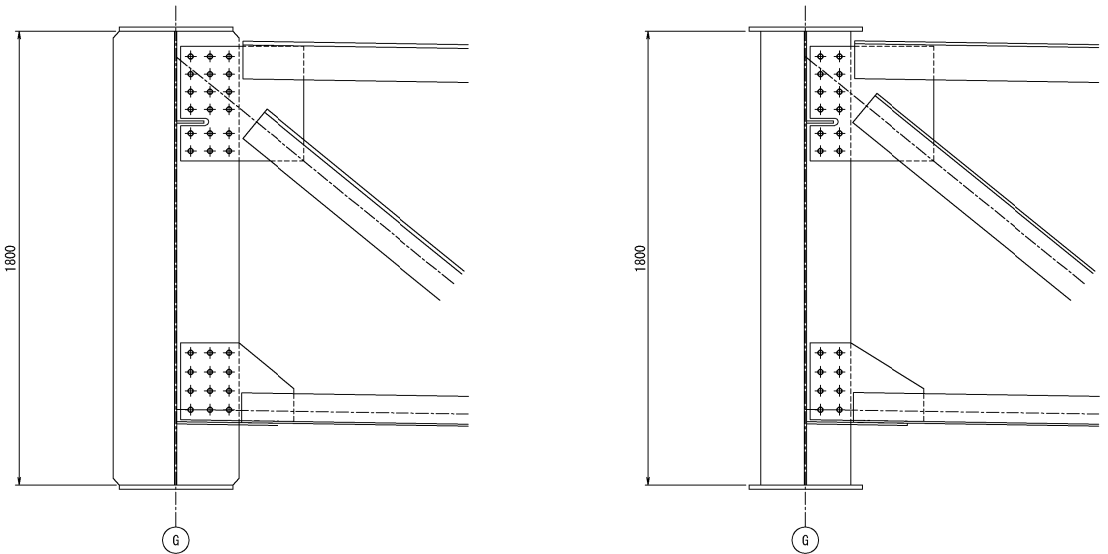


中間対傾構

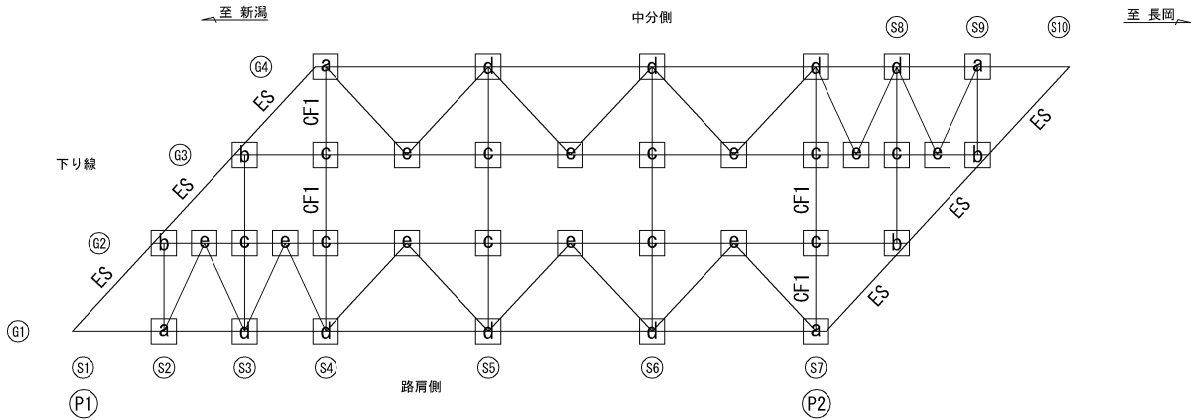
「高力ボルトは、M20 (F10T) を使用しており補修対象外」

CF1

CF2 (配置図のCF1以外)

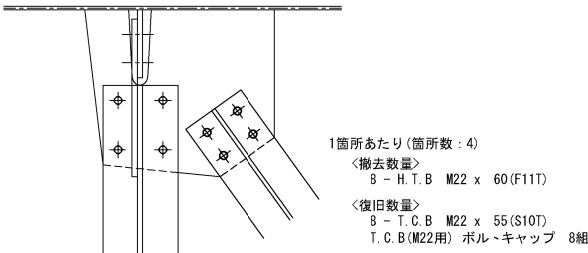


配置図

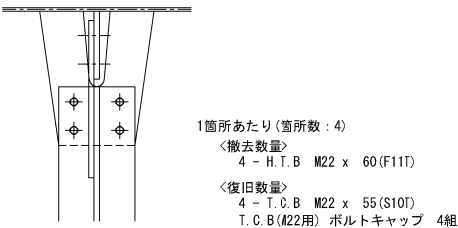


横構継手部

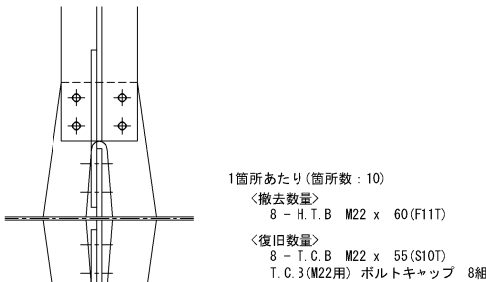
横構ガセット (a)



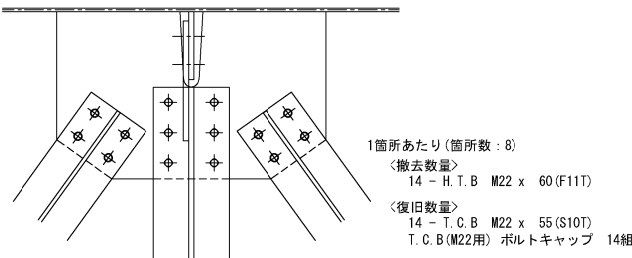
横構ガセット (b)



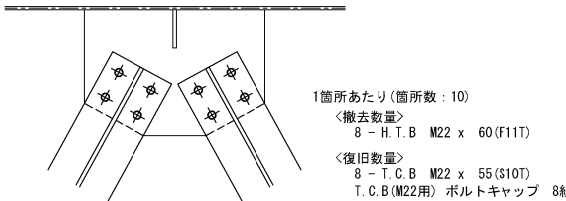
横構ガセット (c)



横構ガセット (d)



横構ガセット (e)



注記

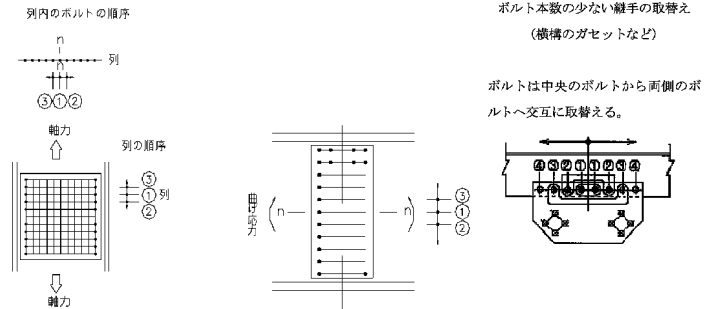
- 主桁は、リベット接合であり補修対象外となる。
- 中間対傾構は、高力ボルトM20 (F10T) 接合であると判断し補修対象外としたが、以下の補修工事において材質及びボルト径を再確認すること。
- 上記1. 2. より本工事の補修部材は、端対傾構 (Es) 及び、横構のみである。
- 塗装仕様は”塗り区分図”を参照のこと。

高力ボルト取替え方法

①高力ボルトの麻金が当たる部分は、塗装を除去し素地調整 (1 種ケレン) を行い、十分清掃した後に、新しいボルトを取り付ける。

②ボルトの取替は、1 本ずつ行うことを原則とする。

取替順序は下図のように、軸力作用部材あるいはフランジ部においては、添接板の片側の中央ボルト列から両側の列へ交互に取替を実施する。梁部材ウェブにおいては、中央から上下フランジ方向に交互に取替を実施する。



③複数の添接板のボルトを取替える場合には、添接板 1 組ごとに取替作業を行う。

④多主桁の橋梁で橋軸方向に同一主桁の複数の継手について高力ボルトの取替えを実施する場合には、同時取替えは行わず継手ごとに取替えを実施する。

⑤多主桁の橋梁で橋軸直角方向同一断面の複数の主桁継手を取替える場合には、同時取替えは行わず継手ごとに取替えを実施する。

⑥取替え高力ボルトは、締付完了後、所定の軸力が導入されているか全数検査する。

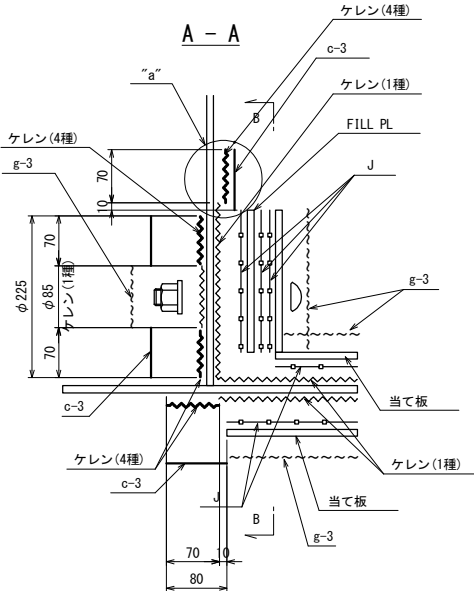
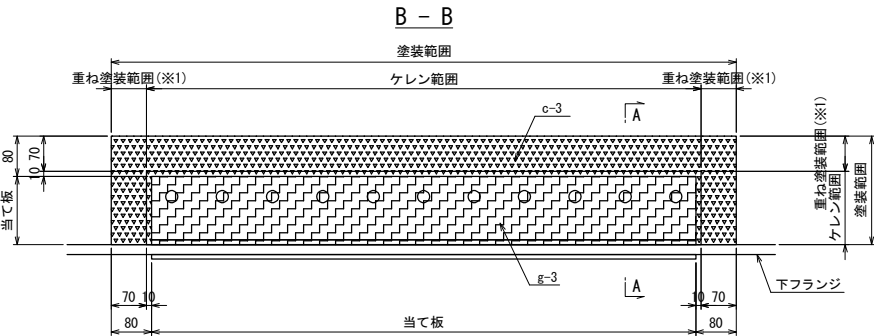
高力ボルト取替工 A 施工数量	
	数量 (本)
対傾構	204
横構	320
計	524

北陸自動車道 R 6 長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	坂井田橋 下り線 P1-P2 高力ボルト取替工 A		
	縮尺	図示	図面番号
設計会社名	(株) ネクスコ・エンジニアリング新潟		
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

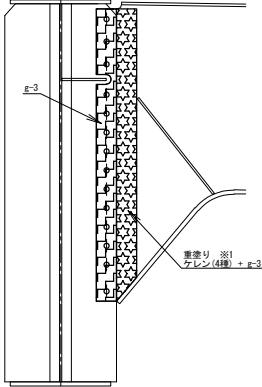
坂井田橋 下り線 P1-P2

塗り区分図

当て板部

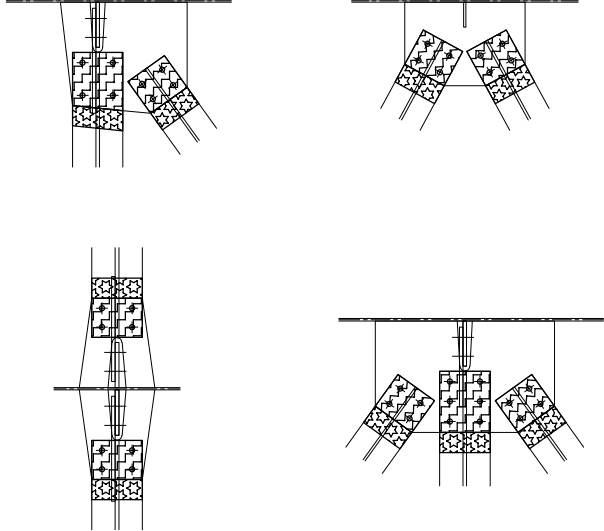


端对傾構

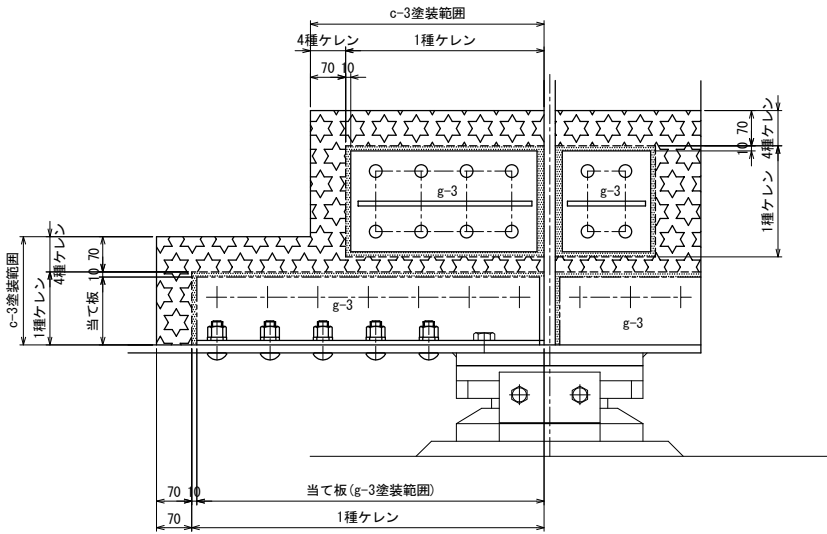


ボルト取替部

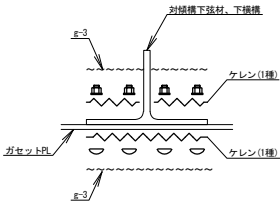
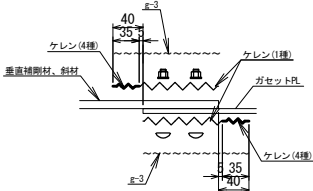
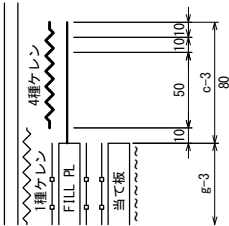
横構ガセット



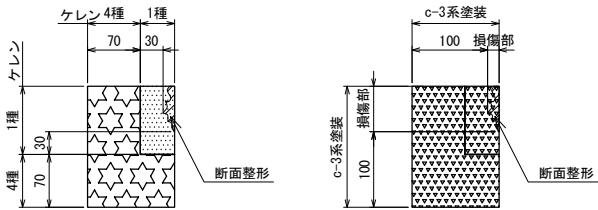
当て板部ケレン詳細



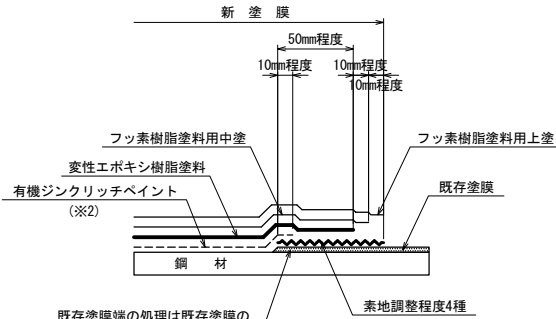
"a"部詳細



断面整形部











※1 既存塗膜との境界部の処理



既存塗膜端の処理は既存塗膜
下塗を極力出さないようにす
(工具を寝かせ過ぎない)

※2: 但し、当て板部との接触面は有機ジンクリッチペイントを塗布しない。

凡例

	c-3・・・既設部材一般部（外面）
	
	g-3・・・高力ボルト結合部 （添接部周辺部）
	
	1種ケレン
	
	4種ケレン
	
	J・・・高力ボルト結合部接触面 （無機ジンク ペイント）

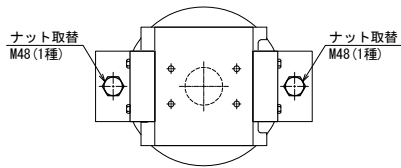
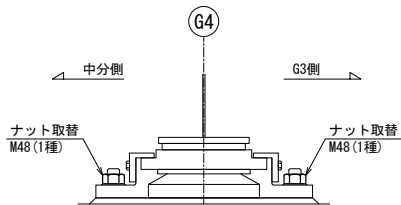
北陸自動車道 R 6 長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	坂井田橋 下り線 P1-P2 塗り区分図		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	(株)ネクスコ・エンジニアリング		
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

坂井田橋 下り線 P2

支承補修工

縮尺=1:30

支承補修工 A2
P2下 G4桁 損傷番号No. 2-1

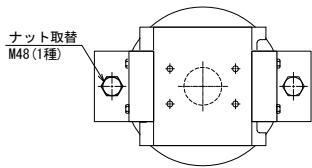
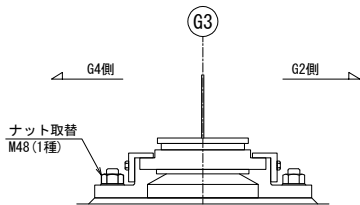


＜撤去数量＞
2 - Nut M48 (1種) (SS41)

＜復旧数量＞
2 - Nut M48 (1種) (SS400)

＜塗替え塗装面積＞
0.54m²/支承1台

支承補修工 A1
P2下 G3桁 損傷番号No. 2-2

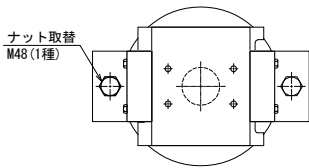
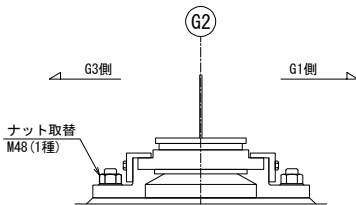


＜撤去数量＞
1 - Nut M48 (1種) (SS41)

＜復旧数量＞
1 - Nut M48 (1種) (SS400)

＜塗替え塗装面積＞
0.54m²/支承1台

支承補修工 A1
P2下 G2桁 損傷番号No. 2-3

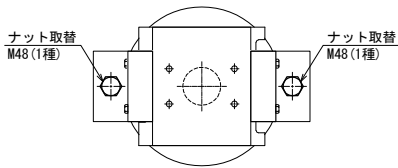
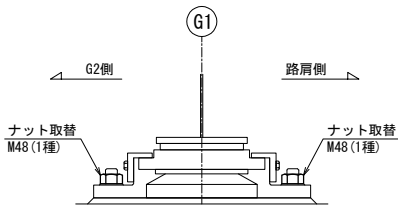


＜撤去数量＞
1 - Nut M48 (1種) (SS41)

＜復旧数量＞
1 - Nut M48 (1種) (SS400)

＜塗替え塗装面積＞
0.54m²/支承1台

支承補修工 A2
P2下 G1桁 損傷番号No. 2-4

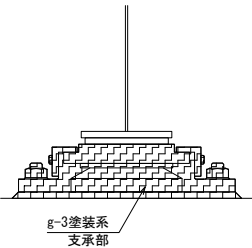
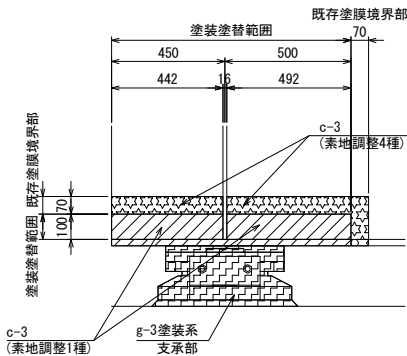


＜撤去数量＞
2 - Nut M48 (1種) (SS41)

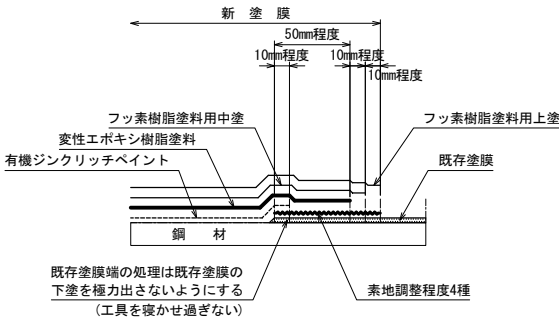
＜復旧数量＞
2 - Nut M48 (1種) (SS400)

＜塗替え塗装面積＞
0.54m²/支承1台

支承部周辺の塗装区分

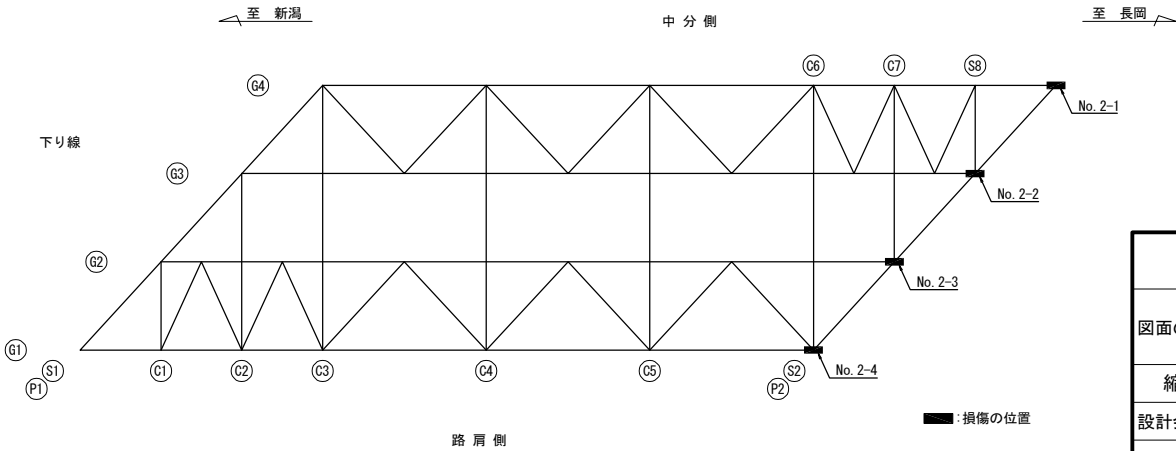


既存塗膜との境界部の処理



工程	(箇所)
支承補修工 A1	2
支承補修工 A2	2

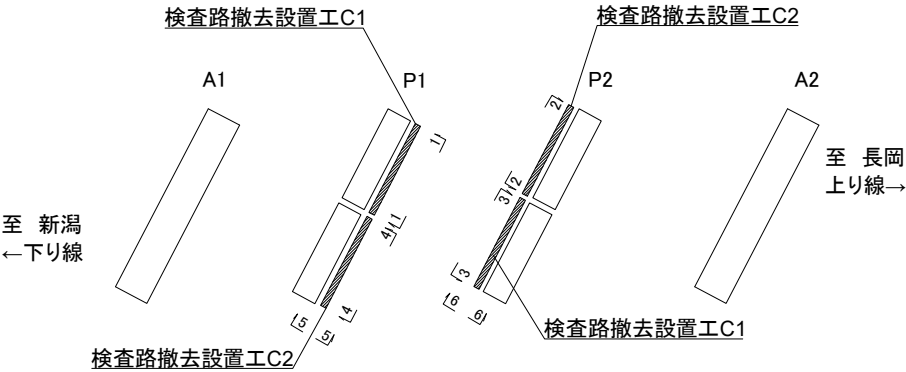
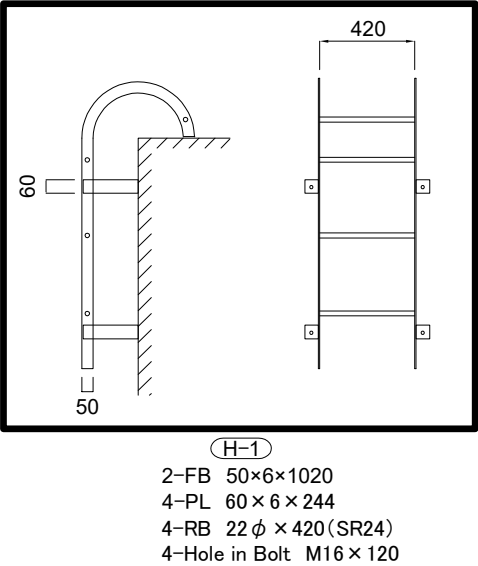
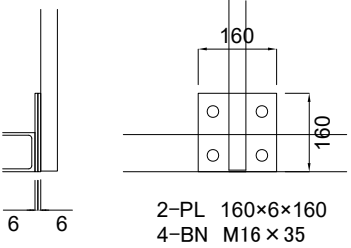
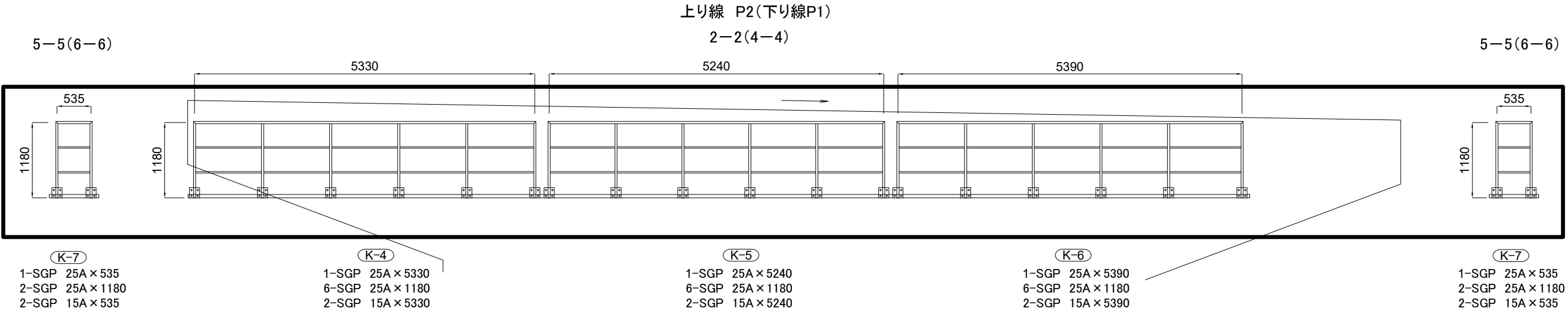
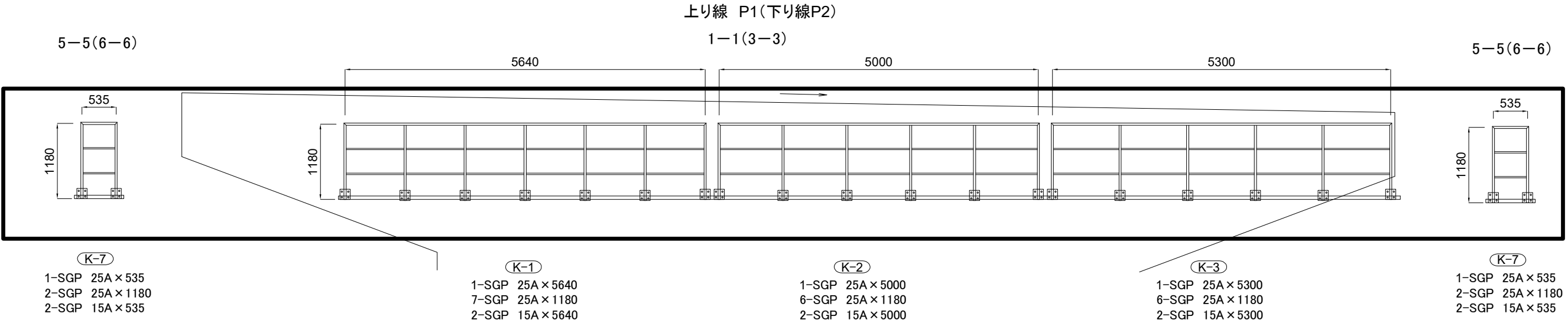
配置図



注記
1. 実際の製作・施工寸法は、本図面を基に現場実測結果と照合した上で決定すること。

北陸自動車道 R 6 長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	坂井田橋 下り線 P2 支承補修工		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名	(株)ネクスコ・エンジニアリング新潟		
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

坂井田橋 上下線 P1-P2
検査路撤去設置工C1及びC2（その1）



検査路撤去設置箇所

注)
1.特記なき材質は全てSS41とする。
2.全ての部材は垂鉛メッキとする。
3.部材製作に当たっては、事前に現地実測を行い、その結果を反映すること。

北陸自動車道 R6長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	坂井田橋 上下線 P1-P2 検査路撤去設置工C1及びC2（その1）		
縮尺	1/70	図面番号	
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

坂井田橋 上下線 P1-P2

検査路撤去設置工C1及びC2（その2）

坂井田橋
上り線 P1・下り線 P2
手摺部

構造形式	種別	材質	寸法(mm)		数量	重量/m	重量(kg)	
			断面	長さ			単個	合計
K-1	S.G.P	SS41	25A	5640	1	2.43	13.705	13.7
	〃	〃	〃	1180	7	2.43	2.867	20.1
	〃	〃	15A	5640	2	1.31	7.388	14.8
	PL	〃	160*6	160	7	7.55	1.208	8.5
	BN	〃	M16	35	28	－	0.120	3.4
	小計(n=2)							120.7
K-2	S.G.P	SS41	25A	5000	1	2.43	12.150	12.2
	〃	〃	〃	1180	6	2.43	2.867	17.2
	〃	〃	15A	5000	2	1.31	6.550	13.1
	PL	〃	160*6	160	6	7.55	1.208	7.2
	BN	〃	M16	35	24	－	0.120	2.9
	小計(n=2)							105.2
K-3	S.G.P	SS41	25A	5300	1	2.43	12.879	12.9
	〃	〃	〃	1180	6	2.43	2.867	17.2
	〃	〃	15A	5300	2	1.31	6.943	13.9
	PL	〃	160*6	160	6	7.55	1.208	7.2
	BN	〃	M16	35	24	－	0.120	2.9
	小計(n=2)							108.2
K-7	S.G.P	SS41	25A	535	2	2.43	1.300	2.6
	〃	〃	〃	1180	4	2.43	2.867	11.5
	〃	〃	15A	535	4	1.31	0.701	2.8
	PL	〃	160*6	160	4	7.55	1.208	4.8
	BN	〃	M16	35	16	－	0.120	1.9
	小計(n=2)							47.3

梯子

構造形式	種別	材質	寸法(mm)		数量	重量/m	重量(kg)	
			断面	長さ			単個	合計
H-1	FB	SS41	50*6	1020	2	2.36	2.407	4.8
	PL	〃	60*6	244	4	2.83	0.691	2.8
	RB	SR24	22φ	420	4	2.98	1.252	5.0
	Hole in Bolt	SS41	M16	120	4	－	0.330	1.3
	小計(n=6)							83.4

検査路撤去設置工C1 合計(n=2)								464.8
--------------------	--	--	--	--	--	--	--	-------

坂井田橋
上り線 P2・下り線 P1
手摺部

構造形式	種別	材質	寸法(mm)		数量	重量/m	重量(kg)	
			断面	長さ			単個	合計
K-4	S.G.P	SS41	25A	5330	1	2.43	12.952	13.0
	〃	〃	〃	1180	6	2.43	2.867	17.2
	〃	〃	15A	5330	2	1.31	6.982	14.0
	PL	〃	160*6	160	6	7.55	1.208	7.2
	BN	〃	M16	35	24	－	0.120	2.9
	小計(n=2)							108.5
K-5	S.G.P	SS41	25A	5240	1	2.43	12.733	12.7
	〃	〃	〃	1180	6	2.43	2.867	17.2
	〃	〃	15A	5240	2	1.31	6.864	13.7
	PL	〃	160*6	160	6	7.55	1.208	7.2
	BN	〃	M16	35	24	－	0.120	2.9
	小計(n=2)							107.6
K-6	S.G.P	SS41	25A	5390	1	2.43	13.098	13.1
	〃	〃	〃	1180	6	2.43	2.867	17.2
	〃	〃	15A	5390	2	1.31	7.061	14.1
	PL	〃	160*6	160	6	7.55	1.208	7.2
	BN	〃	M16	35	24	－	0.120	2.9
	小計(n=2)							109.1
K-7	S.G.P	SS41	25A	535	2	2.43	1.300	2.6
	〃	〃	〃	1180	4	2.43	2.867	11.5
	〃	〃	15A	535	4	1.31	0.701	2.8
	PL	〃	160*6	160	4	7.55	1.208	4.8
	BN	〃	M16	35	16	－	0.120	1.9
	小計(n=2)							47.3

梯子

構造形式	種別	材質	寸法(mm)		数量	重量/m	重量(kg)	
			断面	長さ			単個	合計
H-1	FB	SS41	50*6	1020	2	2.36	2.407	4.8
	PL	〃	60*6	244	4	2.83	0.691	2.8
	RB	SR24	22φ	420	4	2.98	1.252	5.0
	Hole in Bolt	SS41	M16	120	4	－	0.330	1.3
	小計(n=6)							83.4

検査路撤去設置工C2 合計(n=2)								455.9
--------------------	--	--	--	--	--	--	--	-------

数 量 表

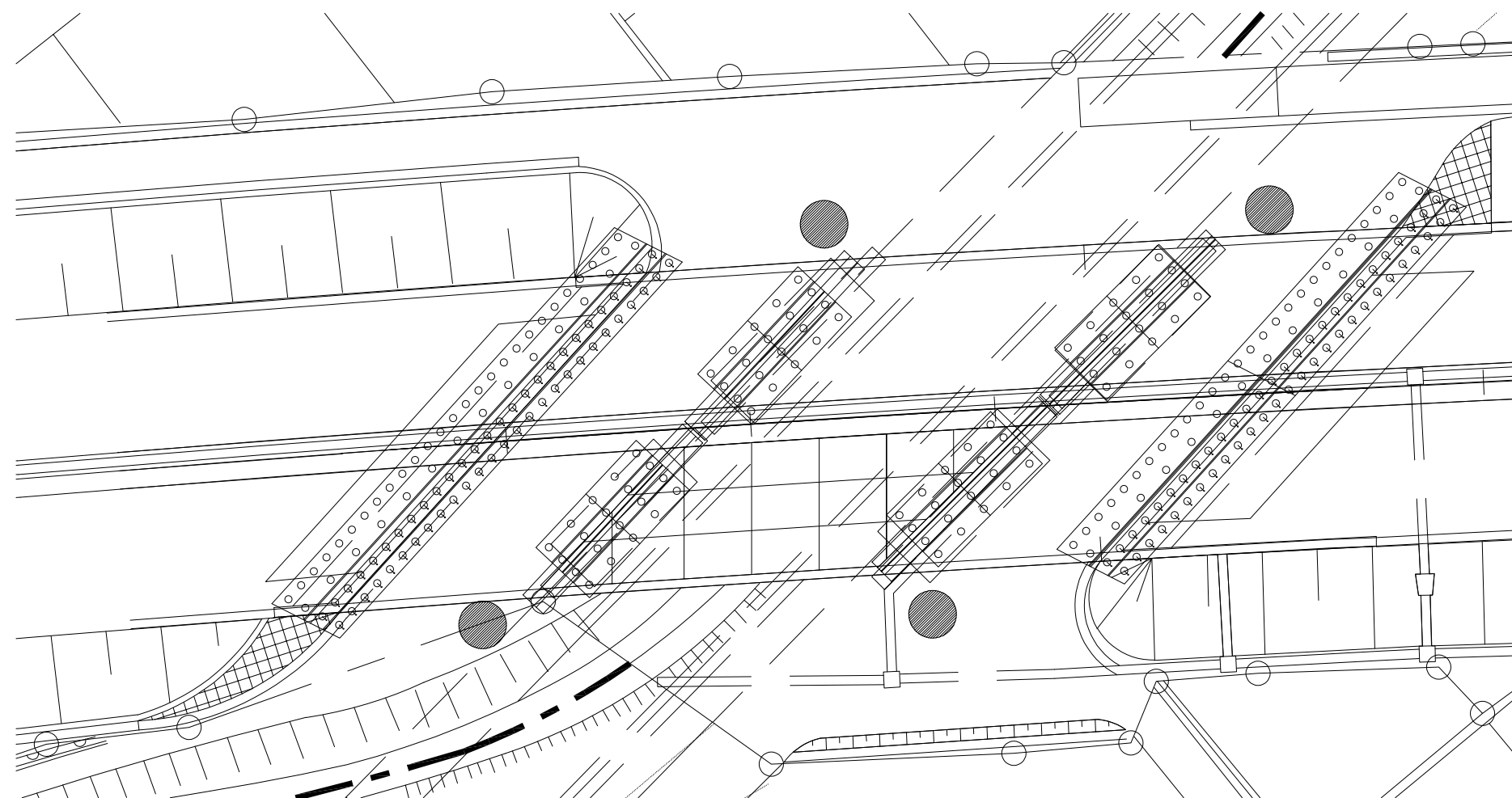
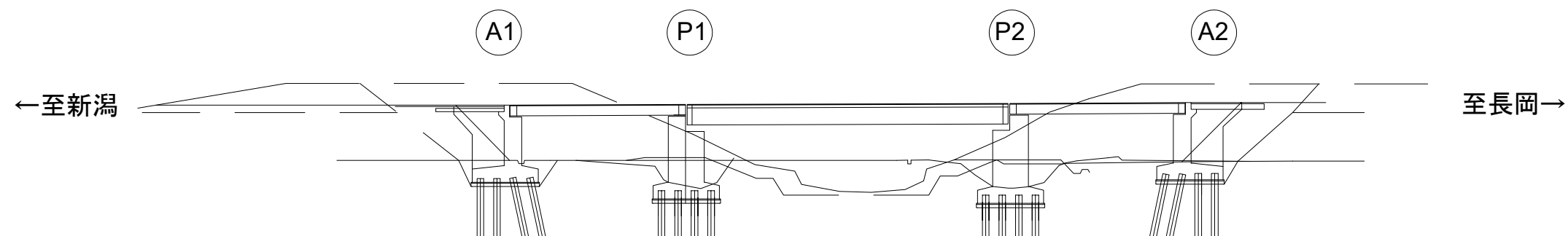
単位:(箇所)

項 目	合 計
検査路撤去設置工C1	2.0
検査路撤去設置工C2	2.0

注)
1.特記なき材質は全てSS41とする。
2.全ての部材は垂鉛メッキとする。
3.部材製作に当たっては、事前に現地実測を行い、その結果を反映すること。

北陸自動車道 R 6 長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	坂井田橋 上下線 P1-P2 検査路撤去設置工C1及びC2（その2）		
縮尺	－	図面番号	
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

坂井田橋 上下線
交通誘導警備員B 配置図



※足場設置撤去時
※交通誘導員の配置は4人同時に行うものではない

北陸自動車道 R 6 長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	坂井田橋 上下線 交通誘導警備員B 配置図		
縮尺	1/500	図面番号	
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

●: 交通誘導警備員B

八王寺高架橋 下り線

橋梁一般図

側面圖 縮尺 1:400

施工範圍

圖中顯示橋樑的側面剖面，包括橋墩、橋面、橋樑結構、橋樑高度、橋樑寬度、橋樑長度、橋樑坡度、橋樑材料、橋樑設計、橋樑施工、橋樑維護、橋樑安全、橋樑環境、橋樑經濟、橋樑社會、橋樑文化、橋樑藝術、橋樑科學、橋樑技術、橋樑管理、橋樑運營、橋樑發展、橋樑未來、橋樑希望、橋樑夢想、橋樑理想、橋樑願望、橋樑追求、橋樑奮鬥、橋樑努力、橋樑堅持、橋樑毅力、橋樑勇氣、橋樑智慧、橋樑力量、橋樑信心、橋樑決心、橋樑意志、橋樑信念、橋樑理想、橋樑願望、橋樑追求、橋樑奮鬥、橋樑努力、橋樑堅持、橋樑毅力、橋樑勇氣、橋樑智慧、橋樑力量、橋樑信心、橋樑決心、橋樑意志、橋樑信念。

概 断 曲 線									
計 面 高	17.442	17.442	17.706	17.706	17.797	17.797	17.827	17.827	17.861
地 盤 高	10.95	10.95	10.99	10.99	10.99	10.99	10.99	10.99	10.99
追 加 距 離	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
單 距 離	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000	0.000
測 點	17.442	17.442	17.706	17.706	17.797	17.797	17.827	17.827	17.861
曲 率 圖									
片 圖 配 置 付 圖									

標準断面図 縮尺 1:200

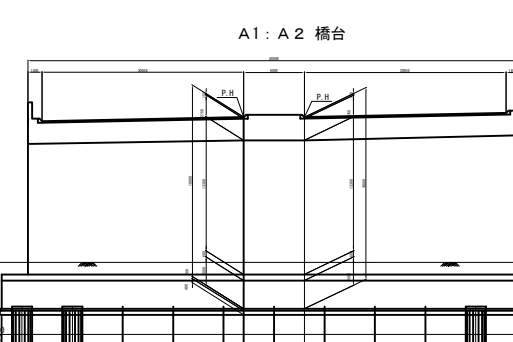
断面図 縮尺 1:200

A1 : A2 橋台

C.C.P. 6103
A1 L-20.103
A2 L-23.05

断面図 縮尺 1:200

A1 : A2 橋台



Dimensions and labels in the diagram include:

- Top horizontal dimensions: 1000, 2000, 2000, 1000
- Vertical dimensions: 1000, 1000, 1000, 1000
- Labels: P.H., G.C.P. Ø100, A1 L=20.75, A2 L=22.05

P1, P2, P3, P4 橋脚

Technical drawing showing two elevations of bridge piers (P1, P2, P3, P4). The drawing includes dimensions in millimeters (mm) and a list of components.

Dimensions (mm):

- Overall width: 10,000
- Overall height: 10,000
- Top section width: 10,000
- Top section height: 10,000
- Bottom section width: 10,000
- Bottom section height: 10,000
- Intermediate section width: 10,000
- Intermediate section height: 10,000

Components:

- C.C.P. 61000
- P1 L=20,000
- P2 L=21,000
- P3 L=21,000
- P4 L=22,000

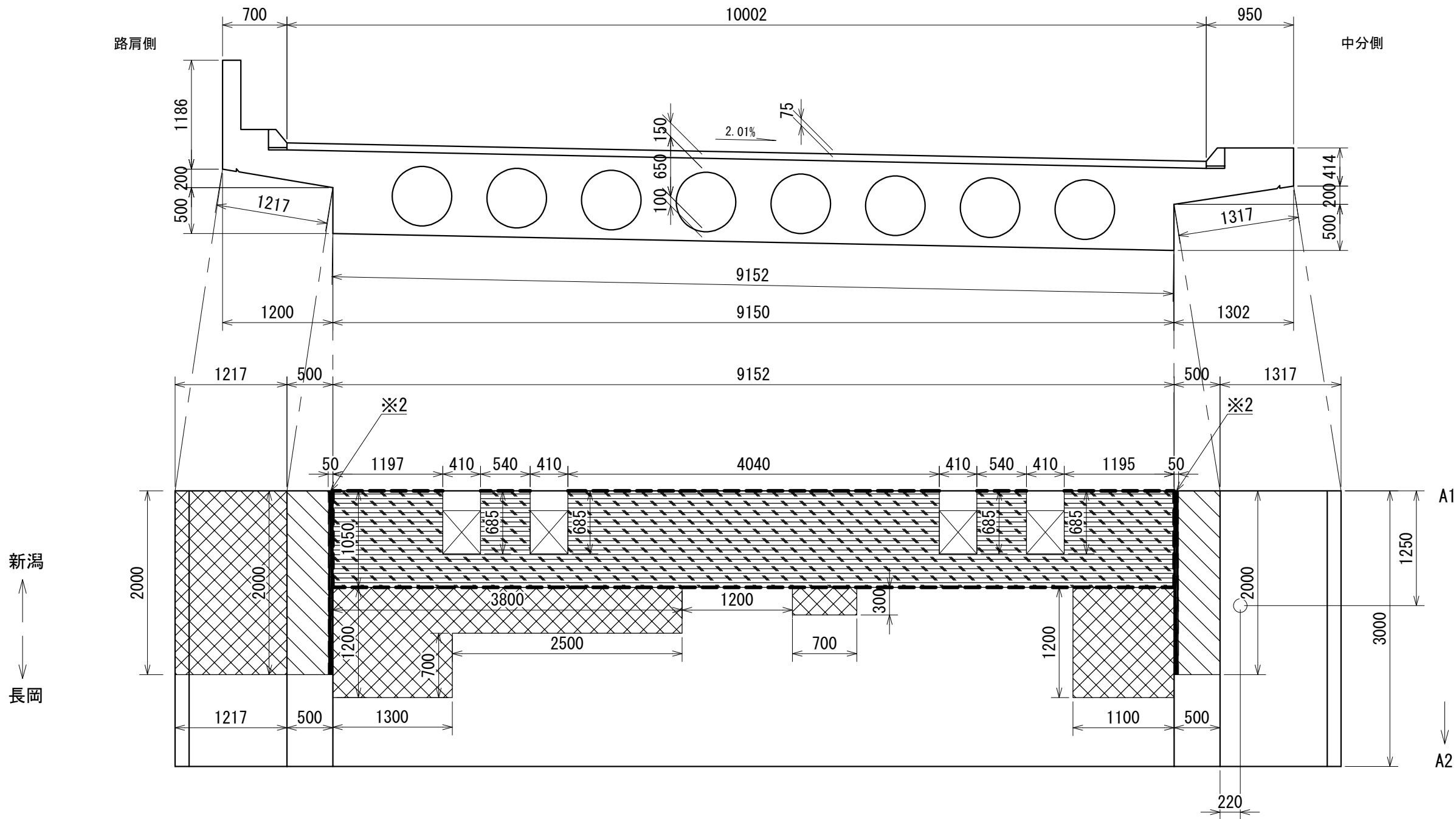
桁下の間隔限度
縮尺 1:50

This technical drawing illustrates the maximum spacing of reinforcement bars in a beam-to-column joint. It shows a cross-section of a beam with a central column. The reinforcement bars are shown as horizontal lines within the beam. The drawing is labeled '桁下の間隔限度' (Maximum spacing of reinforcement bars) and '縮尺 1:50' (Scale 1:50).

北陸自動車道 R6長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	八王寺高架橋 下り線 橋梁一般図		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

北陸自動車道 R6長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	八王寺高架橋 下り線 橋梁一般図		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

八王寺高架橋 下り線 A1端部
コンクリートはつリエ・断面修復工



数 量 表

単位:(m³)

狭小部高さ		
路肩側	190	mm
中分側	150	mm

図示表示	コンクリートはつリエ	断面修復工
	A1 (t=5cm)	A1 (t=5cm)
	A2 (t=5cm)	A2 (t=5cm)
	A1 (t=7cm)	A1 (t=7cm)

項 目	路肩側 張出下面	路肩側 主版側面	主版下面	中分側 主版側面	控除 ※2	合 計
コンクリートはつリエ A1(t=5cm)	2.43		4.34			6.77
コンクリートはつリエ A2(t=5cm)			8.49			8.49
コンクリートはつリエ A1(t=7cm)		1.00		1.00	-0.20	1.80
項 目	路肩側 張出下面	路肩側 主版側面	主版下面	中分側 主版側面	控除 ※2	合 計
断面修復工 A1(t=5cm) ※1	2.43		4.34			6.77
断面修復工 A2(t=5cm) ※1			8.49			8.49
断面修復工 A1(t=7cm) ※1		1.00		1.00	-0.20	1.80

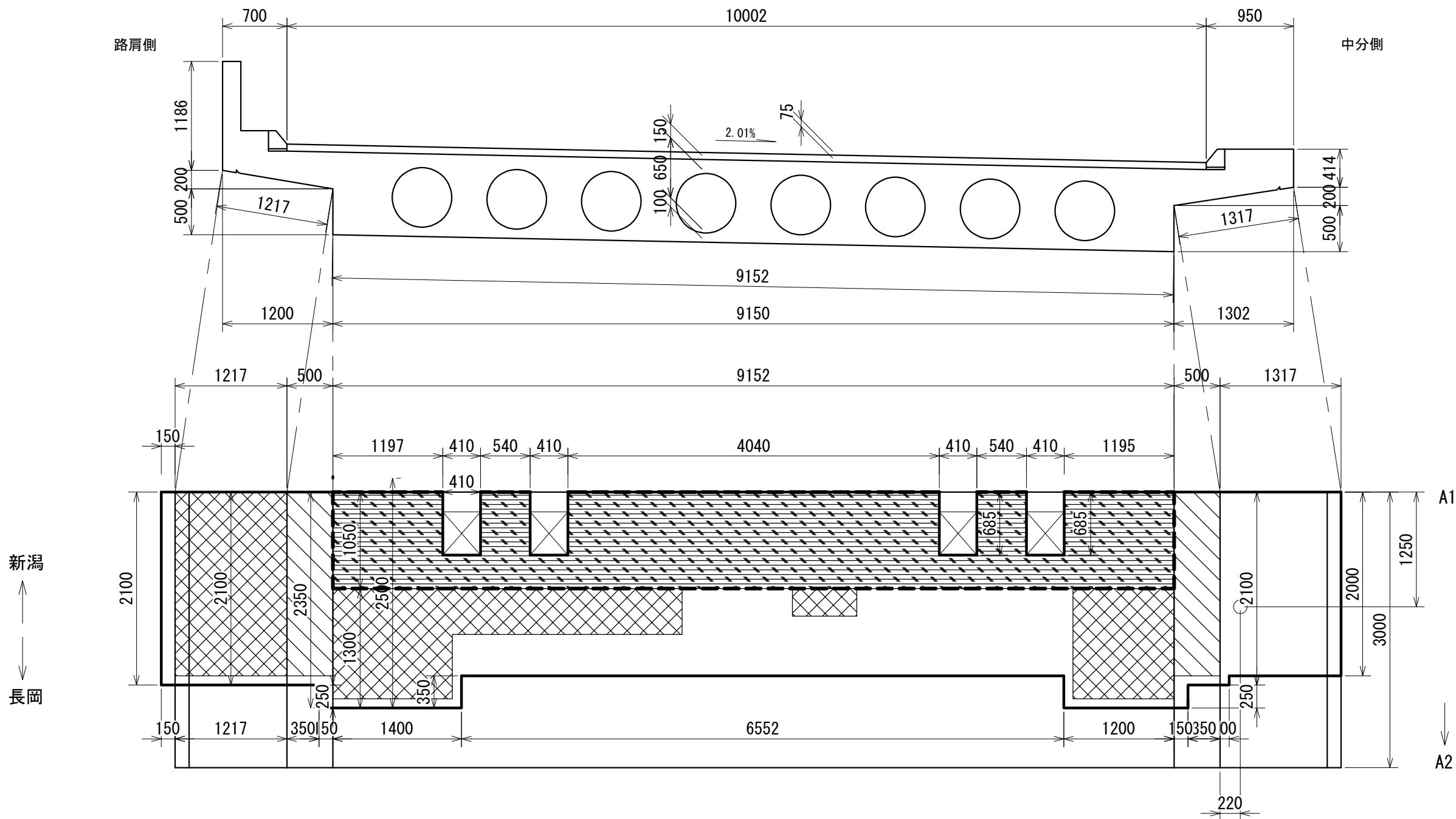
※1 各吹付の1層目は、亜硝酸リチウムを配合した断面修復材を1cm以上の厚みで吹き付けるものとする。

※2 施工範囲が重複する箇所は数量から控除するものとする。

狭小部範囲
型式:5径間連続RC中空床版橋

北陸自動車道 R 6 長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	八王寺高架橋 下り線 A1端部 コンクリートはつリエ・断面修復工		
縮尺	1/50	図面番号	
設計会社名	(株)ネクスコ・エンジニアリング新潟		
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

八王寺高架橋 下り線 A1端部
表面保護工



狭小部高さ

路肩側	190	mm
中分側	150	mm

図示表示	コンクリートはつり工	断面修復工
	A1 (t=5cm)	A1 (t=5cm)
	A2 (t=5cm)	A2 (t=5cm)
	A1 (t=7cm)	A1 (t=7cm)

図示表示	工種
	表面保護工

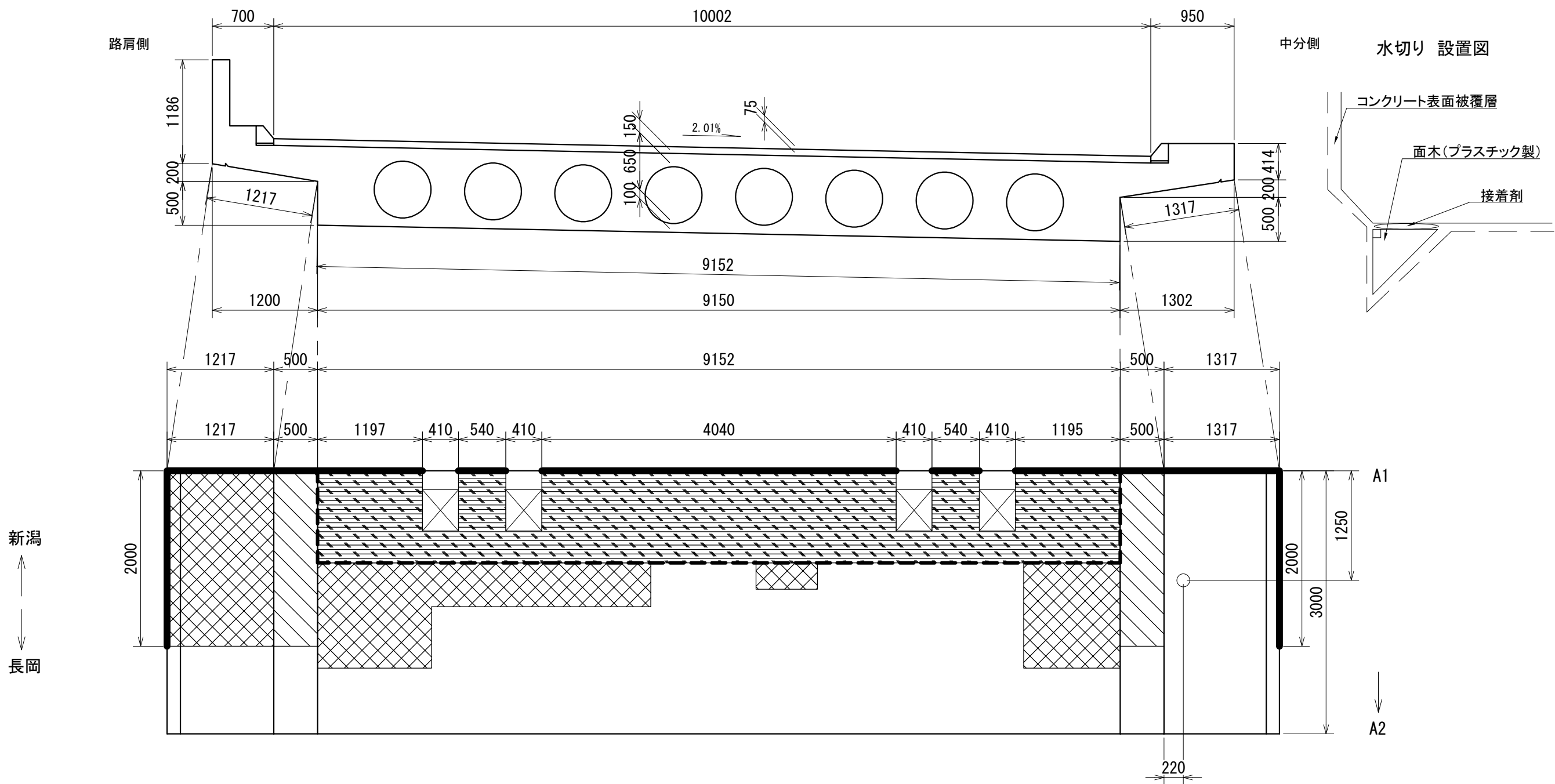
数 量 表

項 目	単位:(m ²)				
	路肩側 張出下面	路肩側 主版側面	主版下面	中分側 主版側面	中分側 張出下面
コンクリート表面被覆工	2.87	1.09	18.09	1.09	2.64
合 計	25.78				

狭小部範囲
型式:5径間連続RC中空床版橋

北陸自動車道 R 6 長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	八王寺高架橋 下り線 A1端部 表面保護工		
縮尺	1/50	図面番号	
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

八王寺高架橋 下り線 A1端部
水切り工（その１）



狭小部高さ

路肩側	190	mm
中分側	150	mm

図示表示	コンクリートはつり工	断面修復工
	A1 (t=5cm)	A1 (t=5cm)
	A2 (t=5cm)	A2 (t=5cm)
	A1 (t=7cm)	A1 (t=7cm)

図示表示	工種
	水切り工

数 量 表

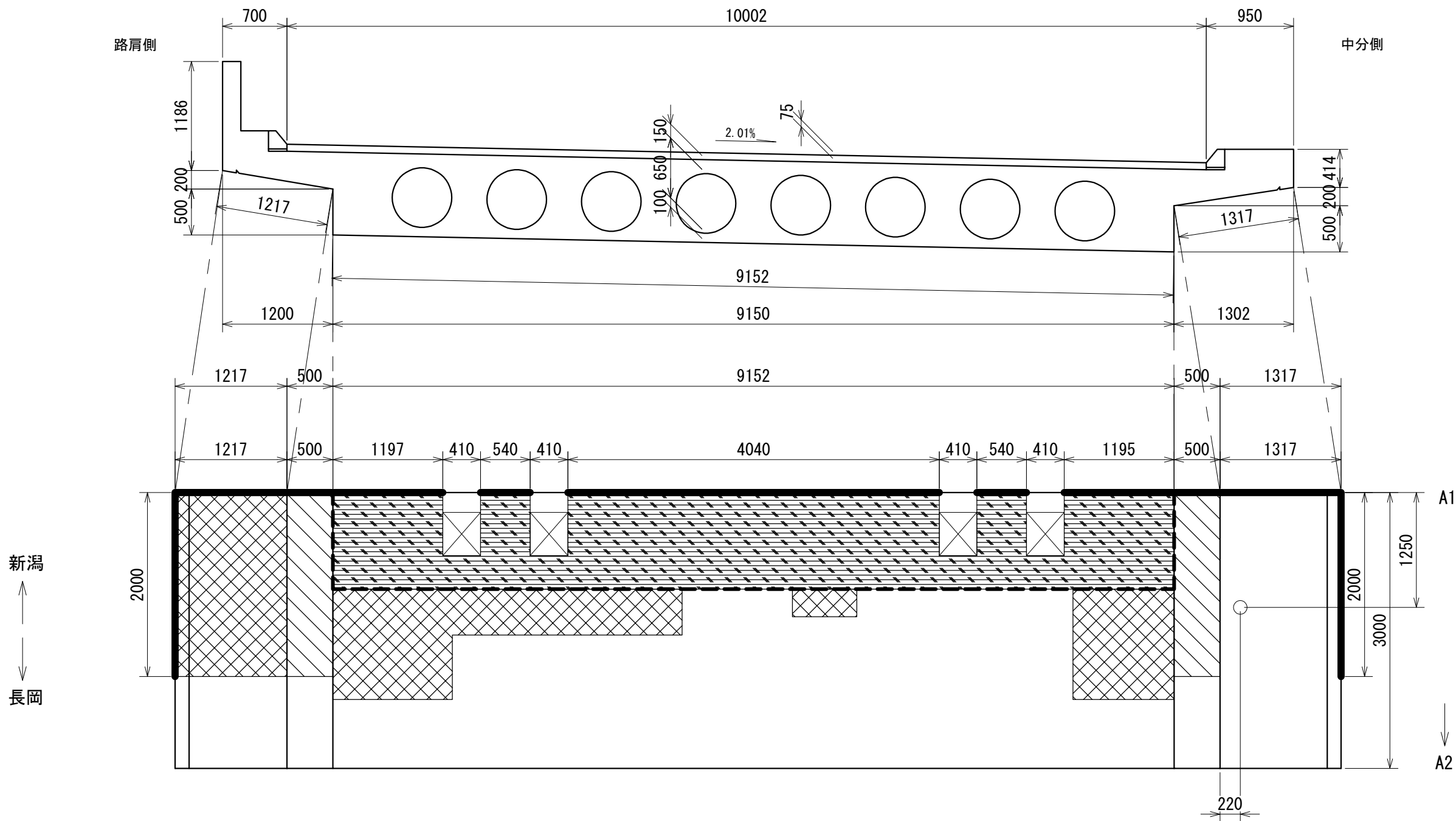
単位:(m)	
項 目	合 計
水切り工A	15.05

狭小部範囲

型式:5径間連続RC中空床版橋

北陸自動車道 R 6 長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	八王寺高架橋 下り線 A1端部 水切り工（その１）		
縮尺	1/50	図面番号	
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

八王寺高架橋 下り線 A1端部
水切り工（その2）



狭小部高さ

路肩側	190	mm
中分側	150	mm

図示表示	コンクリートはつり工	断面修復工
	A1 (t=5cm)	A1 (t=5cm)
	A2 (t=5cm)	A2 (t=5cm)
	A1 (t=7cm)	A1 (t=7cm)

図示表示	工種
	水切り撤去工

数 量 表

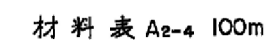
単位:(m)

項 目	合 計
水切り撤去工A	15.05

狭小部範囲

型式:5径間連続RC中空床版橋

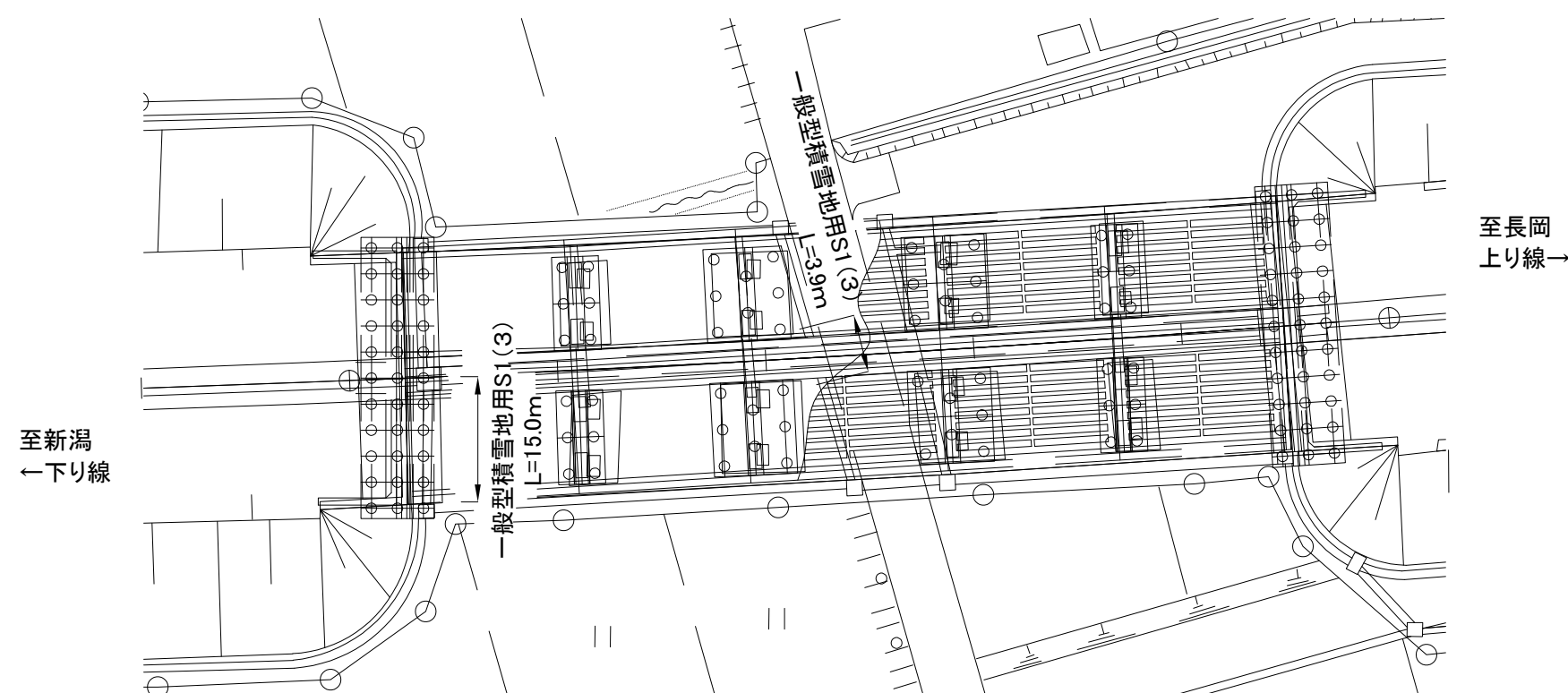
北陸自動車道 R 6 長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	八王寺高架橋 下り線 A1端部 水切り工（その2）		
縮尺	1/50	図面番号	
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		



NO	名称	形状寸法	本数
1	主柱	$\phi 76^3 \times 2^8 \times 1830$	67本
	〃	$(\phi 60^5 \times 2^3 \times 1830)$	(67)*
2	横桟	$42.7 \times 2.5 \times 4800$	23*
3	〃	$34.0 \times 2.5 \times 4800$	23*
4	キャップ	$\phi 76^3$ 用 $(\phi 60^5$ 用) $t=2^3$	67*
5	ツリバンド	$t=2^3$	115ヶ
6	〃	$t=2^3$	115ヶ
7	横桟取付 バンド	$4.5 \times 74 \times 147$	67枚
8	Uボルト	M12 \times 155	67本
9	〃	M 8 \times 65	134*
10	ツリバンド用 ボルト	W ϕ 16 \times 28	230*
11	〃	W ϕ 16 \times 55 ϕ 34.0用	23*
12	〃	W ϕ 16 \times 65 ϕ 42.7用	23*
13	母線押へ	$t=3^2 \times 15 \times 30$	67ヶ

数 量 表

單位:(m)	
項 目	合 計
一般型積雪地用S1(3)	18.9



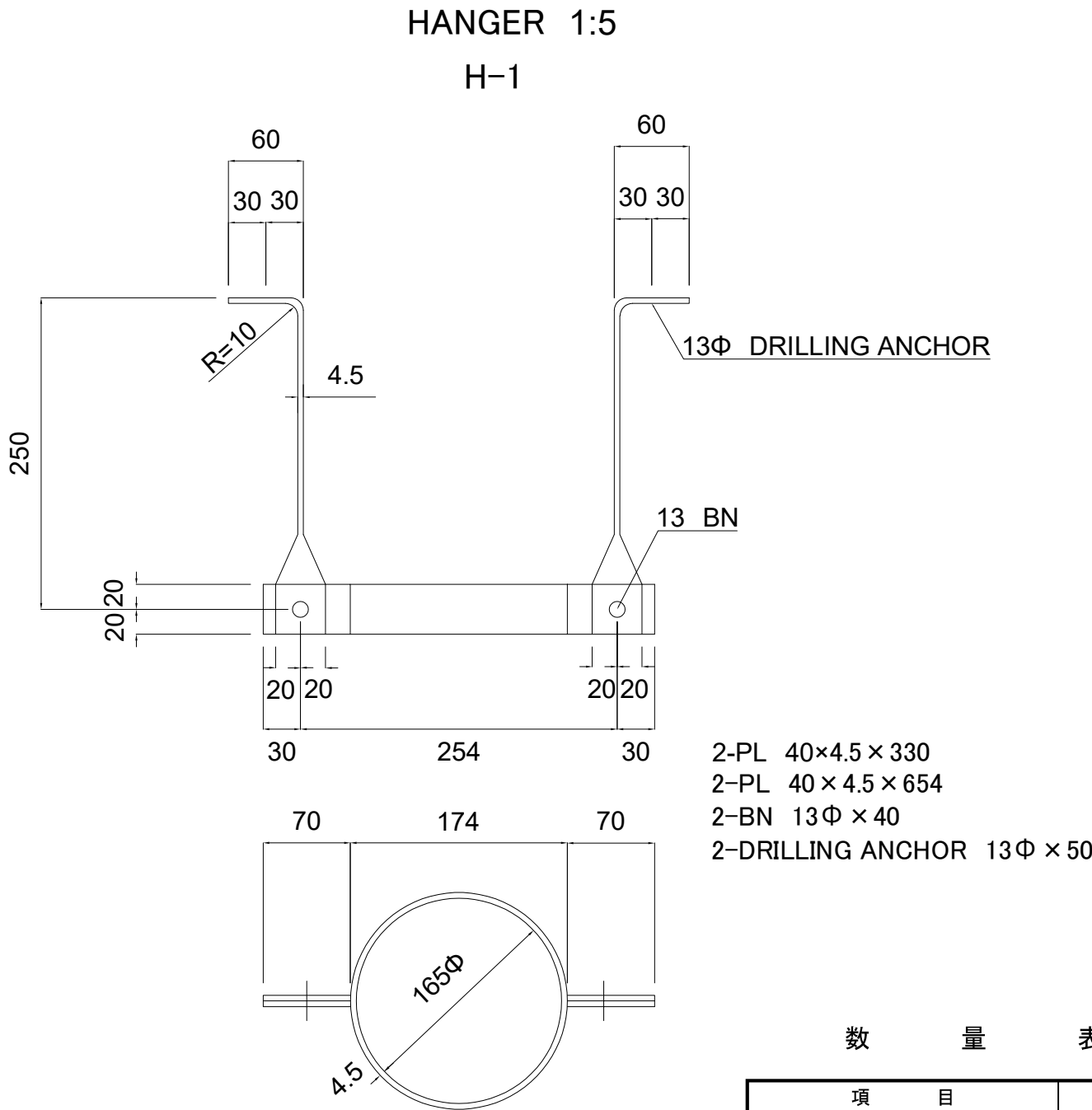
<p style="text-align: center;">北陸自動車道 R 6 長岡管内橋梁補修工事</p>			
図面の種類	<p style="text-align: center;">八王寺高架橋 下り線 立入防止柵撤去設置工</p>		
縮尺	1/650	図面番号	
設計会社名			
事務所名	<p style="text-align: center;">東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所</p>		

八王寺高架橋 下り線 A1

排水装置取替

正面図 1:40

下り線 A1



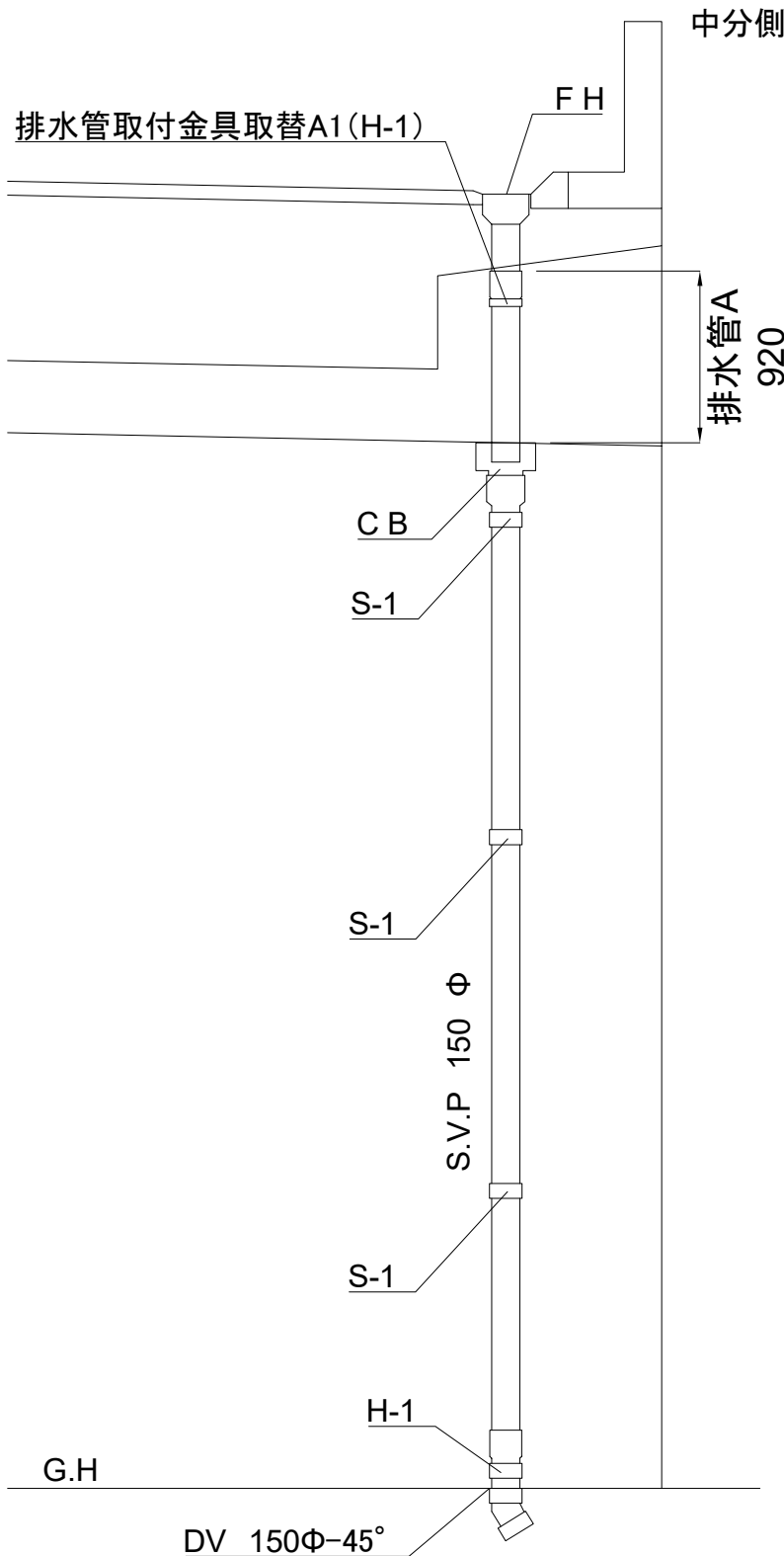
数 量 表

単位:(m)

項 目	合 計
排水管A	0.9

単位:(箇所)

項 目	合 計
排水管取付金具取替A1	1.0

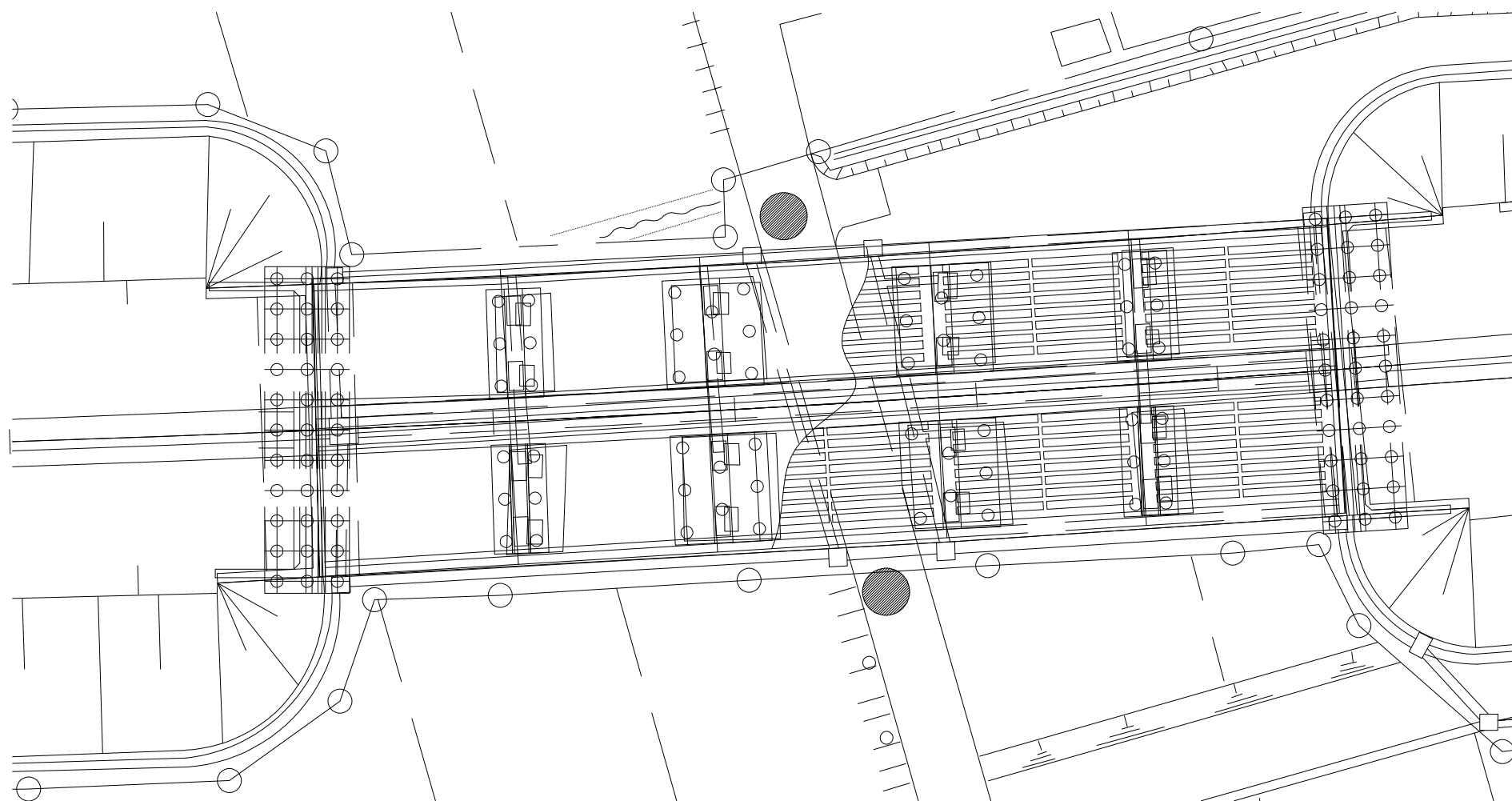
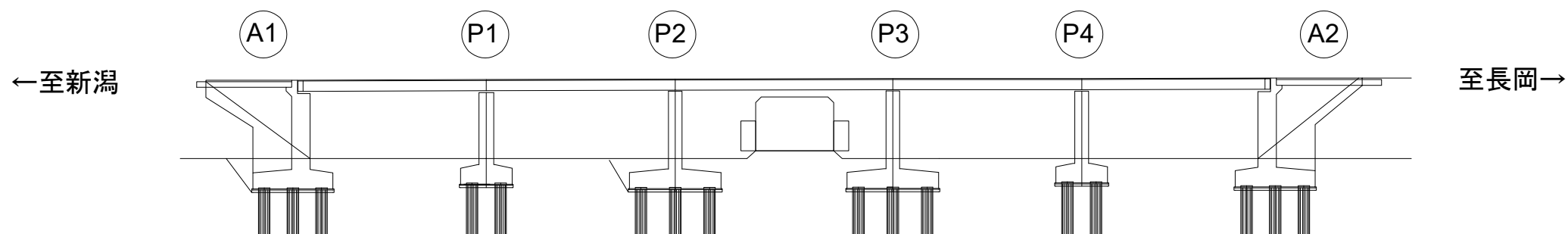


注)
1.部材製作に当たっては、事前に現地実測を行い、その結果を反映すること。

北陸自動車道 R 6 長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	八王寺高架橋 下り線 A1 排水管A及び排水管取付金具A1		
縮尺	1/5 , 1/40	図面番号	
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

八王寺高架橋 下り線

交通誘導警備員B 配置図



※立入防止柵撤去設置時

北陸自動車道
R6長岡管内橋梁補修工事図面の種類
八王寺高架橋 下り線
交通誘導警備員B 配置図縮尺
1/500 図面番号

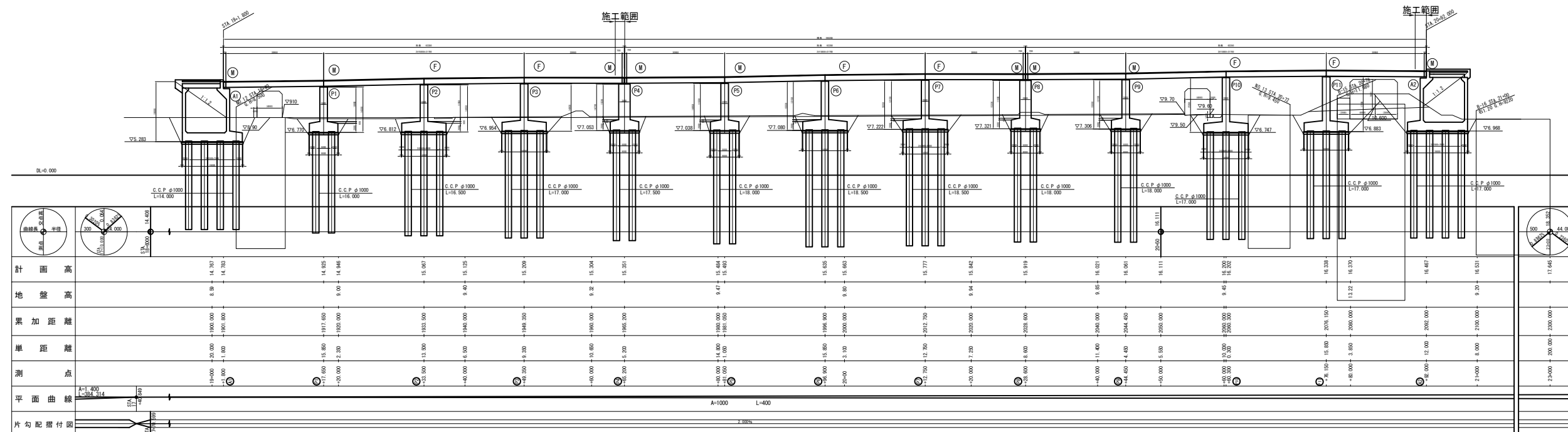
設計会社名

事務所名
東日本高速道路株式会社
新潟支社 長岡管理事務所

●: 交通誘導警備員B

橋梁一般図

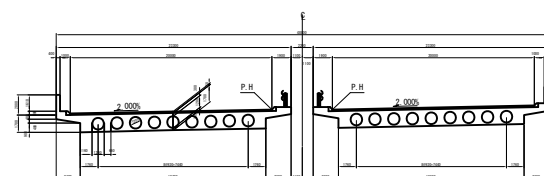
側 面 図 縮尺 1:400



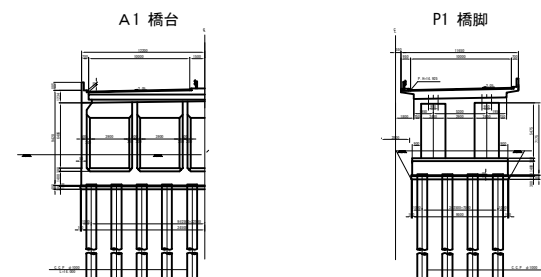
平面图 縮尺 1:400



標準横断図 縮尺 1:200



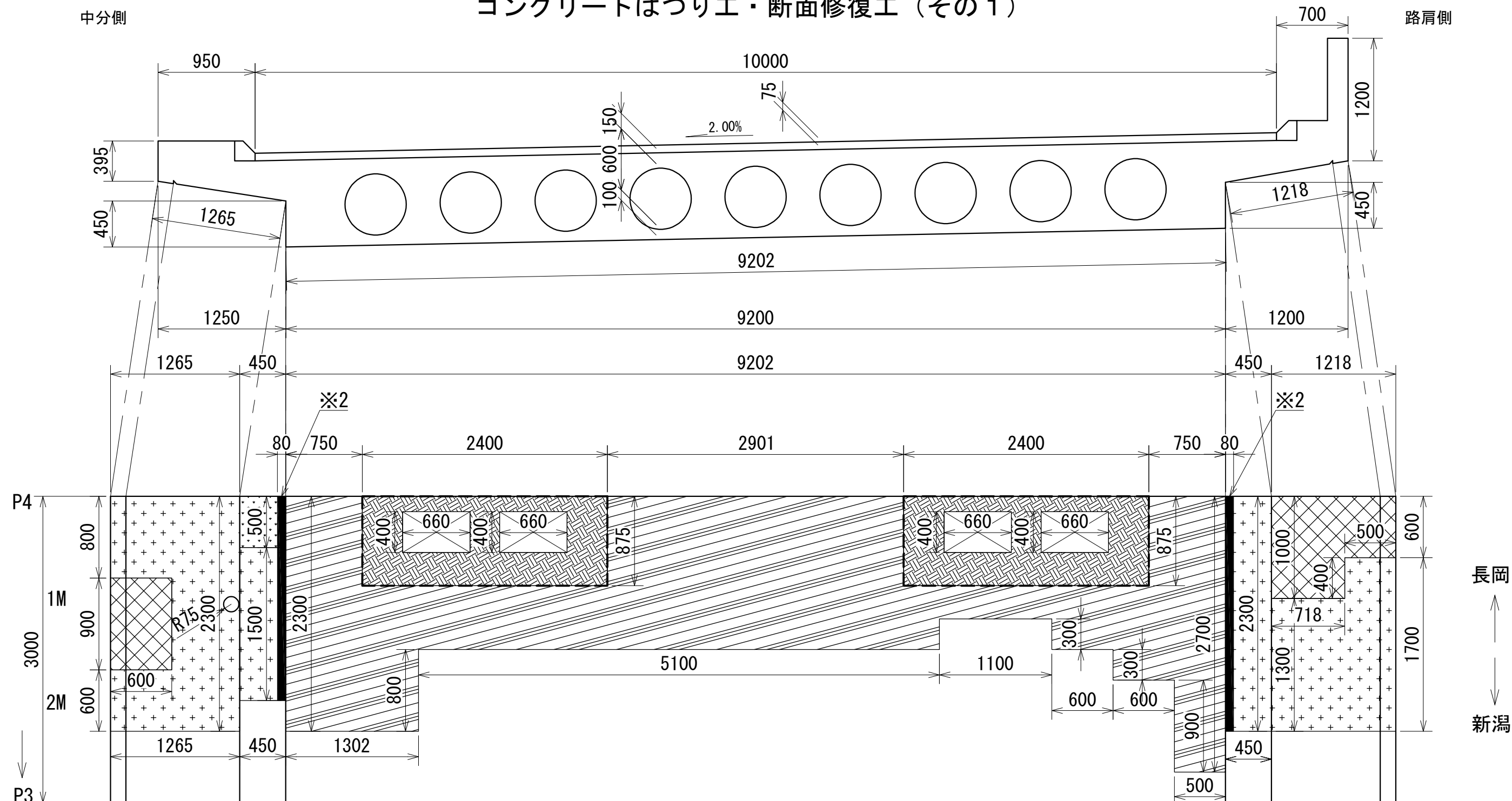
横断図 縮尺 1:200



設 計 条 件		
型 式	R C 中空床版	
構 長	190x200	
桁 長	3 x 63x350	
支 間	3 x (15x75-2 x 15x850-15x75)	
幅 員	2 x 10x000	
活 荷 重	TL-20 TT-43	
垂 壁 係 数	i=(20/(50+L)) 07/(20+L)	
斜 度	90° 00'	
設 計 震 度	KH=0 20 KH=0	
平 面 曲 線	A=1000	
構 断 勾 配	2.000%	
橋 勾 配	0.8962%	0.2350%

北陸自動車道 R6長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	上須頃高架橋 下り線 橋梁一般図		
縮尺	図示	図面番号	
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

コンクリートはつりエ・断面修復工（その１）



数量表

							単位: (㎡)
項 目	路肩側 張出下面	路肩側 主版側面	主版下面	中分側 主版側面	中分側 張出下面	控除 ※2	合 計
コンクリートはつりエ A1(t=2cm)		0.68					0.68
コンクリートはつりエ A1(t=3cm)				0.23		-0.04	0.19
コンクリートはつりエ A1(t=4cm)	1.78	1.04		0.68	2.35	-0.30	5.55
コンクリートはつりエ A1(t=5cm)	1.02		2.47	0.77	0.54	-0.85	3.95
コンクリートはつりエ A1(t=8cm)			11.10				11.10
コンクリートはつりエ A2(t=5cm)			5.12				5.12
コンクリートはつりエ A2(t=8cm)			3.14				3.14
項 目	路肩側 張出下面	路肩側 主版側面	主版下面	中分側 主版側面	中分側 張出下面	控除 ※2	合 計
断面修復工 A1(t=2cm) ※1		0.68					0.68
断面修復工 A1(t=3cm) ※1				0.23		-0.04	0.19
断面修復工 A1(t=4cm) ※1	1.78	1.04		0.68	2.35	-0.30	5.55
断面修復工 A1(t=5cm) ※1	1.02		2.47	0.77	0.54	-0.85	3.95
断面修復工 A1(t=8cm) ※1			11.10				11.10
断面修復工 A2(t=5cm) ※1			5.12				5.12
断面修復工 A2(t=8cm) ※1			3.14				3.14

図示表示	コンクリートはつり工	断面修復工
	A1 (t=3cm)	A1 (t=3cm)
	A1 (t=4cm)	A1 (t=4cm)
	A1 (t=5cm)	A1 (t=5cm)
	A1 (t=8cm)	A1 (t=8cm)
	A2 (t=8cm)	A2 (t=8cm)

狭小部高さ

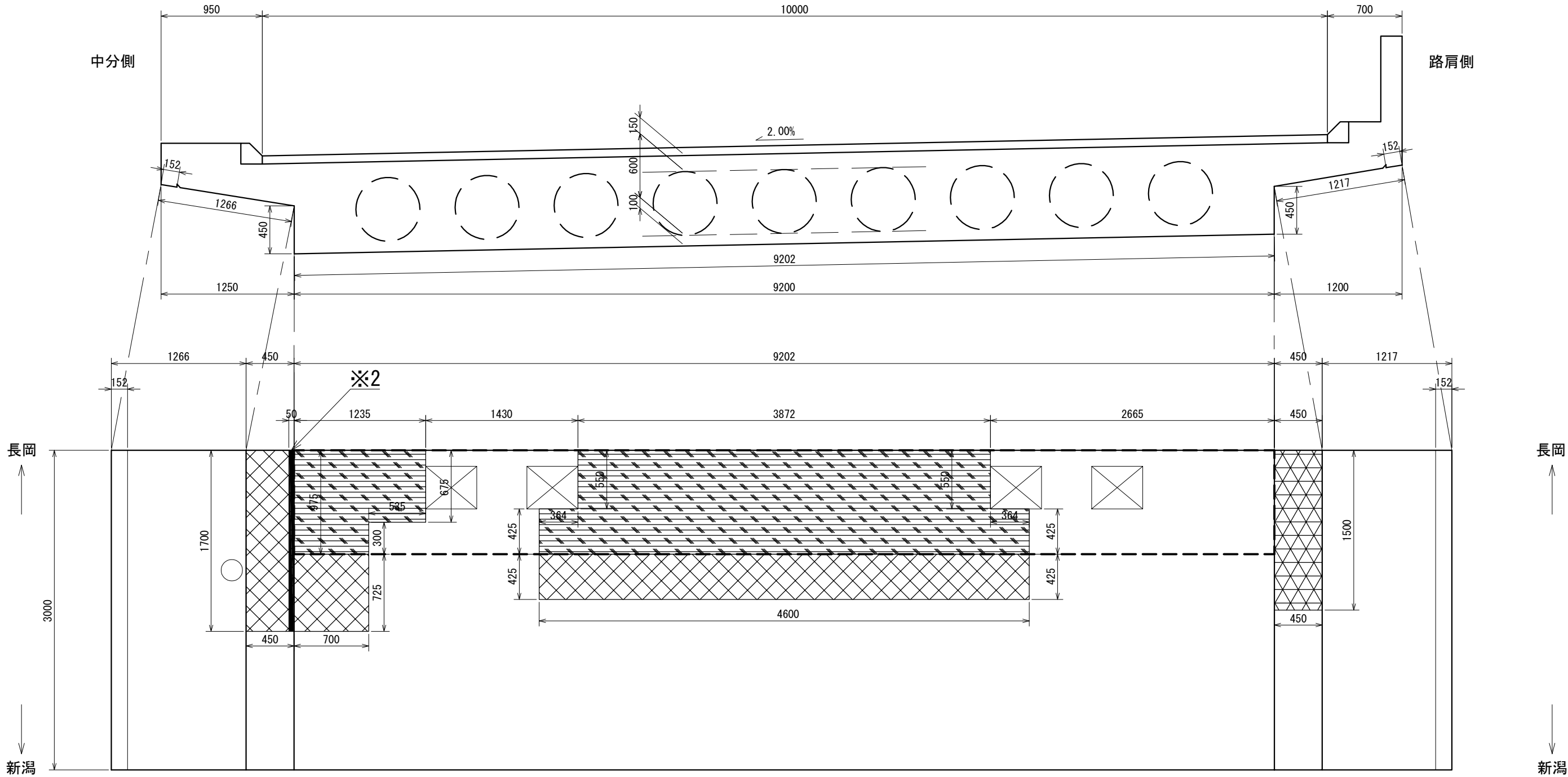
路肩側	185 mm
中分側	185 mm

型式:4径間連続RC中空床版

- ※1 各吹付の1層目は、亜硝酸リチウム を配合した断面修復材を1cm以上の厚みで吹き付けるものとする。
- ※2 施工範囲が重複する箇所は数量から控除するものとする。
- ※3 検測数量及び単位は1.0(箇所)とする。
- ※4 実際の施工寸法は、本図面をもとに現場実測結果と照合した上で決定すること。

北陸自動車道 R 6 長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	上須頃高架橋 下り線 P4端部 コンクリートはつり工・断面修復工（その1）		
縮尺	1/40	図面番号	
設計会社名	(株)ネクスコ・エンジニアリング新潟		
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

上須頃高架橋 下り線 A2
コンクリートはつりエ・断面修復工（その2）



狭小部高さ

路肩側	145	mm
中分側	145	mm

図示表示	コンクリートはつりエ	断面修復工
	A1 (t=2cm)	A1 (t=2cm)
	A1 (t=5cm)	A1 (t=5cm)
	A2 (t=5cm)	A2 (t=5cm)

〔二二〕狭小部範囲

型式：単純RC中空床版

※ 数量表についてはその1を参照

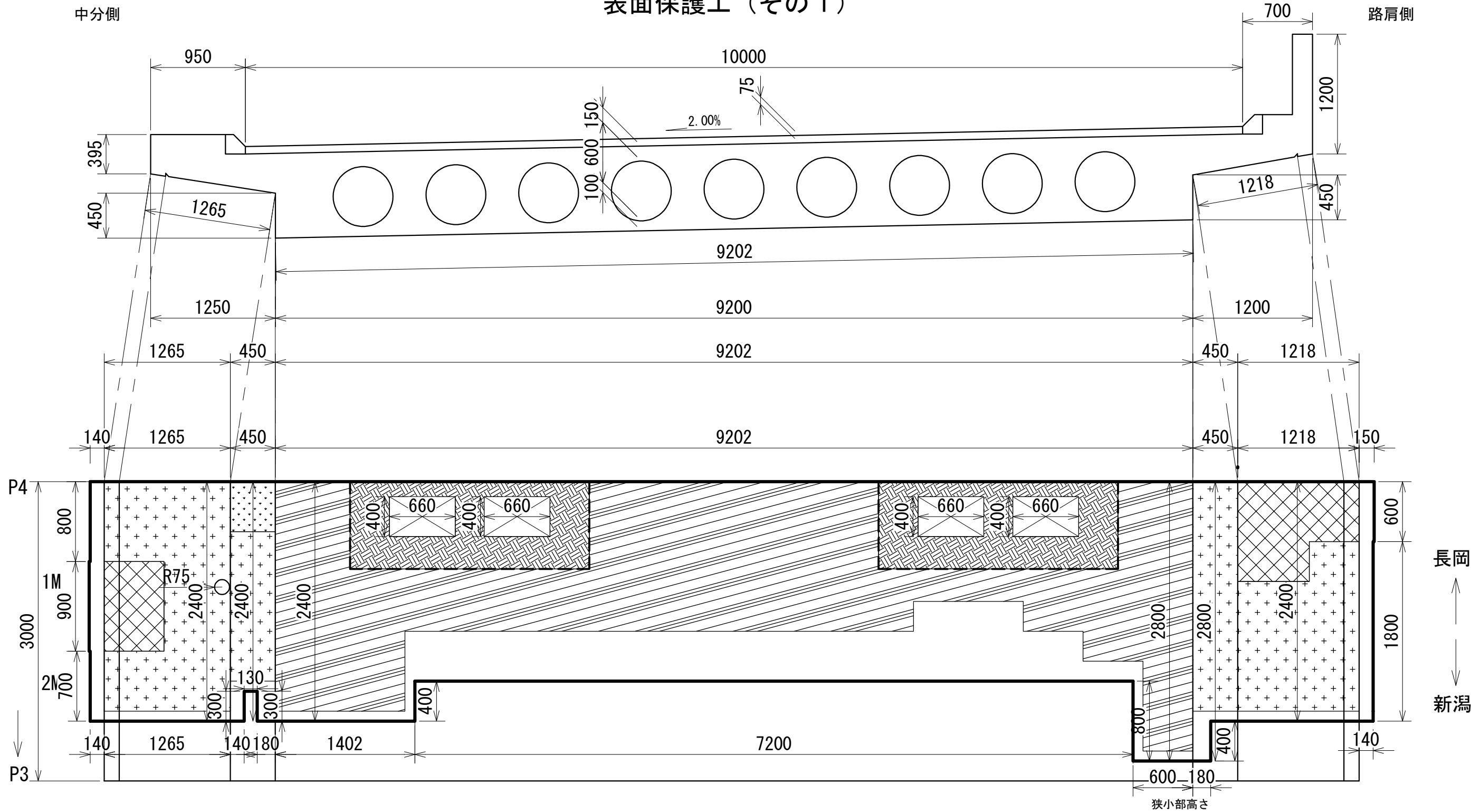
※1 各吹付の1層目は、亜硝酸リチウムを配合した断面修復材を1cm以上の厚みで吹き付けるものとする。

※2 施工範囲が重複する箇所は数量から控除するものとする。

北陸自動車道 R 6 長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	上須頃高架橋 下り線 A2端部 コンクリートはつりエ・断面修復工（その2）		
縮尺	1/40	図面番号	
設計会社名	(株)ネクスコ・エンジニアリング新潟		
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

上須頃高架橋 下り線 P4端部

表面保護工（その1）



図示表示	工種
	表面保護工

路肩側	185 mm
中分側	185 mm

狭小部範囲
型式: 4径間連続RC中空床版

図示表示	コンクリートはつり工	断面修復工
	A1 (t=3cm)	A1 (t=3cm)
	A1 (t=4cm)	A1 (t=4cm)
	A1 (t=5cm)	A1 (t=5cm)
	A1 (t=8cm)	A1 (t=8cm)
	A2 (t=8cm)	A2 (t=8cm)

数 量 表

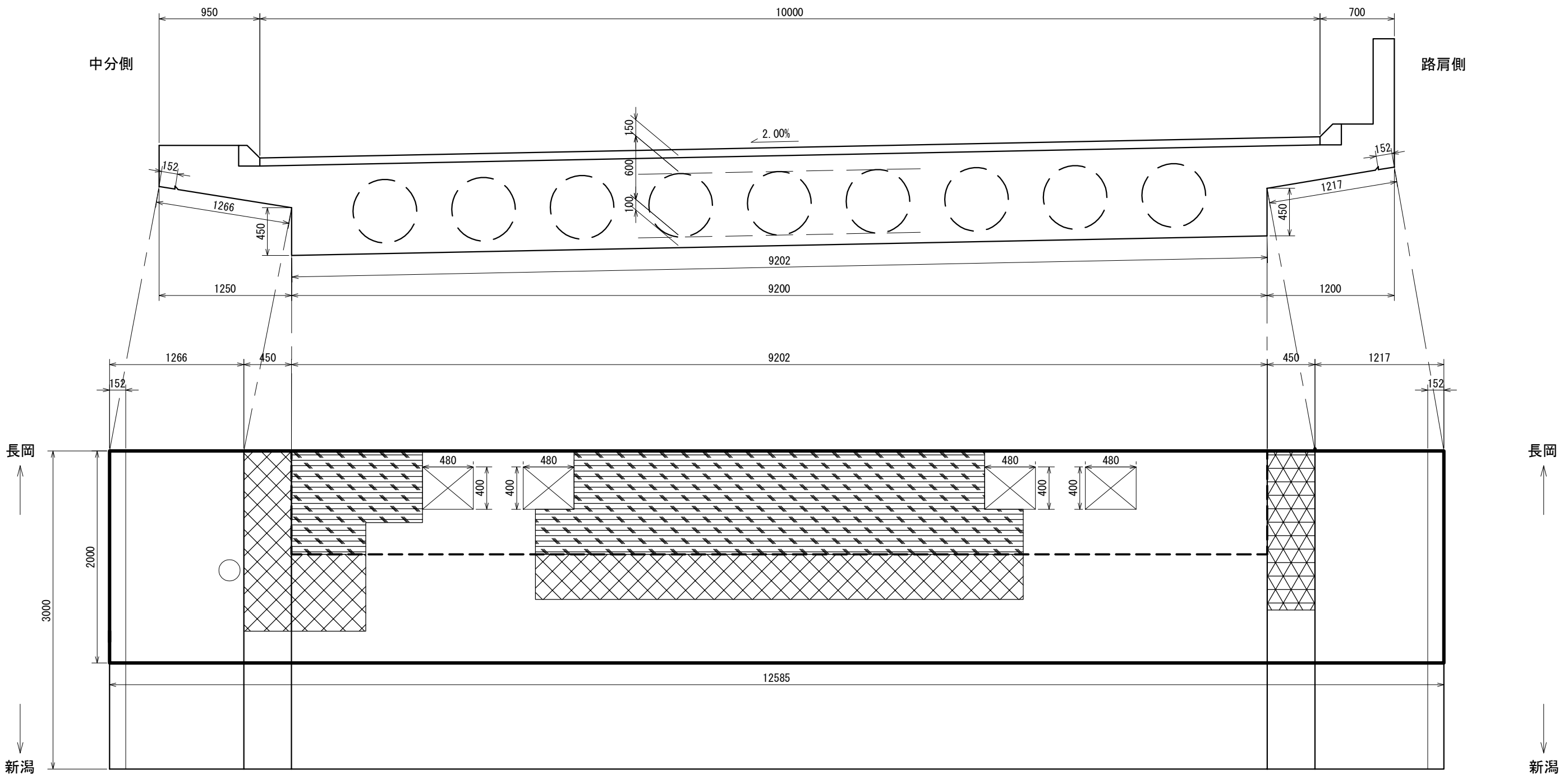
単位: (m²)

項 目	路肩側 張出下面	路肩側 主版側面	主版下面	中分側 主版側面	中分側 張出下面	合 計
コンクリート表面被覆工	5.70	2.05	36.03	1.94	5.87	51.59

※1 実際の施工寸法は、本図面をもとに現場実測結果と照合した上で決定すること。

北陸自動車道 R 6 長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	上須頃高架橋 下り線 P4端部 表面保護工（その1）		
縮尺	1/40	図面番号	
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

上須頃高架橋 下り線 A2
表面保護工（その2）



狭小部高さ

路肩側	145	mm
中分側	145	mm

図示表示	コンクリートはつり工	断面修復工
	A1 (t=2cm)	A1 (t=2cm)
	A1 (t=5cm)	A1 (t=5cm)
	A2 (t=5cm)	A2 (t=5cm)

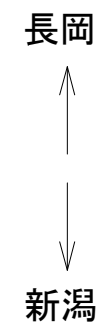
図示表示	工種
	表面保護工

※ 数量表についてはその1を参照

〔二二〕狭小部範囲
型式：単純RC中空床版


北陸自動車道 R 6 長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	上須頃高架橋 下り線 A2端部 表面保護工（その2）		
縮尺	1/40	図面番号	
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

路肩側



路肩側	185 mm
中分側	185 mm

型式:4徑間連續RC中空床版

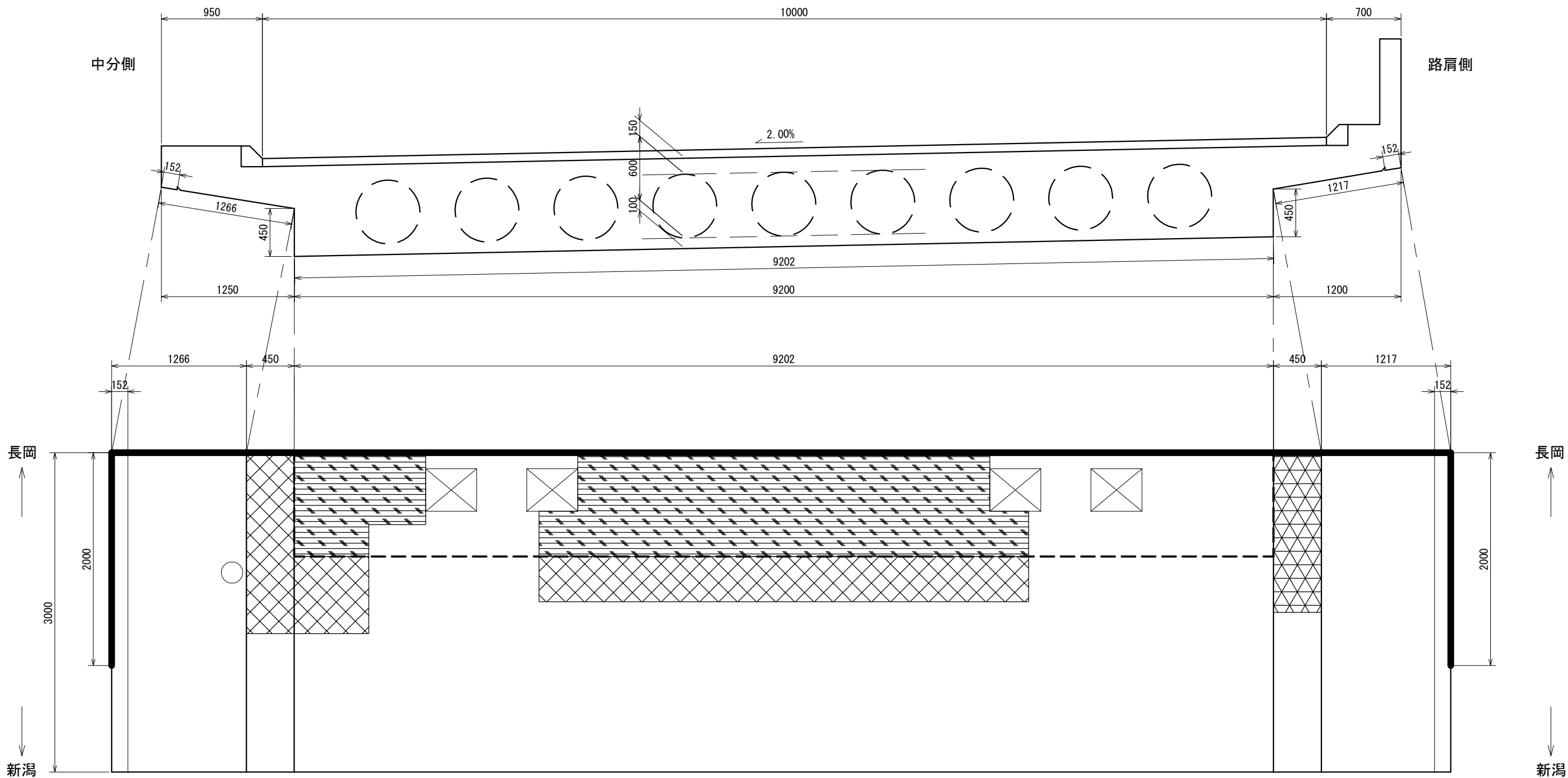
図示表示	工種
	水切り工

單位:(m)

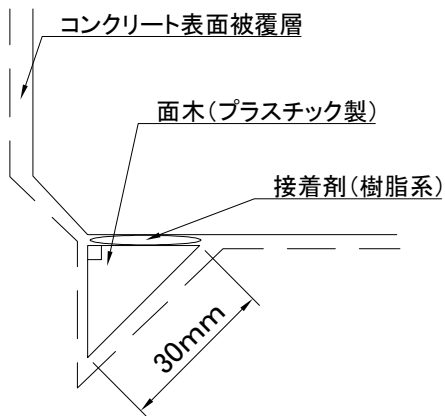
<p style="text-align: center;">北陸自動車道 R 6 長岡管内橋梁補修工事</p>			
図面の種類	<p style="text-align: center;">上須頃高架橋 下り線 P4端部 水切り工（その１）</p>		
縮尺	1/40	図面番号	
設計会社名			
事務所名	<p style="text-align: center;">東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所</p>		

上須頃高架橋 下り線 A2

水切り工（その2）



水切り 設置図



狭小部高さ

路肩側	145	mm
中分側	145	mm

図示表示	コンクリートはつり工	断面修復工
	A1 (t=2cm)	A1 (t=2cm)
	A1 (t=5cm)	A1 (t=5cm)
	A2 (t=5cm)	A2 (t=5cm)

図示表示	工種
	水切り工

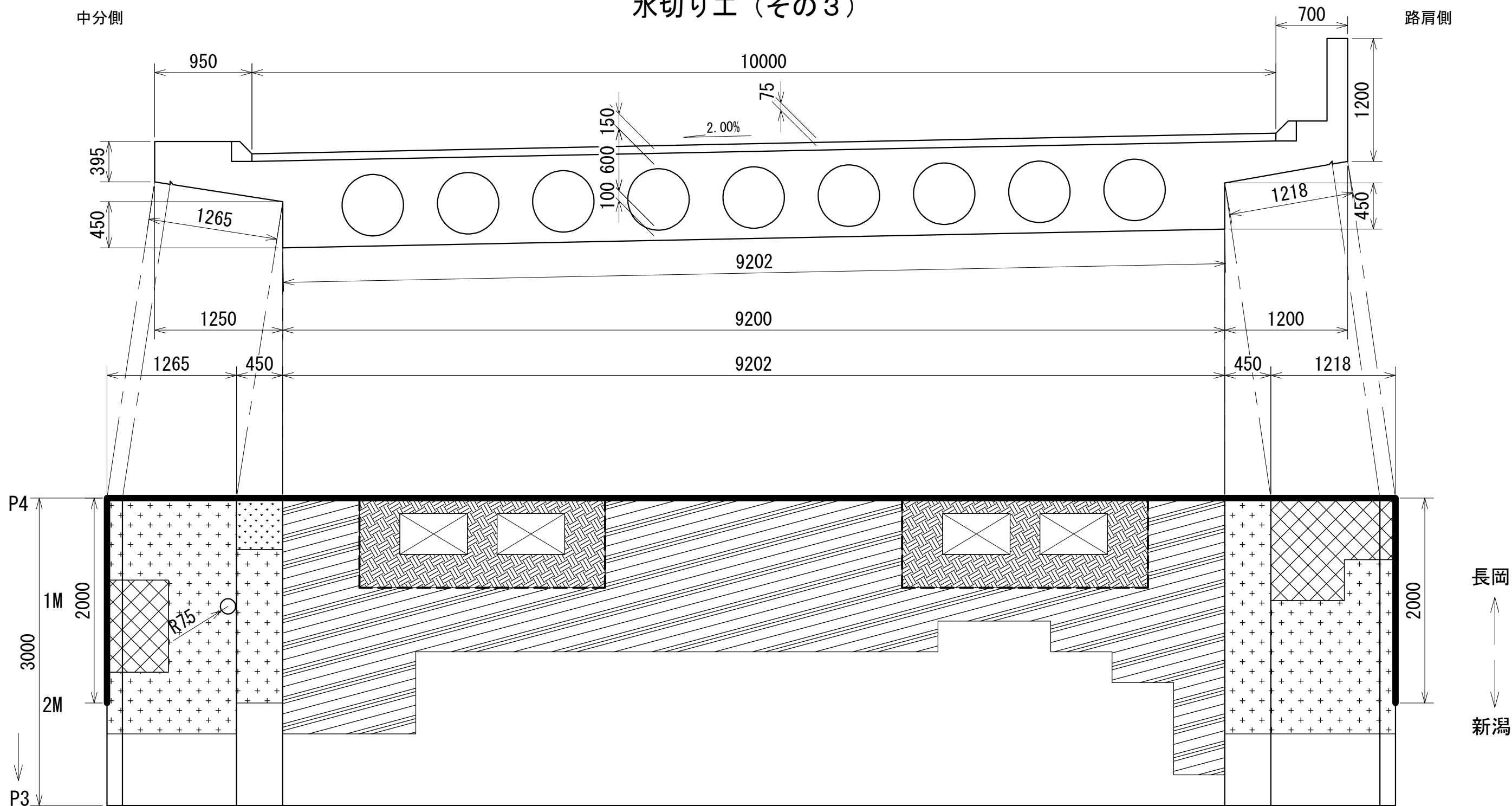
※ 数量表についてはその1を参照

〔二二〕狭小部範囲

型式：単純RC中空床版

北陸自動車道 R 6 長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	上須頃高架橋 下り線 A2端部 水切り工（その2）		
縮尺	1/40	図面番号	
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

上須頃高架橋 下り線 P4端部
水切り工（その3）



図示表示	コンクリートはつり工	断面修復工
	A1 (t=3cm)	A1 (t=3cm)
	A1 (t=4cm)	A1 (t=4cm)
	A1 (t=5cm)	A1 (t=5cm)
	A1 (t=8cm)	A1 (t=8cm)
	A2 (t=8cm)	A2 (t=8cm)

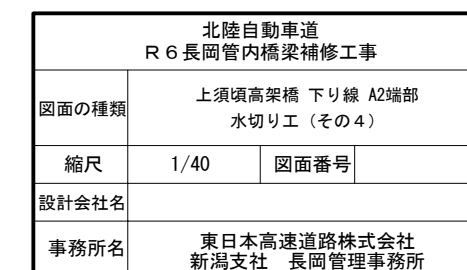
図示表示	工種
	水切り撤去工

数 量 表	
単位:(m)	
項 目	合 計
水切り撤去工A	33.18

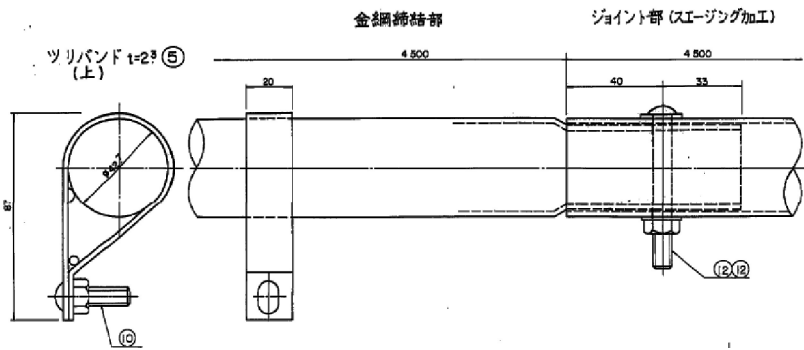
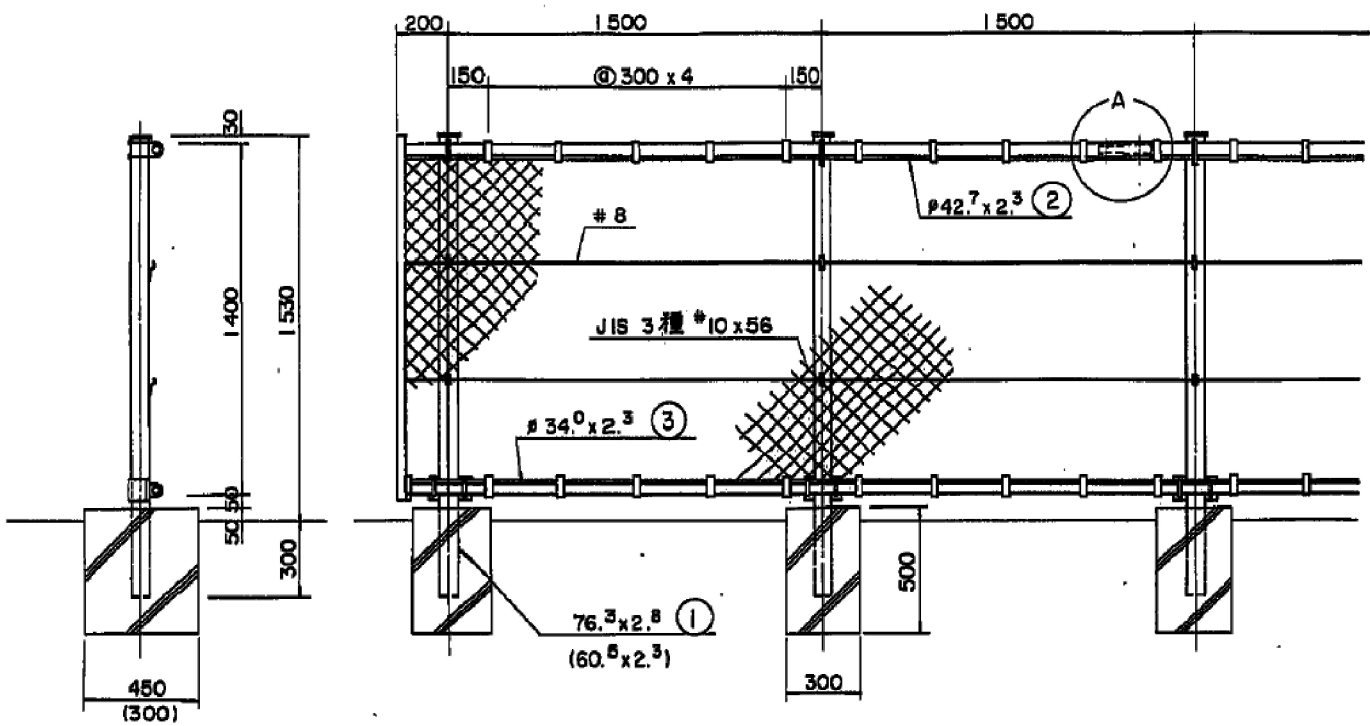
狭小部高さ	
路肩側	185 mm
中分側	185 mm

狭小部範囲
型式:4径間連続RC中空床版

北陸自動車道 R 6 長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	上須頃高架橋 下り線 P4端部 水切り工（その3）		
縮尺	1/40	図面番号	
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		



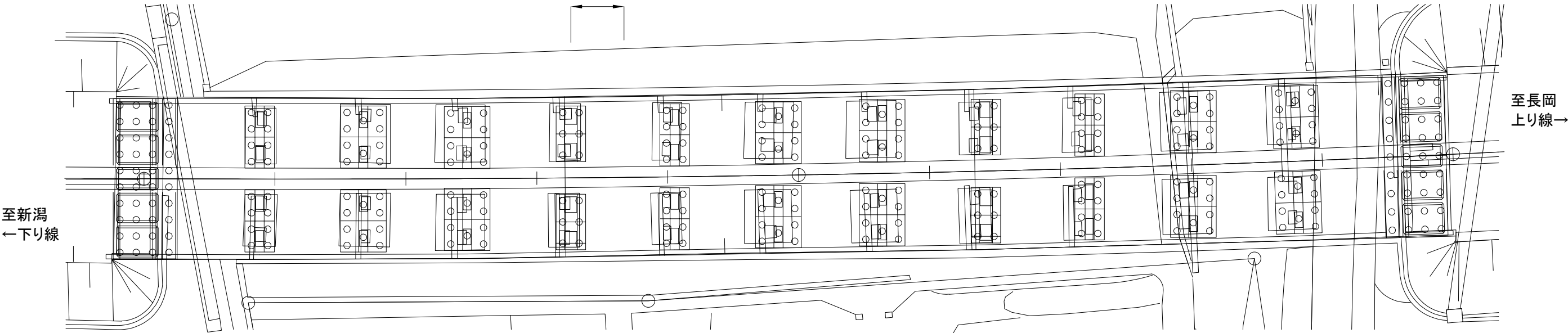
上須頃高架橋 下り線
立入防止柵撤去設置工



材料表 A2-4 100m

NO	名称	形状寸法	本数
1	主柱	#76.3 x 2.8 x 1830	67本
		(#60.8 x 2.3 x 1830)	(67)*
2	横杭	42.7 x 2.3 x 4500	23*
3		34.0 x 2.3 x 4500	23*
4	キャップ	#76.3 用 (#60.8 用) t=2.3	67*
5	ツリバンド	t=2.3	115ヶ
6		t=2.3	115ヶ
7	横杭取付バンド	4.5 x 74 x 147	67枚
8	Uボルト	M12 x 155	67本
9		M 8 x 65	134*
10	ツリバンド用ボルト	W 5/16 x 28	230*
11		W 5/16 x 55 #34.0 用	23*
12		W 5/16 x 65 #42.7 用	23*
13	巻線棒へ	t=3.2 x 15 x 30	67ヶ

一般型積雪地用S1(3)A L=4.0m



数量表

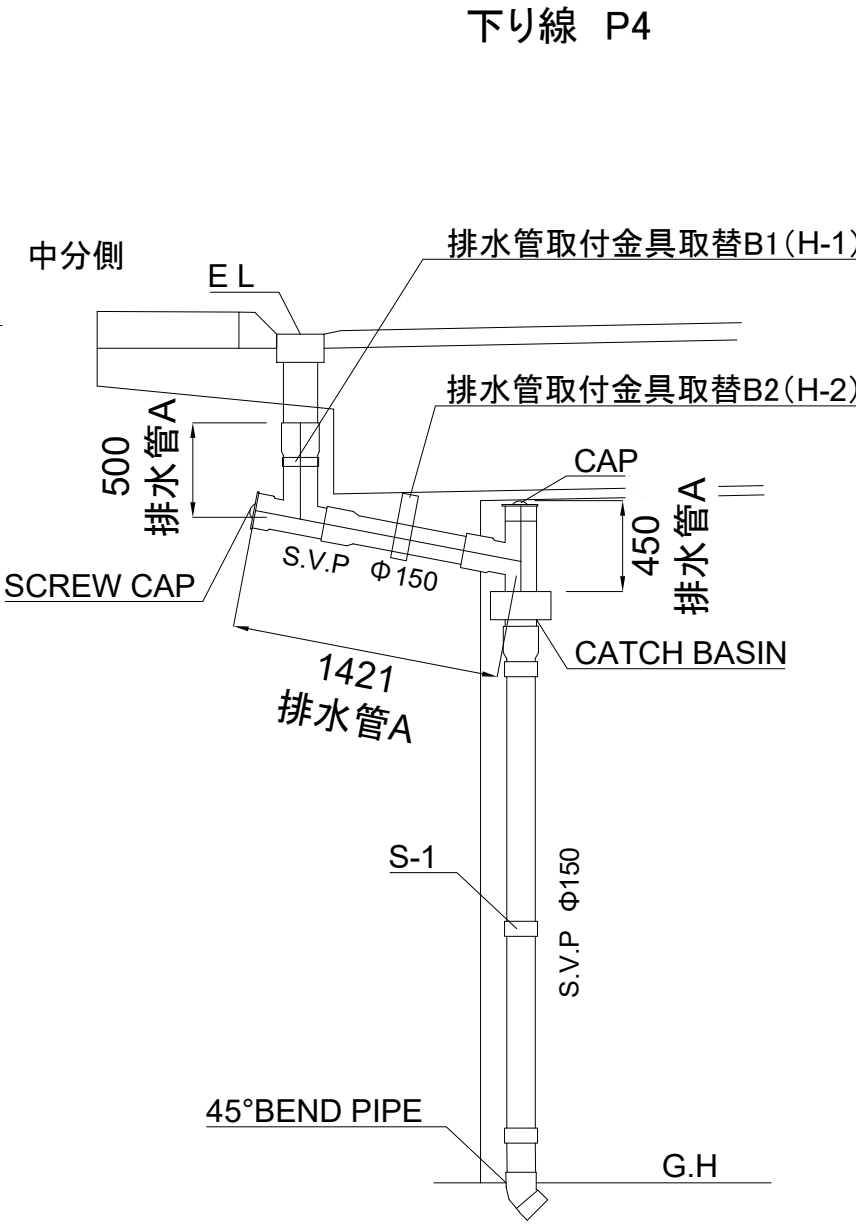
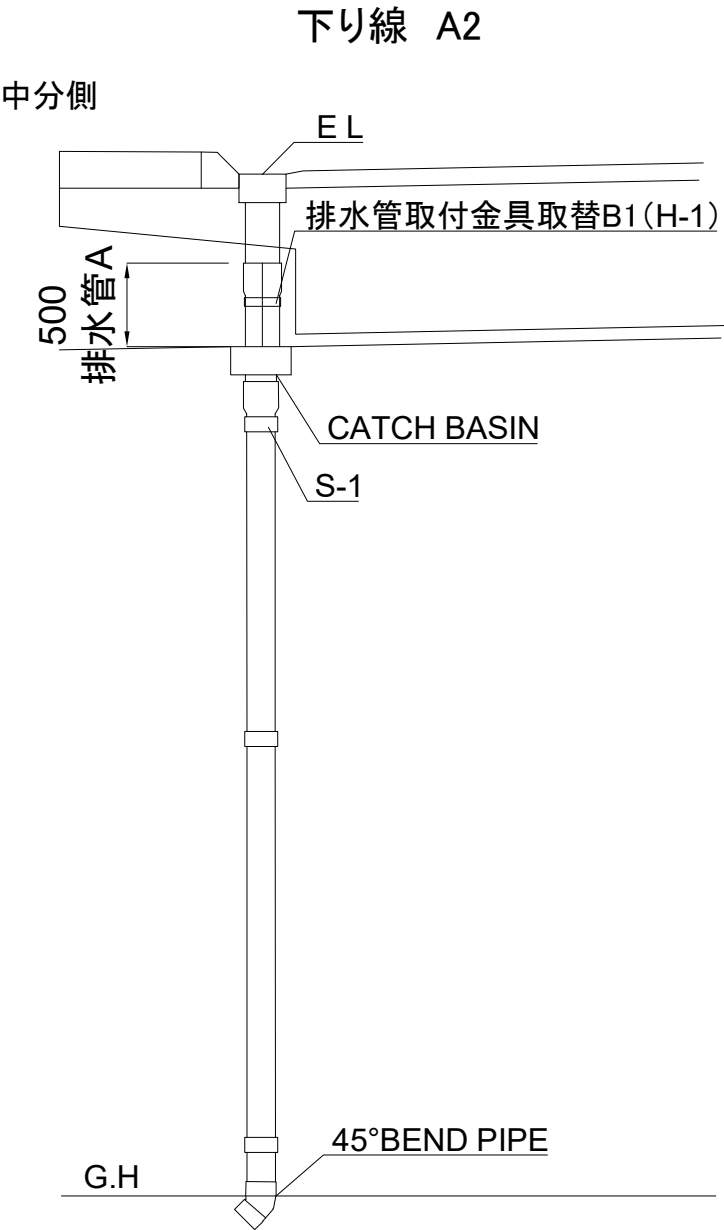
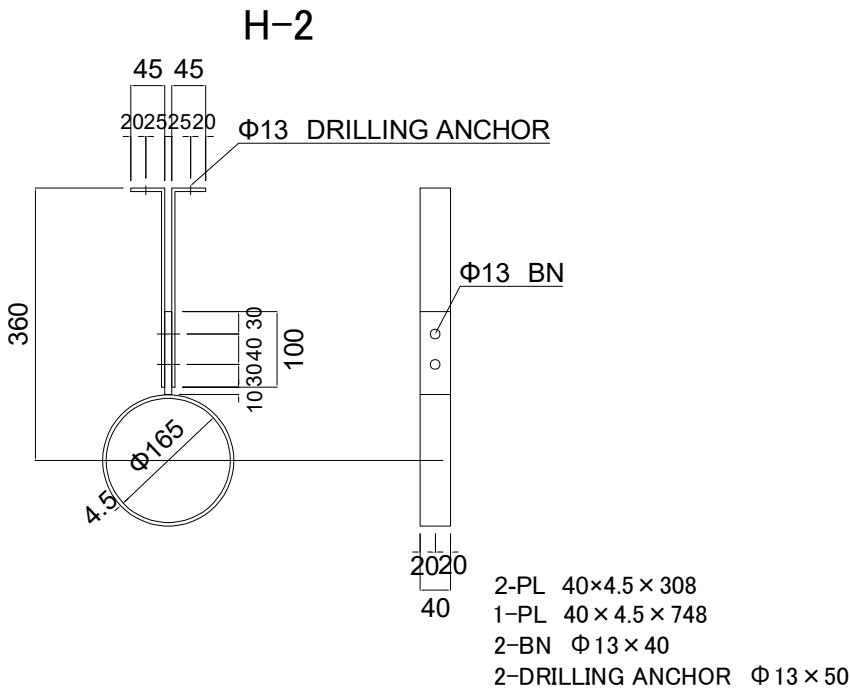
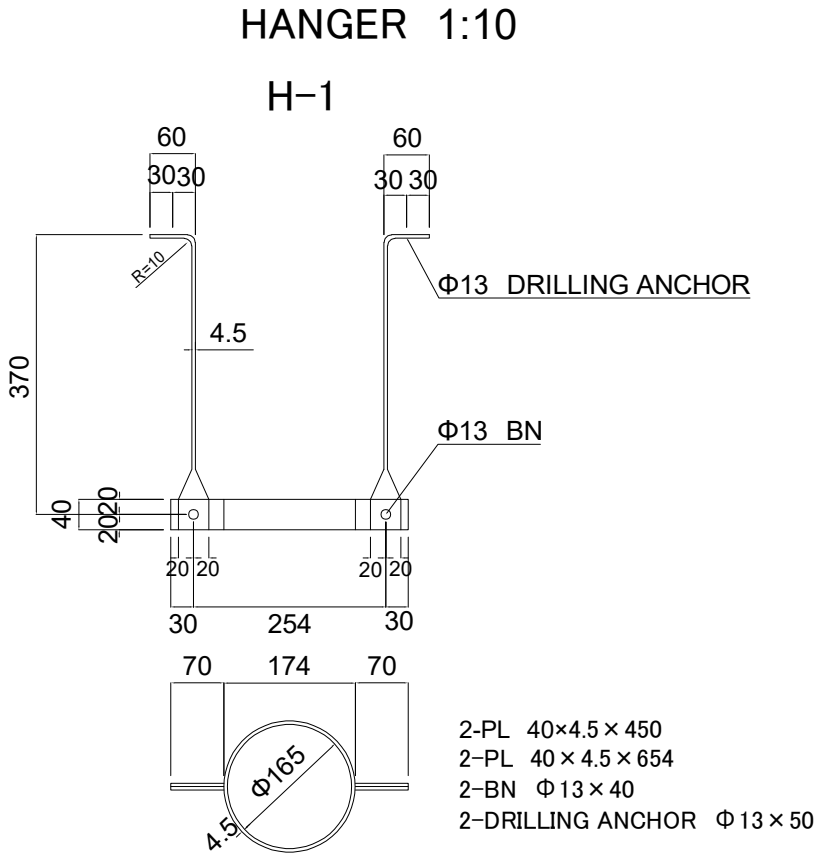
単位:(m)

項目	合計
一般型積雪地用S1(3)A	4.0

北陸自動車道 R6長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	上須頃高架橋 下り線 立入防止柵撤去設置工		
縮尺	1/650	図面番号	
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

上須頃高架橋 下り線 P4及びA2
排水装置取替

正面図 1:40



数 量 表

単位:(m)

項 目	合 計
排水管A	2.9

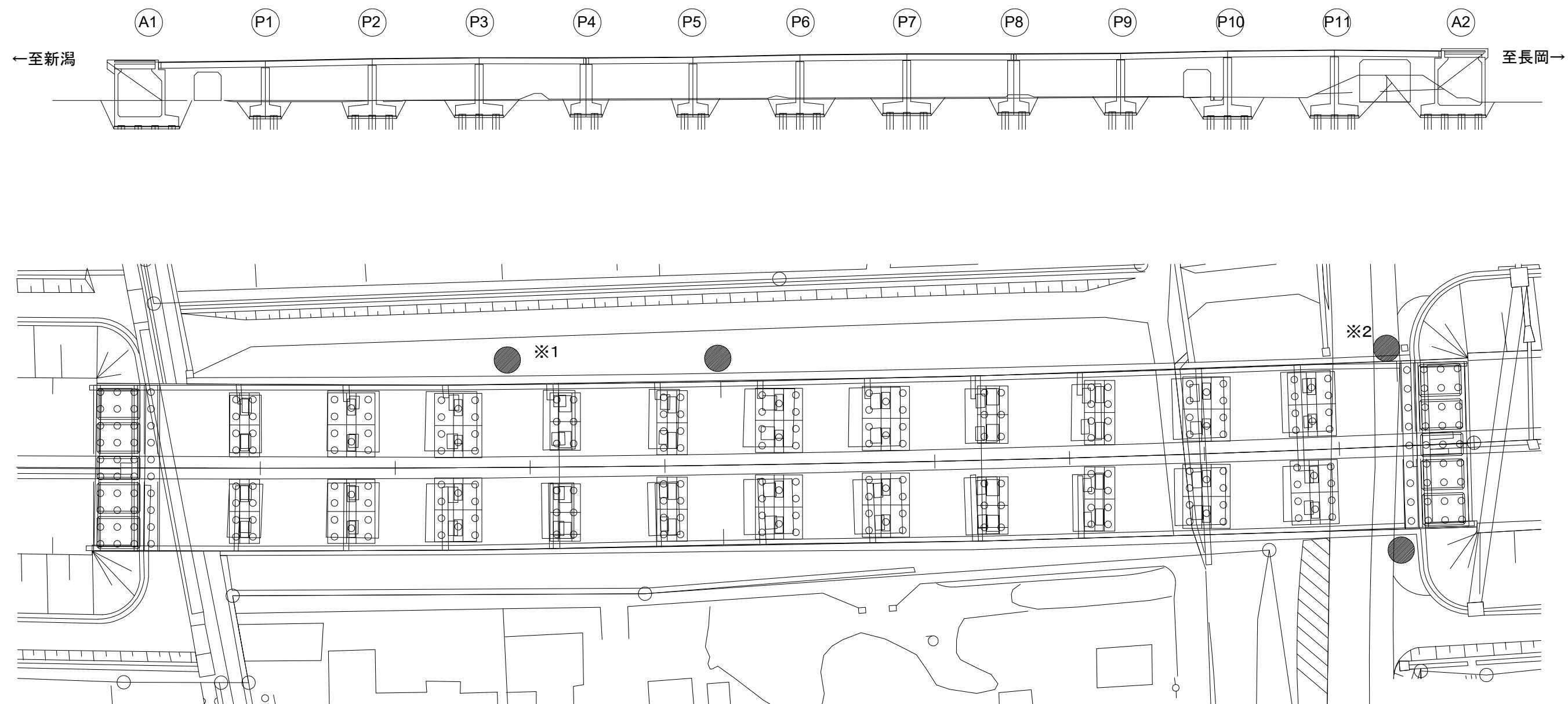
単位:(箇所)

項 目	合 計
排水管取付金具取替B1	2.0
排水管取付金具取替B2	1.0

注)
1.部材製作に当たっては、事前に現地実測を行い、その結果を反映すること。

北陸自動車道 R 6 長岡管内橋梁補修工事		
図面の種類	上須頃高架橋 下り線 P4及びA2 排水装置取替	
縮尺	1/10, 1/40	図面番号
設計会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所	

上須頃高架橋 下り線
交通誘導警備員B 配置図



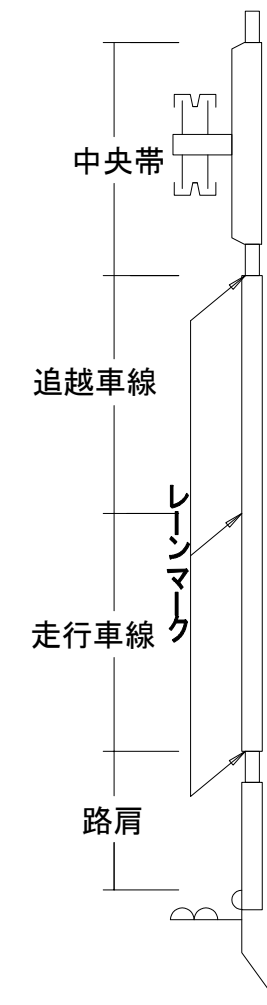
※1 立入防止柵撤去設置時
※2 足場撤去設置時

●: 交通誘導警備員B

北陸自動車道 R 6 長岡管内橋梁補修工事			
図面の種類	上須頃高架橋 下り線 交通誘導警備員B 配置図		
縮尺	1/650	図面番号	
設計会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所		

交通規制工及び交通保安要員
車線規制 $L \times N$ 及び交通監視員 A

車線規制 標準図



凡例
L：規制延長
N：規制箇所数

- ※1 Lが1,000mを超える場合のみ1,000m毎に設置する。
- ※2 標識車と防護区間との間を示す。
- ※3 300m先車線減少予告標識、50km/h規制標識、テーパー先端の矢印板に「警告灯」を設置する。
- ※4 作業箇所開始場所から60m程度区間を安全区間とし、ラバーコーンを10mピッチで設置する。
- ※5 防護設備はクッションドラム+トラック。
- ※6 80km/h規制区間のみ設置する。
- ※7 覚醒マット（参考：Φ0.6×14枚）



※追越規制時

- ※ 工事箇所の始点及び終点部に、工事案内看板等を設置する。
- ※ 規制の終点部に規制作業協力御礼看板を設置する。

北陸自動車道 R 6 長岡管内橋梁補修工事		
図面の種類	交通規制工及び交通保安要員 車線規制 L × N 及び交通監視員 A	
縮尺	-	図面番号 -
設計会社名	-	
事務所名	東日本高速道路株式会社 新潟支社 長岡管理事務所	